

◎選舉人名簿中失格者取扱ニ關スル件 (明治三十五年四月十二日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ各地方長官宛通牒)

一 名簿ハ縦覽ニ供シタル後ハ法定ノ手續ニ依ルノ外之ヲ修正スルヲ得サルヲ以テ其ノ登録者ニシテ資格ヲ失ヒタルコト明瞭ナル者又ハ死亡シタル者アルトキハ從來ノ取扱振ニ依リ適宜符箋ヲ貼シ其ノ旨記載シ置クコトヲ要ス

◎選舉人名簿修正ニ關スル件 (明治三十五年四月十二日地發第六七號ノ内)

法第二十六條第二項(改正法ハ第十七條)ニ依リ郡長(改正法ハ市町村長)ニ於テ名簿ヲ修正スルハ同第二十四條(改正法ハ第十五條)ニ依リ決定シタル場合ニ限ル

◎同上ノ件 (明治三十五年四月十二日地發第六七號ノ内)

法第二十六條第二項(改正法ハ第十七條)ニ依リ修正スヘキモノハ法第二十一條(改正法ハ第十四條)ノ申立ニ基キ決定ヲ與ヘタルモノナルヲ要ス故ニ郡長(改正法ハ市町村長)ニ於テ脱漏又ハ誤載ヲ發見スルモ同條ニ依リ修正スルヲ得サルモノトス

◎同上ノ件 (明治三十五年四月十二日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ各地方長官宛通牒)

一 名簿ハ四月一日(改正法ハ九月十五日)ノ現在ニ依リ調製スヘキモノナルヲ以テ該日以後生シ

タル異動(死亡住所地移轉失格氏名變更等)ニ付テハ名簿ヲ修正スルノ限ニ在ラス

◎選舉人名簿燒失再調製ニ關スル件

地方局長ヨリ石川縣へ照會 (明治三十九年一月九日)

客年十二月二十八日ヲ以テ貴縣令第五十五號御報告相成候處天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ選舉人名簿ノ正副孰レカ一本ヲ失ヒタル場合ハ其ノ存スル一本ニ依リテ他ノ一本ヲ調製スルコトヲ妨ケサルハ明治三十五年四月十二日地方局長通牒ノ通ニ有之從テ本件ノ如キハ正副本共ニ燒失セルモノト被存候得共事實果シテ如何ヤ詳細承知致度

尙正本副本共ニ燒失セルモノトスレハ選舉法第十條第一項(改正法ハ第十二條第一項)ノ資格調査期日ノ規定ナキハ如何ナル事由ニ候哉爲念承知致度

石川縣回答 (明治三十九年一月十五日)

縣下鹿島郡役所ハ三十八年十一月二十五日類燒ノ爲メ同年調製ニ係ル選舉人名簿悉皆燒失シタルモ七尾町外二十三ヶ村ノ分ハ正本ノミ燒失シ副本ハ各町村長ニ返付濟ナルヲ以テ三十五年四月十二日貴官御通牒ニ依リ他ノ一本ヲ調製セシメ候得共金丸村外七ヶ村分ハ修正ノ爲正副共郡役所ニ留置中燒失シタルヲ以テ客年縣令第五十五號ヲ發布シタル次第ニ有之候

追而該縣令中選舉法第十八條第一項(改正法ハ第十二條第一項)ノ資格調査期日ヲ規定セルハ調査期日ハ同條ノ明文ノ通り三十八年十月一日ノ現在ニ依リタルモノニ有之候畢竟選舉法第三十



七條(改正法ハ第十七條)末項ノ選舉人名簿ノ調製及其ノ期日トアルハ資格調査ノ期日ヲ包含セサルモノト解釋致候也

◎同上ノ件 (明治三十九年二月六日地方局長通牒)

貴縣令第五十五號選舉人名簿調製方指定ノ件御報告相成候處衆議院議員選舉法第二十七條(改正法ハ第十七條)末項及明治三十四年內務省令第二十八號ニ所謂名簿調製ノ期日ニハ選舉資格調査ノ期日ヲモ包含スヘキ義ニ候條御注意迄此段依命通牒候也

◎同上ノ件

山形縣知事照會 (大正二年十月十一日)

管下南置賜郡三澤村役場客月二十三日火災ニ罹リ衆議院議員選舉人名簿調製ノ材料全部燒失ノ爲メ選舉法第十八條(改正法ハ第十二條)ノ期限迄ニハ右名簿調製ノ運ニ至リ兼候處此ノ場合ニ於テハ同法第二十七條第四項(改正法ハ第十七條第三項)ヲ適用シ三十四年十月御省令第三十八號(改正選舉法施行規則第二條)ニ依リ該名簿ノ調製及其ノ期日縱覽確定ニ關スル期日期間等相定ムヘキモノトハ存候得共選舉法第二十七條第四項(改正法ハ第十七條第三項)ニハ「天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ」ト有之一旦調製ノ名簿滅失ニ際シ再ヒ名簿ヲ調製スル場合ノ規定ニシテ今回ノ如ク材料亡失ノ爲ヨリ法定ノ期日迄ニ調製シ能ハサル場合ニ適用スヘキモノニアラサル様ニモ被認聊カ疑義相生シ候條折返シ電報ヲ以テ何分ノ御回報

相煩度

地方局長回答

右ハ今日ニ於テハ前段御見込ノ通取扱フノ外無之ト存候

◎名簿確定日ニ投票ノ件

東京府知事照會 (大正十三年二月二十三日)

選舉人名簿確定日ニ投票ヲ行フモ差支ナキヤ

地方局長回答 (大正十三年二月二十三日)

五月七日ニ入レハ名簿ハ確定スルヲ以テ同日投票ヲ行フ(島嶼其ノ他交通不便ノ地)コト、爲スモ差支ナシ

法第十九條

◎選舉權行使ニ關スル件 (大正四年三月十四日內務省訓令第四百七十九號)

衆議院議員選舉ノ取締ヲ勵行スルハ選舉ニ伴フ諸種ノ弊害ヲ防遏シ選舉有權者ヲシテ其ノ自由意思ノ下ニ選舉權ヲ行使セシメ選舉ノ公正ヲ期セムトスルニ外ナラス言フ迄モナク選舉權ハ國民參政ノ權利ナルト同時ニ一面ニ於テハ其ノ公義務タリ然ルニ選舉有權者ニシテ故ナク其ノ義務ヲ懈リ漫リニ選舉權ヲ拋棄スルカ如キ傾向ヲ生スルコトアラムカ獨リ取締勵行ノ趣旨ニ反スルノミナ



ラス憲政ノ爲甚タ憂慮スヘキ事ニ屬ス各位ハ豫テ此ノ點ニ就テモ留意セラル、所アルヘシト雖此ノ際一般ニ右趣旨ノ存スル所ヲ周知セシメ選舉ニ關シ遺憾ナカラシメムコトヲ要ス之カ周知方法ニ付テハ誤解又ハ疑惑ヲ惹起スルカ如キコトナキ様特ニ慎重ノ注意ヲ竭サレムコトヲ望ム

**法第二十條**

◎選舉權行使ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

選舉罰則其ノ他一般選舉人ノ心得トナルヘキ法規ノ規定ハ投票所開票所選舉會場ニ之ヲ貼示スヘシ (法第四十條、第四十四條、第五十七條、第五十八條、第六十六條參照)

◎同上ノ件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

投票所開票所ヲ問ハス選舉事務ノ執行中規定ニ違背セル事實ヲ發見スルモ之カ中止ヲ爲スヲ得ス (法第四十四條參照)

◎所定外ノ吏員ノ投票事務ニ關スル件

廣島縣問合 (明治三十五年七月十二日)

衆議院議員ノ選舉投票事務ニハ可成普通一般ノ行政事務ニ當ルヘキ吏員ヲシテ從事セシムヘキハ

勿論ナルモ人少其ノ他ノ事故ニ依リ差支アル場合ハ從來ノ例ニ依リ收入役區長及委員 (常設委員及臨時委員共) ヲシテ該投票事務ニ從事セシムルモ別ニ差支無之哉

地方局長回答 (明治三十五年七月二十一日)

御申越ノ如キ場合ハ不得已ト存候

◎同上ノ件

(大正九年四月六日ノ内務省議決定)

東京市、京都市及大阪市ノ一選舉區内ニ於テ二ヶ以上ノ投票區ヲ設ケタル場合地方長官ハ其ノ選舉區ニ屬スル區吏員以外ノ市吏員ニ投票管理者ヲ命スルヲ得ルヤ否ヤニ付當該區所屬ノ吏員ニ限ラス適宜市役所ノ吏員ニ投票管理者ヲ命スルモ妨ケナシ

**法第二十一條**

◎投票所ノ標札ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地)

投票所ノ標札ハ其ノ門戸ニ掲クルコトヲ要スト雖投票所ハ第四條ニ定メタル様式ノ範圍ニ止マルモノトス

◎投票所ニ關スル件



東京府照會 (大正十三年二月二十三日)

區役所燒失ノ爲附近ニ於テ假建築ヲ爲シ執務セル場合ハ選舉法上之ヲ區役所ト認メ差支ナキヤ  
地方局長回答 (大正十三年二月二十三日)

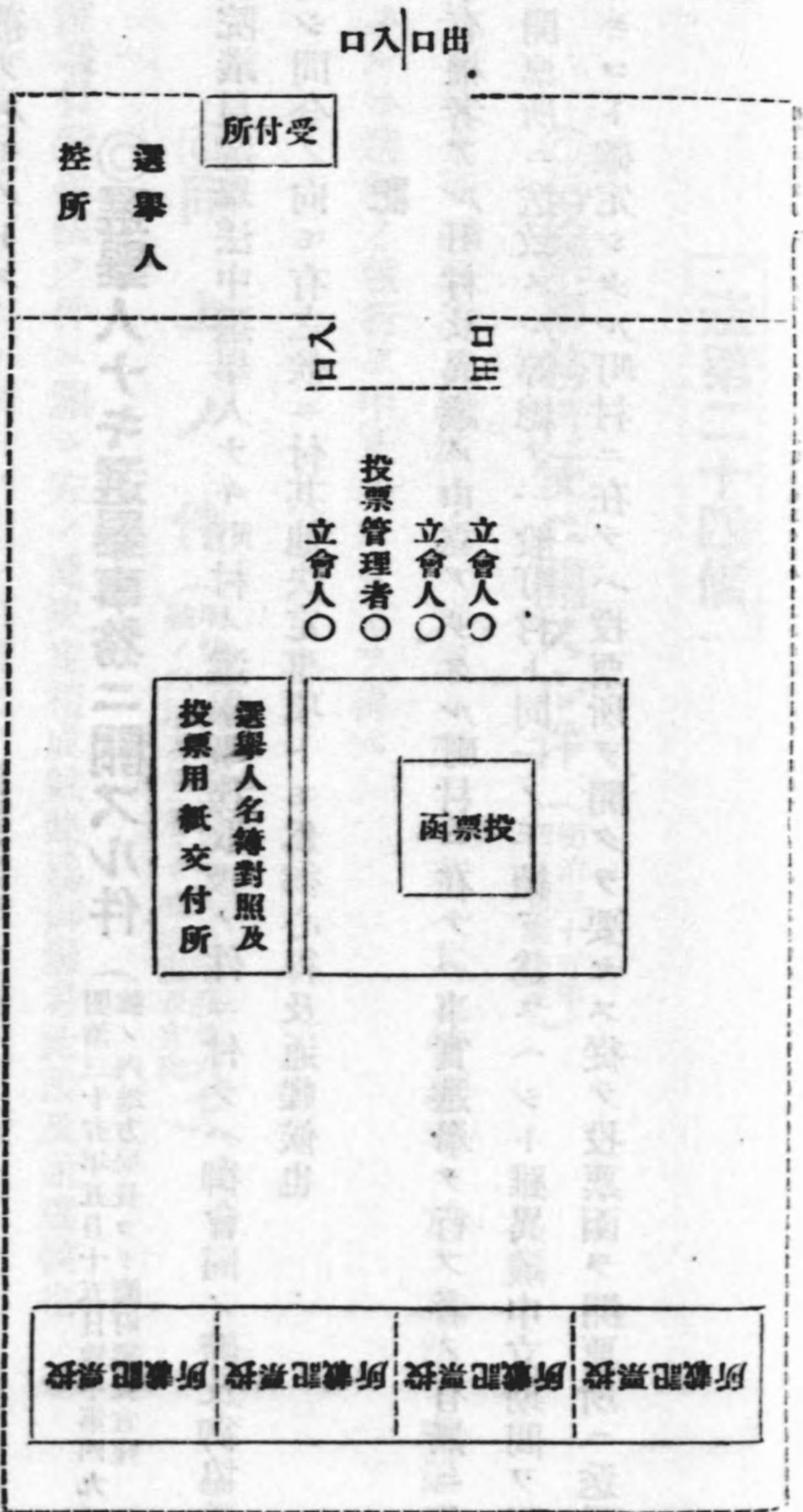
現ニ區役所トシテ事務ヲ取扱ヒ居ル場所ハ法第三十條ノ市役所ニ該當ス

◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通條 (大正十五年二月十九日地發第七號)

- 二 市役所町村役場以外ニ投票所ヲ設クル場合ニ於テハ成ル可ク門戸アル場所ヲ指定スルコト
- 三 投票所ハ別記様式ニ準シ選舉人ノ多寡ニ應シ適宜ニ之ヲ斟酌シ受付所、選舉人控所、選舉人名簿對照及投票用紙交付所、投票記載所並投票ノ場所等ヲ設備スルコト
- 四 投票所ノ門戸及投票所出入口等ニハ警察官吏又ハ特ニ吏員ヲ配置シ取締ニ遺漏ナカラシムルコト
- 七 投票函ハ一投票所一箇ヲ使用スルコト
- 十六 投票所、開票所及選舉會場ニハ各其ノ門戸ニ標札ヲ掲クルコト

別記

投票所様式



法第二十二條

◎投票所周知ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號)

二町村以上ノ組合ヲ設ケタル場合ニ於テ投票所告示ノ方法ハ各町村ノ公布式ニシテ揭示シ又ハ新聞紙ニ掲載スルモノナルニ於テハ其ノ方法ニ依リ然ラサルニ於テハ管理者ニ於テ適宜ノ個所ニ掲



示スルノ外便宜各町村ノ公布式ニ依リ一般選舉人ニ周知セシムルノ方法ニ依ルコトヲ要ス

**法第二十三條**

◎投票所閉鎖時ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條)

選舉人名簿ニ登録セラレタルモノ悉ク投票ヲ終リタル場合ト雖法定ノ時間内ハ投票所ヲ閉ツルコトヲ得サルモノトス

◎選舉人ナキ選舉事務ニ關スル件

(明治三十五年五月十五日地甲第四九號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

衆議院議員選舉法中選舉人ナキ町村ノ選舉事務取扱ノ件ニ付テハ御會同ノ際及御協議候處尙同伴ニ關シ問合ノ向モ有之候ニ付其他決定事項トモ爲御心得及通條候也

記

選舉有權者アル町村及異議ノ申立アリタル町村ニ在テハ事實選舉ヲ行フ者ノ有無ニ拘ハラズ投票所ヲ開票所ニ送致スル等總テ一般町村ト同一ノ手續ヲ爲スヘシト雖異議申立期間ヲ過キ選舉有權者ナキコト確定シタル町村ニ在テハ投票所ヲ開クヲ要セス從テ投票函ヲ開票所ニ送致スルノ必要ナシ

**法第二十四條**

◎投票事務行使ニ關スル件

(明治三十五年四月省議決定)

選舉長ハ投票所開票所ノ組織成立ニ背規ノ廉アリ若ハ其ノ管理者ニ於テ違法ノ處置アリシコトヲ發見スルモ選舉ノ執行ヲ中止スルコトヲ得ス

◎同上ノ件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

衆議院議員選舉法ノ件ニ關シ左ノ通決定相成候條爲御參考此段及通條候也  
投票執行中投票立會人ニ闕員ヲ生シ事實之ヲ補充スルニ由ナキ場合ニ於テハ其立會人カ假令法定ノ最少數ヲ下リタルトキト雖(改正法ハ第二十四條第二項)投票ハ其ノ儘之ヲ遂行スルノ外ナク決シテ之ヲ中止スルヲ得サルモノトス

◎同上ノ件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内)

一 投票執行中投票立會人ニ闕員ヲ生シ事實之ヲ補充スルニ由ナキ場合ニ於テハ其ノ立會人カ假令法定ノ最少數ヲ下リタルトキト雖投票ハ其ノ儘之ヲ中止スルヲ得サルモノトス



### ◎同上ノ件

静岡縣知事照會 (明治三十五年七月九日)

衆議院議員選舉投票執行中投票立會人ニ關員ヲ生シ事實之ヲ補充スルニ由ナキ場合ニ於テハ其ノ立會人カ假令法定ノ最少數ヲ下リタルトキト雖投票ハ其儘遂行スルノ外ナク決シテ之カ中止ヲ爲スヲ得サル旨地發第六七號ノ内ヲ以テ御通牒有之候處元來法律ニ於テ立會人ノ最少數ヲ限定シ尙關員ノ場合ニ臨時之ヲ補充スルノ途ヲモ規定セラレ投票ハ總テ立會人及管理列席ノ上之ヲ執行スヘキモノナル以上ハ法定ノ最少數ヲ下リタルモ尙一名以上ノ立會人アル場合ハ前記御通牒ノ通トスルモ全ク一名ノ立會人ヲモナキニ至リ事實之ヲ補充スルニ由ナキトキハ投票ハ之ヲ遂行スルヲ得ス更ニ日ヲ期シテ投票ヲ行ハシムルヨリ外無之被存候得共御意見承知致度

地方局長回答 (明治三十五年七月二十二日)

右例示ノ如キ事實ヲ生シタル場合ニ於テモ前通牒ノ通投票ハ其ノ儘遂行スルノ外ナキ義ト存候

### ◎立會人ニ依ル選舉ノ效力ニ關スル件 (大正十三年七月二十三日)

一 大分縣第三區(南海部郡)選舉ノ紛議ニ關スル件

大分縣第三區選舉會ニ於テハ投票ノ點檢ヲ終リ選舉長ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ有效及無効ノ投票ヲ決定シタル後群衆ノ強要ニ依リ更ニ其ノ投票ノ再調ヲ爲シ且選舉會場ニ選舉人ニ非サル

者ノ殺到ヲ見ルニ至リタルハ違法ナリト雖再調査ノ結果最初ノ決定ヲ譌シタルモノニアラス仍テ本件ハ選舉會及其ノ取締ノ任ニ當レル當該官吏ノ責任ハ免ル、コト能ハストスルモ之ヲ以テ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスコトナシト認ム (法第五十條、第五十一條、第五十七條參照)

尙選舉立會人カ選舉錄ニ署名セサルモ違法ナリト雖モ亦以テ直ニ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノニ非スト存ス (法第五十四條、第六十四條參照)

二 和歌山縣第三區有田郡宮原村投票所立會人ニ關スル件

宮原村投票立會人ノ定員ハ三名ナリシニ一名ハ病氣ノ故ヲ以テ(投票開始前)辭任申立テタル處投票管理者ハ之カ補充トシテ臨時ニ立會人ヲ選任シ投票所ヲ開キ約二時間後ニ至リテ右立會人ハ無資格者ナルコト發覺シ更ニ選舉人中ヨリ選任シタルハ全ク投票管理者ノ不注意ニ起因スルモノニシテ違法タルコト明ナリ然レトモ同區ノ當選者(第二位)松山常次郎ト次點者前川虎造トノ得票ノ差九百十九票ニ上リ假リニ宮原村ノ投票全部(二百六十五票)ヲ無効トスルモ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル虞ナシ

三 同縣第二區海草郡紀三井寺村投票所立會人ニ關スル件

紀三井寺村投票所開始中投票立會人定員四名ノ内二名ノ辭職者ヲ出シ之カ補充ニ三十分ヲ要シ而カモ投票立會人ノ定員ヲ缺キタル儘投票ヲ繼續シタリト雖右ハ適當ナル投票立會人ヲ得サリシニ起因スルモノナルヲ以テ已ムヲ得サルモノト認ム仍テ之ヲ以テ該選舉ヲ直ニ無効ナリト謂フヲ得ス



**法第二十五條**

◎投票調査簿ヲ設クルノ件

三重縣知事照會ノ内 (大正九年三月十日)

五 投票簿廢止ノ結果投票所ニ於テハ單ニ選舉人投票ノ際選舉人名簿ト對照スルノミニシテ二重投票ヲ防遏シ又ハ後日何人カ投票ヲ爲シタルカヲ知ルノ資料ヲ缺クヲ以テ投票所ニ於テハ投票ヲ爲シタル選舉人ヲ知ルニ足ルヘキ適當ノ方法ヲ採ルノ必要アリ本縣ニ於テハ從來縣會議員選舉ニ當リ投票管理者ヲシテ投票調査簿ヲ設ケシメ適宜投票ノ濟否ヲ記入セシメ居レリ衆議院議員選舉ニ付テモ之ニ倣ハシメタキ見込ニ有之候處右ニ關シ他ニ適當ノ方法有之候ハ、御指示アリタシ

地方局長回答ノ内 (大正九年三月十日)

五 御見込ノ通御取扱相成可然

**法第二十七條**

◎投票記載ノ監督ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條)

投票記載ノ場合ニ於テ不正行爲アリト認ムルトキハ之ヲ防止スル爲メ選舉事務ニ關係アル官吏

員等ニ於テ監督スルコトヲ妨ケスト雖モ容易ニ之ヲ視フトキハ却テ祕密投票ノ趣旨ニ背キ且選舉人ノ意思ヲ曲ケシムルノ嫌アルニ依リ其ノ邊ハ最慎重ノ注意ヲ加フルコトヲ要ス

**法第三十條**

◎宣告ヲ取消サレタル禁治産者ニ關スル件

(明治三十五年四月内務省議決定)

選舉人名簿調製後禁治産者又ハ準禁治産者タルノ宣告ヲ受ケタルモノ選舉當日迄ニ其ノ宣告ヲ取消サレタルトキハ選舉ヲ行フコトヲ得ルモノトス

◎名刺ヲ傍ニ置キ記載スル投票ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條)

被選舉人ノ氏名ヲ投票用紙ノ下ニ入レ透キ寫シテ爲シ又ハ型ナトニ依リ被選舉人ノ氏名ヲ寫シ出ス者ノ如キハ自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スル能ハサルモノト認メ投票ヲ爲サシムルコトヲ得ス尤モ單ニ記憶ヲ惹起ス爲メ被選舉人ノ名刺ヲ傍ニ置キ投票ヲ記載スル者ノ如キハ自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スル能ハサル者ト認ムルコトヲ得ス

**法第三十一條**

◎假投票ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條)



新選舉法ニ於テハ選舉權ノ行使ヲ完カラシメンコトヲ期シ新ニ假投票ノ法ヲ設ケラレタルニ付法第三十九條ニ依リ投票拒否ノ場合ニ於テハ當該關係者ニ關シ異議ノ有無ヲ確メ異議者ニ關シテハ假ニ投票ヲ爲スノ途アル旨豫メ周知セシメ且拒否ノ際ニ於テモ此旨申シ聞カシムル様注意ヲ要ス

◎選舉權ナキ者拒否ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

選舉人名簿ニ記載セラレタル者又ハ確定裁決書ヲ所持セル者ニシテ選舉權ナシト認ムルモノニ關シ投票ヲ拒否セントスル場合ニ於テハ法第三十九條(改正法ハ第三十一條)ニ依リ立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スルコトヲ要スト雖選舉人名簿ニ記載ナキ者又ハ確定裁決書ヲ所持セサル者ニ對シテハ同條ニ依ルヲ要セス投票管理者ニ於テ適宜之ヲ投票所外ニ退出セシムルヲ得ヘキハ勿論ノ義ニ付右ノ區分ニ付誤解ナキ様豫メ注意ヲ加フルヲ要ス

◎氏名ヲ自書シ得サル者取扱ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

法第三十九條(改正法ハ第三十一條)ニ依リ假ニ投票ヲ爲サシムルニ當リ選舉人自ラ其氏名ヲ封筒ニ記載シ能ハサルトキハ投票事務ニ從事スル者ニ於テ適宜封筒ニ附箋ヲ貼附シ其ノ者ノ氏名竝其ノ旨ヲ記載シ置クコトヲ要ス

◎投票管理ノ拒否ノ決定ニ關スル件 (明治三十五年五月十五日地甲第四六號發ノ保局長地方局長ヨリ廳府縣長官宛ノ内)

衆議院議員選舉法ニ關シ左ノ通決定相成候條爲御參考比段及通牒候也  
法第三十九條末項(改正法ハ第三十一條)ハ投票立會人ニ於テ投票管理者ノ爲シタル拒否ノ決定ニ對シ異議アル場合ニ適用スヘキモノトス

◎假投票ノ自書セサル封筒ニ關スル件

廣島縣照會ノ内 (明治三十五年六月一日)

二 假投票ヲ爲スニ當リ選舉人自ラ其ノ氏名ヲ封筒ニ記載スル能ハサルトキハ投票事務員ニ於テ適宜封筒ニ符箋ヲ貼附シ其ノ者ノ氏名竝其ノ旨ヲ記載シ置クヲ要スル旨曩ニ御通牒ノ次第モ有之該封筒ニ選舉人自ラ氏名ヲ記載スヘキコトハ法ノ命スル所ニシテ之ヲ爲シ能ハサルモノハ全ク法律ニ從フコトヲ得サルモノナレハ斯ル選舉人ハ法律上投票ヲ行フコトヲ得サル筋ノモノト被存候得共右ハ封筒ノ認メ方ニ止リ投票其ノモノノ實體ニ關係ナキヲ以テ法ノ命スル所ニ違フモ其投票ヲ受理スヘキモノナルヤ

三 假投票ノ封筒ニ投票所印ヲ押捺セサルモノモ封筒ハ投票ニアラサレハ法第五十八條(改正法ハ第五十二條)ノ第一號ニ該當セサルモノナルヤ

地方局長回答 (明治三十五年六月十二日)

二 御見込ノ通

三 御見込ノ通但問ノ如キ事實ヲ生セサル様注意相成度



◎封筒ノ投票所印ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内)

封筒ニ押捺スヘキ投票所印ハ特ニ調製スルコトヲ要ス

◎ニヶ所投票拒否ニ關スル件

高知縣知事照會 (大正九年五月五日)

同一選舉區内甲乙ニヶ所ノ名簿ニ登録ノモノ甲ニテ投票シ更ニ乙ニテ強テ投票セントスル場合ハ投票ヲ爲サシムヘキヤ又假ニ投票ヲ爲サシムヘキヤ又ハ投票ヲ拒絕シ得ルヤ

地方局長回答

投票ハ名簿調製期日ニ住所ヲ有シタル町村ニテ行フヘキ義ト存ス尤モ住所地町村ニアラストスルモ名簿ニ登録セラル、ニ於テハ投票ノ拒否ニ付異議アルトキハ假ニ投票ヲ行ハシムヘキ義ト存ス

法第三十二條

◎閉鎖時刻後投票ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

投票所閉鎖ノ時刻ヲ過クルト雖法第四十條(改正法ハ第三十二條)ノ規定ニ依リ投票所内ニ在ル選舉人ハ投票ヲ行フコトヲ得ヘキモノナルニ依リ府縣制等ノ規定ニ從ヒ誤解ナキ様注意ヲ加フルコトヲ要ス

◎同上ノ件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

投票所閉鎖ノ時間ハ法第三十三條(改正法ハ第二十三條)ニ規定アリト雖投票ニ關シテハ時間ノ制限ナキヲ以テ投票所閉鎖前投票所ニ入りタルモノニ關シテハ閉鎖時間後ト雖總テ投票ヲ爲サシムヘキモノトス (法第二十三條參照)

法第三十四條

◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ内

(大正十五年二月十九日地發第七號地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

十五 投票録、令第三十三條ノ顛末書、開票録及選舉録ハ各其ノ調製義務者ニ於テ其ノ謄本ヲ調製シ選舉人又ハ議員候補者ノ請求アリタルトキハ之ヲ閱覽セシムルコト (法第三十四條、令第三十三條、法第五十四條、法第六十四條參照)

法第三十五條

◎投票函ノ保管ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

開票管理者カ投票函ノ送致ヲ受ケタルトキハ其ノ鎖鑰モ併セテ保管スルヲ要ス

第二 選舉ニ關スル通牒 衆議院議員選舉法ニ關スル通牒 法第三十四、三十五條 一八五



◎同上ノ件(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内 地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

投票函ハ取締上ノ必要アル場合ト雖開票管理者ニ送致スル迄ノ間之ヲ投票所外ニ轉送スルコトヲ得ス

◎投票ニ關スル件(大正九年三月一日發地發第四二號 地方局長ヨリ廳府縣長官宛ノ内)

衆議院議員選舉ニ關シ差向要急ノ事項ニ付テハ不取敢電報ヲ以テ及通牒候處尙左記事項ニ付テモ十分其趣旨ノ徹底ニ努メ郡市役所町村長等ヲ指導監督シテ豫メ之ニ處スルノ方法ヲ竭シ實際ニ臨ンテ遺策ナカラシムル様特ニ御配慮相成度

記

- 一 投票函ハ選舉會場(改正法ハ開票管理者法第三十五條)ニ送致スヘキモノナルニ付其ノ送致先ヲ誤マラサル様注意スルコト
- 二 投票函ハ投票ノ翌日迄ニ總テ到達セシムルヲ旨トシ交通不便ノ地ハ相當選舉期日ヲ繰上ケ選舉會(改正法ハ開票會)ノ前日迄ニ投票函ノ到着スル様注意スルコト

法第三十六條

◎投票立會人ノ選任ニ關スル件

高知縣照會(大正九年三月八日)

衆議院議員選舉法第四十三條(改正法ハ第三十六條)ニ依リ投票期日ヲ繰上ケ施行スルニ當リ必要ニ應シ名稱確定前投票立會人ヲ選任シ差支ナキヤ

地方局長回答(大正九年三月十二日)

投票立會人選任方ノ件必要アルニ於テハ御見込ノ通り取計ハレ差支ナキ義ト存ス

法第三十七條

◎一部投票ヲ行フコトヲ得サル場合

山梨縣照會(明治三十五年七月二十一日)

- 一 投票ヲ行フコトヲ得サルトキハ投票所ヲ開設シ能ハサル場合ニ限ル義ニシテ選舉人各自カ投票ヲ爲スコト能ハサル場合ヲ含マスト解シ可然哉
- 二 更ニ投票ヲ行フ必要アルトキハ出水ノ如キハ勿論防疫上ノ處分トシテ交通遮斷ヲ行ハレタル爲投票ヲ爲スコト能ハサル選舉人多數相生シタル場合等ニシテ投票管理者ニ於テ再投票ヲ行フ必要ヲ認メタルトキヲ云フ義ニ候哉
- 三 若シ前項ノ如キ解釋ヲ正當トスルトキハ其ノ投票ヲ爲シ能ハサル選舉人ノ一人タルトキト一部落又ハ一町村全部タルトキ等ノ程度ハ偏ニ投票管理者ノ認定ニ依ル義ニ候也



四 更ニ投票ヲ行フトキハ已ニ投票ヲ終リタル部分ノ選舉人ニモ改メテ新期日ニ投票ヲ爲サシメ先ニ爲シタル投票ハ管理者ニ於テ便宜棄却等ノ處分ヲ爲シテ差支無之義ニ候也

地方局長回答

投票ヲ行フコトヲ得サルトキハ投票所ヲ開設シ能ハサル場合ノミナラス交通遮斷出水等ノ爲一部ノ選舉人投票ヲ行フ能ハサル場合モ包含ス適用ハ責任ヲ以テ熟考アレ

徳島縣參事官問合 (明治三十五年八月五日)

川支ノ爲メ選舉人ノ一人又ハ一部投票ヲ行ヒ得サルトキハ選舉法第四十四條(改正法ハ第三十七條)ニ依リ遣リ直シテ可然ヤ

内務省書記官回答 (明治三十五年八月六日)

御見込ノ通り

鹿兒島縣照會 (明治三十五年八月十日)

衆議院議員選舉ノ投票ヲ一部行ヒタル後法第四十四條(改正法ハ第三十七條)ノ事實ノ爲投票ヲ行フコトヲ得サルニ依リ更ニ投票ヲ行ハシムル場合ハ選舉人全部ヲシテ投票セシムヘキモノト存ス如何

地方局長回答 (明治三十五年八月十二日)

御見込ノ通り

岩手縣照會 (大正九年五月九日)

法第四十四條(改正法ハ第三十七條)ニ依リ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシメタル投票區アル場合ニ

於ケル其ノ選舉區ノ選舉會ハ法第六十二條(改正法ハ第五十六條、第六十五條)ニ依ル手續ヲ要スルヤ又其ノ手續ヲ要セストセハ此ノ場合更ニ法第五十二條(改正法ハ第四十六條、第六十條)ノ告示ヲ要スルヤ又投票開始後交通杜絶シ一部ノ有權者カ投票スルコト能ハサル爲法第四十四條(改正法ハ第三十七條)ニ依リ更ニ投票ヲ行フ必要アル旨投票管理者ヨリ届出アリタルトキハ更ニ期日ヲ定メ該投票區全部ノ投票ヲ行ハシムヘキモノト解シ差支ナキヤ

地方局長回答 (大正九年五月十日)

法第四十四條(改正法ハ第三十七條)ニ依リ更ニ投票ヲ行ハレタル投票區アル場合ハ該選舉區ノ選舉會ハ其ノ投票區ノ投票終了シ投票函ノ到達シタル翌日行フヘキ義ニシテ法第六十二條(改正法ハ第五十六條、第六十五條)ノ適用ナシ若シ法第五十二條(改正法ハ第四十六條、第六十條)ニ依リ既ニ選舉會ノ日時ヲ告示シタルモノナラハ日時變更ノ告示ヲ要スルモノト存ス後段ハ貴官ニ於テ其ノ事實ヲ認メラル、ニ於テハ御見込ノ通更ニ該投票區全部ノ投票ヲ行ハシムヘキ義ト存ス

### ◎投票函送付途中破損ニ關スル件

石川縣照會 (大正五年十月十九日)

縣下能美郡第四投票所投票管理者ヨリ投票函ヲ開票管理者ニ送付ノ途中投票管理者ハ投票函ヲ擁シル儘河中タニ墜落シ投票函破損ノ爲投票ノ一部脱出シタルニ付直ニ立會人ト之ヲ拾集シテ破損セル投票函ニ納メ封印ヲ施シ開票管理者ニ送致セリ



此ノ場合ニハ再投票ヲ行フノ要ナキモノト認ム右ニ對スル貴省御意見承リタシ

地方局長回答 (大正五年十月十九日)

右ハ更ニ投票ヲ行フ必要アル義ト存ス

◎投票期日變更ニ關スル件

宮城縣照會 (大正九年十月十日)

法第四十四條(改正法ハ第三十七條)ニ依リ投票期日ヲ變更シタル結果選舉會ノ日時變更ヲ要スル場合第六十二條(改正法ハ第五十六條、第六十五條)ニ依ルヘキモノナルヤ又ハ單ニ日時變更ノ告示ニ止メ更ニ立會人選任ノ手續等ヲ要セサルヤ

地方局長回答 (大正九年五月十一日)

後段御見込ノ通

法第四十條

◎投票管理者ノ職權ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條)

投票所秩序ノ保持ハ投票管理者ノ職權ニ屬スルヲ以テ假令投票所ノ秩序ヲ紊スモノアルモ投票管理者ノ請求アルニアラサレハ警察官吏ハ進テ其ノ處分ヲ爲スヲ得ス然レトモ投票所ノ秩序以外ニ涉ル一般ノ公安ヲ害スル場合ハ此ノ限ニアラス

法第四十一條

◎警察官吏ノ取締ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條)

警察官吏ハ特ニ取締ヲ命セラレタルモノニアラスト雖投票所ニ入ルコトヲ得ルモノトス

德島縣問合 (明治三十五年二月)

警察官ニ衆議院議員選舉投票所ノ監視ヲ命スルモ差支ナキヤ

地方局長回答 (明治三十五年二月二十一日)

差支ナシ

◎投票所事務ニ從事スル者ニ關スル件

廣島縣照會 (明治三十五年六月十日)

投票所ノ事務ニ從事スルモノトアル中ニハ給仕小使ヲモ包含スルヤ若シ否ラストセハ給仕小使ノ類ハ投票所内ニ入ラシムルヲ得サルヤ

地方局長回答 (明治三十五年六月十二日)

前段御見込ノ通但シ豫メ其ノ人ヲ限定シ且漫リニ出入セシメサル様注意相成度

法第四十六條



◎同日同一會場ニ於テ開カルニノ選舉會ニ關スル件 (高知縣宛) (明治三十五年八月七日)

貴縣告示第三百三十八號衆議院議員選舉會ノ件ハ兩區共同一會場ニ於テ同日ニ被開候趣ニ候處右ハ  
甲選舉會ノ結了後乙選舉會ヲ被開候義ニ候得ハ後ニ開カルヘキ選舉會開會ノ時刻モ法第六十五條  
(改正法ハ第四十六條)ノ規定ニ依リ豫メ告示可相成筈ニ有之候

◎法第五十二條ノ告示ニ關スル件

福岡縣照會 (大正九年三月六日)

衆議院選舉區甲乙二郡一選舉區ニテ甲郡長選舉長タル場合ニ乙郡ニ對スル法第五十二條(改正法  
ハ第四十六條、第六十條)ノ告示方法如何(法第六十條參照)

地方局長回答 (大正九年三月九日)

法第五十二條(改正法ハ第四十六條、第六十條)ノ告示ノ件ハ法律中規定ナキヲ以テ適宜ノ方法ニ  
依リ一般選舉人ノ周知ヲ期スル様取計ハレ可然乙郡公布式ニシテ郡報ニ登載スルモノトセハ選舉  
長ノ名ヲ以テ登載スルモ一方法ト存ス

三重縣照會ノ内 (大正九年三月十日)

一 法第五十二條ニ依リ選舉長カ豫メ告示スヘキ日時トハ選舉會ヲ開クヘキ日時ヲ謂フ義ニ候哉  
尙若シ選舉人ノ數多キ爲選舉會其ノ翌日ニ亘ル場合アルモ差支ナキヤ

一 同選舉長ノ屬セサル郡ニ對スル選舉會ノ場所日時ノ告示方法ハ右告示ヲ直接其ノ町村役場ヘ  
配付シ可然哉又ハ其ノ郡ノ郡長ヲ經由シテ配付スヘキ義ナリヤ

地方局長回答 (大正九年三月二十六日)

一 前段御見込ノ通り後段選舉會ハ事實ニ於テ一日間ニ終了セサルカ如キコト可無之ト存候得共  
若シ事實一日間ニ終了セス引續キ翌日ニ亘ルモ已ムヲ得サル義ト存候  
一 法律中規定ナキヲ以テ適宜ノ方法ニ依リ一般選舉人ノ周知ヲ期スル様取計ハレ可然尙本件  
告示ハ選舉長ノ屬セサル郡役所ノ揭示場ニモ揭示セシムル方可然ト存ス

法第四十八條

◎到達遷延ノ場合開票日ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日 日地發第六七號ノ内)

一 法第六十二條ハ(改正法ハ第五十六條)直接開票ニ關シ故障アル場合ノ規定ナルヲ以テ天災事  
變等ニ依リ投票函ノ到達遷延數日ニ及フ場合ニ於テモ本條ニ依ルヲ要セス法第五十四條(改正  
法ハ第四十八條)ニ依リ郡ハ投票函ノ總テ到達シタル翌日ニ於テ開票スヘキモノトス

福井縣照會ノ内 (大正九年四月十五日)

法第五十四條(改正法ハ第四十八條)ニ依レハ選舉會ハ投票函ノ總テ到着シタル日ノ翌日之ヲ開ク  
ヘキモノニ有之然ルニ法第四十三條(改正法ハ第三十六條)ノ場合ニ於テハ投票函ハ選舉會ノ期日



迄ニ送致スヘキモノトアリ彼是矛盾スルモノ、如シ(法第三十條六條參照)

地方局長回答(大正九年五月三日)

投票函ハ法第四十二條(改正法ハ第三十五條)ニ依リ遅クモ投票ノ翌日迄ニ選舉長ニ送致スヘク選舉會ハ其ノ翌日之ヲ開クヲ通例トスルヲ以テ島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ投票ノ翌日迄ニ投票函ヲ選舉長ニ送致スル能ハサル情況アルトキハ法第四十三條(改正法ハ第三十六條)ニ依リ可然其ノ投票期日ヲ定メ以テ選舉會ノ期日迄ニ投票函ヲ送致セシムル様御措置相成可然ト存候尤モ斯クシテ尙選舉會ノ期日迄ニ投票函ノ到達セサル投票區アルニ於テハ選舉長ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日ニ非サレハ選舉會ヲ開クコトヲ得サルハ法第五十四條(改正法ハ第四十八條)ノ定ムル所ニ付此ノ如キ場合ニ於テハ選舉會開會ノ期日ハ之ヲ繰下クルノ外ナキハ勿論ノ義ト存候

◎選舉會ニ關スル件

大阪府照會ノ内(大正九年三月十日)

市ニ於ケル各選舉區ノ選舉會ハ投票ノ翌日之ヲ開クヘキヤ

地方局長回答(大正九年三月十八日)

御見込ノ通リ

◎選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ内(大正十五年二月十九日地發第七號 地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

十一 開票管理者ニ於テ投票函ヲ受領スル場合ニ於テハ内蓋及外蓋ノ鑰ハ各其ノ之ヲ送致シタル者ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ封印ヲ施サシメ其ノ表面ニ投票區名、内蓋ノ鑰又ハ外蓋ノ鑰ノ別送致者名ヲ記載セシメタル上之ヲ受領シ開票管理者ハ其ノ儘確實ニ之ヲ保管シ開票所ニ於テ投票函ヲ開ク前開票立會人ト共ニ封印ヲ檢シタル上封筒ヲ開披シ鑰ヲ取り出シ投票函ヲ開ク等保管ニ關シ嚴重注意スルコト(施行令第二十二條參照)

法第四十九條

◎假投票調査ニ關スル件(明治三十五年四月十八日地發第六七號 地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

法第五十五條(改正法ハ第四十九條)ニ依リ假投票ヲ調査スル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ之ヲ開封ヲ爲スヲ妨ケス

法第五十條

◎開票參觀ニ關スル件(明治三十五年四月十八日地發第六七號 地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

第二 選舉ニ關スル通牒 衆議院議員選舉法ニ關スル通牒 法第四十九、五十條 一九五



法第五十六條(改正法ハ第五十條、第六十三條)ノ參觀人ハ場所ノ廣狹ニ依リ豫メ人員ヲ定メ置キ  
定員内ヲ限リ入場セシムルモ差支ナシ(法第六十  
三條參照)

◎同上ノ件 (明治三十五年五月十五日地甲第四六號警保  
局長地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條ノ内)

衆議院議員選舉法ニ關シ左ノ通決定相成候條爲御參考此段及通條候也

記

選舉會場開票所ノ參觀ヲ許スハ其ノ區内ノ選舉人ニ限ル(法第六十  
三條參照)

◎同上ノ件 (明治三十五年  
四月省議決定)

- 一 選舉會場ニハ名簿ノ設備ナキヲ以テ本條ニ依リ參觀ヲ求ムル者ノ選舉資格ヲ有スルヤ否ヤヲ  
確認スルニ付テハ府縣ニ於テ適宜取締ノ方法ヲ設クルモ妨ナシ
- 一 地方長官ニ於テ選舉人ヲ認識スル爲選舉會ニ參觀ヲ求ムル選舉人ニ對シ其ノ市町村長ノ證明  
ヲ要スル旨ノ手續ヲ定ムルコトヲ妨ケス
- 前項ノ規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ要ス

◎同上ノ件 (明治三十五年四月十八日地發第六七  
號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

選舉會場開票所參觀ヲ許スハ各其ノ區内ノ選舉人ニ限ル

### 法第五十一條

#### ◎投票ノ效力ニ關スル件

和歌山縣知事照會 (大正十四年二月十三日)  
電報照會ノ内ノ一)

- 一 羅馬字投票ハ有效トアリ選舉長立會人共ニ羅馬字ヲ解セサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ參考トシ  
確定可然哉

地方局長回答 (大正十四年二月二十五日)  
電報回答ノ内ノ一)

- 一 二月十三日電照羅馬字投票ノ件ニ關シテハ選舉長立會人共ニ羅馬字ヲ解セサルトキ他ノ者ニ  
就キ投票ニ記載セラレタル羅馬字ノ讀方ヲ聽取シ之ヲ參考トシテ投票ノ效力ヲ決定スルハ差支  
ナキモ之カ爲投票ヲ他人ニ示スカ如キ不可然義ト存ス

### 法第五十二條

#### ◎投票記載ニ關スル件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號 ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通條)

法第五十八條(改正法ハ第五十二條)第五號但書ニ列記シタル以外ノ他事ヲ記入シタル投票ハ同條  
ニ依リ總テ無効ニ付豫メ注意ヲ加フルヲ要ス

島根縣問合 (明治三十五年  
七月十九日)

假名ニテ被選舉人ノ氏名ヲ書シタル衆議院議員選舉投票ハ無論有效ト認ムレトモ反對ノ解釋アル



ヤニモ聞ク御意見承リタシ

地方局長回答 (明治三十五年七月二十一日)

投票ノ件無論有效ト存ス

滋賀縣照會 (大正四年三月二十日)

本月十六日附通條ノ選舉欄ニハ「無効」ノ欄中ニ「其ノ他」ノ欄ナシ就テハ投票カ無効トナレハ法第五十八條(改正法第五十二條)ノ場合ニ限ルトノ御意見ナリヤ

地方局長回答 (大正四年三月二十三日)

御意見ノ通り

滋賀縣照會 (大正四年三月二十三日)

本日地方局長ヨリ投票カ無効トナルハ選舉法第五十八條(改正法第五十二條)ノ場合ニ限ル旨御回答アリタリ就テハ型ニ依リ寫シ又ハ活字ニテ押シタル投票ノ如キハ開票管理者ニ於テ無効ト決シ得サルカ

府縣課長回答 (大正四年三月二十四日)

右ハ投票タルノ效力ナキモノニ付立會人ノ意見ヲ聞クヲ要セサル義ト存ス

三重縣照會ノ内 (大正九年三月十日)

法第五十八條第六號ノ「被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ」ノ内ニハ「被選舉人ノ氏名ヲ型又ハ版ニ依リ寫出セルモノ」ノミナラス「單ニ丸若ハ線等ヲ記セルモノ名刺紙片ノ類ヲ貼付又ハ挿入

セルモノ白紙ノ儘投函セルモノ」ノ如キヲモ包含スル義ニ候哉若シ然ラスシテ是等ハ投票ト認ムヘカラサルモノナリトスルモ選舉錄様式第九號中ノ無効投票中ニハ種別毎ニ之カ記載スルニアラサレハ投票總數ト有效決定總數ト符合セサル結果ヲ生スヘシ右ノ如ク取扱差支ナキヤ

地方局長回答 (大正九年三月二十六日)

被選舉人ノ氏名ヲ型又ハ版ニ依リ寫出シタルモノハ法第五十八條第六號ニ該當スルモノナルモ白紙其ノ他文字ノ記入ナキモノハ法第五十八條ノ無効投票ト認ムヘキモノニ無之從テ選舉錄様式第九號ノ無効投票中ニハ算入スヘキモノニアラサルニ付其ノ爲投票總數ト有效又ハ無効ト決定シタル投票數ト符合セサルモノアルトキハ其ノ理由ヲ適宜選舉錄中ニ記入セシメラレ可然ト存候

### ◎成規ノ投票用紙ニ關スル件

熊本縣照會 (大正九年五月十日)

或投票所ニ於テ誤テ投票用紙全部ニ何投票所印ヲ押捺シテ交付シタルモノアリ有效ト存スルモ如何若シ無効トセハ他事記入トスヘキヤ又ハ成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノトスヘキヤ

地方局長回答 (大正九年五月十一日)

右ハ法第五十八條(改正法第五十二條)第一項第一號ニ該當スルモノト存ス尙該投票ヲ無効ト爲スノ結果當選人ニ影響ヲ及ホス虞アルトキハ選舉訴訟ノ因トナルヘキニ付右選舉區及投票數竝本件行違ヲ生シタル事由等詳細承知シタシ

### ◎投票ノ豫約ニ關スル件

第二 選舉ニ關スル通條 衆議院議員選舉法ニ關スル通條 法第五十二條



長崎縣照會 (大正十三年四月六日)

管下北松浦郡第五區政友本黨公認候補者森肇ハ既報ノ通其ノ投票依頼狀ニ自己ノ本籍地タル御厨村ヲ氏名ノ前ニ附記投票ヲ依頼セリ其ノ理由ハ同區ヨリ同姓同名異人ノ立候補ヲ慮リ爲シタルモノナルカ右ハ選舉ニ關スル投票ノ豫約ト認メラル、ヤ又同候補選舉權ハ前記御厨村ニ在ルヲ以テ住所ト謂ヒ得ヘク之ヲ附記投票スルハ差支ナキモノナルヤ司法當局ト御打合ノ上何分ノ御回示ヲ乞フ  
警保局長回答 (大正十三年四月十一日)

◎法第五十八條第五號ノ住所ニ關スル件

長崎縣再照會 (大正十三年四月十八日)

本月六日附電報ヲ以テ指示相伺候管下第五區(北松浦郡)政友本黨公認候補森肇ノ運動方法ニ關シ尙疑義有之候條左記事項ニ對シ更ニ何分ノ指示相煩度

記

當初電照ノ際森肇ノ選舉權ハ本籍地タル區内御厨村ニアル旨申報セシモ其ノ後調査セシ處ニ依レハ右ハ事實相違シ現住所長崎市ニ於テ之ヲ有スルモノナリ此ノ場合單ニ本籍地タル關係ノミナラス御厨村ヲ既報ノ理由ニ依リ氏名ノ前ニ附記投票ヲ依頼ストセハ其ノ投票ハ果シテ有效ナリヤ即チ法第五十八條(改正法第五十二條)第五號ニ依リ同條ニ謂フ住所ハ法第八條(改正法ハ第六條第

四號、第十二條)ノ住所(改正法ハ住居)ノ意味ト合致スルモノナリヤ或ハ法第五十八條(改正法ハ第五十二條)第五號ノ住所ノ意味ハ積極的ニ本籍地ノ如キ住所ニ類スル態様ノモノモ包含スト解釋セラルヘキモノナリヤ

地方局長回答 (大正十三年四月二十三日)

右本籍地ハ住所ニ類スルモノト認メラル、ニ付有效ト存ス

◎羅馬文字ヲ以テ記載シタル投票ニ關スル件 (大正十三年四月二十五日和地發乙第八號地方局長ヨリ各地方長官宛通牒)

今般從來ノ省議ヲ改メ羅馬文字ヲ以テ記載シタル投票ハ之ヲ有效トスル旨決定相成候條御諒知相成度

追而從來ノ通牒回答等ニシテ本文ニ抵觸スルモノハ自然消滅ノ義ト御了知相成度

◎氏又ハ名ノミヲ記載シタル投票ノ效力ニ關スル件通牒

(大正十三年五月五日地發乙第八號地方局長ヨリ各地方長官宛)

氏又ハ名ノミヲ以テ記載シタル投票ノ效力ニ關シ往々伺出ノ向モ有之候處當省ニ於テ被選舉人ノ何人タルヲ確認シ得ル限リ有效ノ例ニ相成居候條爲御參考及通牒候也

和歌山縣照會 (大正十三年四月十日)

一 外國文字ヲ以テ記載シタル投票ノ效力



從來外國文字ヲ以テ記載シタル投票ノ效力ニ就テハ全部之ヲ無効ト爲シ來リタルモ大正九年一六六一號(大審院民事部)ノ判例ニ依ルトキハ羅馬字ヲ以テ記載セル投票ヲ有效トナセリ選舉法ニハ何等用字ニ付テ制限ヲ爲シアラスト雖殊更ニ外國文字ヲ以テ記載スルカ如キハ選舉ノ秘密ヲ害スルノ虞モアリ之ヲ有效ト爲スハ適當ナラサルカ如シト雖現時ノ情勢ニ鑑ミ且ツハ既ニ大審院ニ於テ斯ル判例アル以上選舉人ノ意思ヲ尊重スル意味ニ於テ羅馬文字ヲ以テ記載セルモノニ限り有效トシテ取扱可然哉

二 氏又ハ名ノミヲ記載シタル投票ノ效力

氏又ハ名ノミヲ記載シタル投票ト雖其ノ選舉區ニ於テ候補ニ立チタル者ノ氏又ハ名ニ該當スルトキ(但同氏同名ノ候補者ナキ)ハ其ノ候補者ヲ指シタルモノト認メ之ヲ有效ト爲シ來リタリ然ルニ大正十年一一八一號(大審院民事部)ノ判例ニ依ルトキハ法第三十六條ハ氏名ヲ記載スヘキ旨規定セルヲ以テ氏又ハ名ノミヲ記載セル投票ハ被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ得サルモノトシテ無効トナセリ然レトモ同氏又ハ同名ノ者ノ同一選舉區ニ於テ候補ニ立タサル限り氏又ハ名ノミヲ記載セル投票ト雖被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ得ヘキニ依リ之ヲ有效トシテ取扱可然哉

地方局長回答 (大正十三年四月二十五日)

羅馬文字ヲ以テ記載シタル投票ハ有效ト存ス而シテ氏又ハ名ノミヲ記載シタル投票ハ被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ得ル限り有效トスルノ例ニ有之候  
追而從來ノ通牒回答等ニシテ本文ニ牴觸スルモノハ自然消滅ノ義ト御承知相成度

◎外國文字ヲ以テ記載シタル投票ニ關スル件

大阪府照會ノ内 (大正十三年五月八日)

朝鮮文字ヲ以テ記載シタル投票アルトキハ之ヲ無効トスヘキヤ

地方局長回答 (大正十三年五月九日)

御見込ノ通ト存ス

岩手縣照會 (大正十三年五月九日)

衆議院議員選舉投票中(高橋達磨)(達磨總裁へ)ト記シタル場合ノ投票ハ無効ト認メラル、モ一應御意以承リ度

地方局長回答 (大正十三年五月十日)

御見込ノ通リ

法第五十七條

◎投票所管理ノ開票所入所ニ關スル件

島根縣照會 (明治三十五年七月二十二日)

第二 選舉ニ關スル通牒 衆議院議員選舉法ニ關スル通牒 法第五十七條



衆議院議員選舉法第四十七條及第六十三條(改正法ハ第五十七條、第六十六條)ノ規定ヲ按スルニ  
投票所管理者ハ開票所ニ入ルヲ許サ、ル法意ト解釋セラレ候處舊法ニ在リテハ明治二十三年二月  
神奈川縣伺ニ對シ投票所管理ノ町村長ハ選舉會ニ入ルコトヲ得ル旨ノ御指令モ有之改正法ニ於テ  
モ仍ホ從前ノ通入所セシメ差支ナキ御意見ニ候哉(法第六十條參照)

地方局長回答(明治三十五年七月三十日)

投票所管理者ハ開票所ニ入ルコトヲ得ス

**法第五十八條**

◎選舉ノ執行ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

選舉長ハ投票所開票所ノ組織成立ニ背規ノ廉アリ若ハ其ノ管理者ニ於テ違法ノ處置アリシコトヲ  
發見スルモ選舉ノ執行ヲ中止スルコトヲ得ス

◎選舉ノ職務ニ關スル件

三重縣照會ノ内(大正九年三月十日)

一 選舉長選任ノ場合ハ何郡長某ト其ノ氏名ヲモ記載シ指定スヘキ議ナリヤ果シテ然ランニハ選

舉長故障アルトキハ更ニ他ノ郡長ヲ選任スヘキ義ニシテ(當然選舉會場變更ス)上席郡書記ヲシ  
テ直ニ代理セシムルコトハ不可然義ナリヤ

二 選舉會ノ事務ヲ執行スルニ當リ選舉長ノ屬スル郡官吏ノミニテハ事務執行上差支ヲ生スル虞  
アルヲ以テ其選舉區内他ノ郡ノ官吏ヲシテ選舉事務ヲ補助セシメムトス此ノ場合選舉長ハ其ノ  
郡長ニ協議シ選舉長ノ名ヲ以テ事務員ヲ任命スルハ差支ナキヤ果シテ然ランニハ其ノ郡書記ノ  
旅費ハ選舉長ノ屬スル行政廳ノ經費ヲ以テ支辨スヘキ義ナリヤ

地方局長回答ノ内(大正九年三月二十六日)

一 法第六條第二項ニ依リ選舉長ヲ定ムルニ當リ郡長ノ氏名ヲ記載スルト否トニ拘ラス當該郡長  
ニ故障アルトキハ上席郡書記其ノ職務ヲ代理スヘキ義ニ有之候

二 選舉長タル郡長ハ他ノ郡ノ郡書記ニ對シ事務員ヲ命スルコトヲ得サル義ト被存候

兵庫縣照會(大正九年三月十六日)

一 選舉區數郡市ニ涉ル場合ニ於テ選舉長(改正法ハ開票管理者ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ屬スル郡市  
外ノ郡市ノ開票ニ際シテハ關係郡市ノ官吏々員ヲシテ選舉會(改正法ハ開票會ヲ含ム以下之ニ同  
シ)ノ事務ニ從事セシムルヲ以テ被選舉資格ノ調査其ノ他選舉ノ正確ヲ期シ取扱ノ迅速ヲ計ル上  
ニ於テ頗ル便宜ト存候得共選舉長ノ屬セル郡市ノ官吏々員ヲシテ之ニ從事セシメンニハ選舉長ノ  
屬スル郡市ノ官吏々員ヲ兼任セシムルノ外ナキ様被存候得共斯クテハ繁ニ堪ヘサルヲ以テ兼任ノ



手續ニ依ラス當該郡市長ノ協議ニ依ルカ又ハ知事ニ於テ該選舉會ノ事務ニ從事セシムルモ差支ナキ義ニ候哉(法第四十條參照)

地方局長回答(大正九年三月二十二日)

右選舉長(改正法ハ開票管理者ヲ含ム)ハ他郡市ノ官吏々員ヲシテ選舉會(改正法ハ開票會ヲ含ム)ノ事務ニ從事セシムルヲ得サル義ト御了知相成度

◎選舉長ノ選定ニ關スル件(大正九年三月二十四日)

- 一 選舉長ノ選定ニ關シテハ府縣公報ヲ以テ之ヲ定ムルト將タ一々辭令ヲ交付シ公報ヲ以テ之ヲ告示スルトハ適宜ニテ可然
- 二 府縣公報ヲ以テ選舉長ヲ定ムル場合郡市長ノ氏名ヲ記載セス單ニ官職名ノミヲ記載シ選舉長トスル旨之ヲ定ムルト將タ其ノ氏名ヲモ記載シ某郡市長某ヲ選舉長トスル旨之ヲ定ムルトハ是亦適宜ニテ可然
- 三 前項前段ノ如ク單ニ官職ノミヲ記載シ公報ヲ以テ選舉長ヲ定メタル場合ニ於テハ當該郡市長ニ交送アルモ別ニ變更セサル限リハ後任者ハ當然選舉長タルモノトシ取扱可然
- 四 選舉長ハ議員ノ一任期毎ニ新ニ之ヲ定ムルコト、爲スト將タ氏名ヲ記載シテ選舉長ヲ指定シタル場合ニ於テ一旦之ヲ定メタル以上ハ當該郡市長ノ交送セサル限リ引續キ依然在職セシムル

コト、爲スト將タ又第三項ノ如ク當該郡市長ノ交送アルモ後任者當然選舉長タルモノトシ取扱フモ適宜ニテ可然

- 五 選舉長ハ一旦定メタル以上ハ濫リニ變更スヘキモノニアラサルハ勿論ニ候得共必要アルニ於テハ適宜之ヲ變更スルモ別ニ妨ケ無之ト存候

法第六十條

◎選舉開會日時及告示ニ關スル件

三重縣知事照會ノ内(大正九年三月十日)

- 三 法第五十二條ニ依リ選舉長カ豫メ告示スヘキ日時トハ選舉會ヲ開クヘキ日時ヲ謂フ義ニ候哉 尙若シ選舉人ノ數多キ爲メ選舉會其翌日ニ亘ル場合アルモ差支ナキヤ
- 四 同選舉長ノ屬セサル郡ニ對スル選舉會ノ場所日時ノ告示方法ハ右告示ヲ直接其ノ町村役場ヘ配付シ可然哉又ハ其ノ郡ノ郡長ヲ經由シテ配付スヘキ義ナリヤ 地方局長回答ノ内(大正九年三月二十六日)
- 三 前段御見込ノ通後段選舉會ハ事實ニ於テ一日間ニ終了セス引續キ翌日ニ亘ルモ已ムヲ得サル義ト存候
- 四 法律中規定ナキヲ以テ適宜ノ方法ニ依リ一般選舉人ノ周知ヲ期スル様取計ハレ可然尙本件告



示ハ選舉長ノ屬セサル郡役所ノ揭示場ニモ揭示セシムル方可然ト存候

**法第六十九條**

◎當選資格得票計算ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號  
ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

法第七十條(改正法ハ第六十九條)ニ依リ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數  
(改正法ハ有效投票ノ總數)ヲ除シテ得タル數及之ヲ五分(改正法ハ四分)シテ得タル數ハ四捨五入  
スルノ限ニアラス(法第六十  
八條參照)

福岡縣照會 (明治三十五年  
八月十一日)

門司市衆議院議員選舉有權者總數百九十六ニシテ開票ノ結果最高點者ハ九ナリ右ハ法第七十條但  
書五分ノ一數ニ端數ヲ生シタルトキ其ノ端數ハ一票ト看做シ難キニ付總テ切捨テ當選トシ取扱フ  
ヘキヤ

地方局長回答 (明治三十五年  
八月十二日)

端數ハ切捨ツルヲ得ス當選者ハ少クモ四十ノ得票ヲ要ス

◎繼續的選舉會ノ立會人ニ關スル件

宮城縣照會 (大正九年四  
月二十四日)

法第七十條第三項第四項(改正法ハ第六十九條第三項乃至第五項)ノ所謂選舉會トハ其ノ選舉ニ關  
シ當初組織シタル選舉會ヲ再ヒ開會スルモノナルヤ又ハ同法第五十三條(改正法ハ第六十一條)ニ依  
リ更ニ立會人等ヲ選任シ新ニ選舉會ヲ組織スルモノニヤ疑義ニ涉リ候條至急何分ノ御垂示相煩度

地方局長回答 (大正九年  
五月一日)

當初ノ選舉立會人ヲシテ參會セシムヘキ義ト存候

長崎縣照會 (大正九年  
五月九日)

五月一日宮城縣照會ニ對シ「當初ノ選舉立會人ヲシテ參會セシムヘキ義ト存候」ト御回答相成居  
候處右ニ關シ聊カ疑義相生シ候條左ノ事項ニ付何分ノ義御垂示相煩度

- 一 法第二十八條第六十一條第七十四條第一項第七十八條第四項(改正法ハ第十八條第六十二條  
第二項第七十五條第一項、第七十九條第五項)ニ定メタル各選舉ニ於テ開設スル選舉會ハ第五  
十一條及第五十三條(改正法ハ第四十五條乃至第四十七條)ノ手續ヲ爲スヘキハ勿論第五十三條  
(改正法ハ第四十七條)ニ依リ選舉立會人ヲ選任セサルヘカラス而シテ其等ノ選舉立會人ハ何レ  
モ選舉會終了ト共ニ其ノ資格ヲ失フモノト認ム然ルニ法第七十條第三項第四項(改正法ハ第六  
十九條第三項乃至第五項)ノ場合ニ於ケル當初ノ選舉會ト雖一旦當選者決定シタル以上ハ其ノ  
選舉會ハ終了シ併セテ選舉立會人ハ其ノ資格ヲ失フモノト見ルヘク次ノ選舉會ニ當然當初ノ選  
舉立會人ヲシテ參會セシムルニハ法律ノ規定ニ俟タサルヘカラサルモノト認メラル宮城縣ニ對  
シ與ヘラレタル御解釋ノ基ク所御示相煩度



地方局長回答 (大正九年五月十二日)

補闕選舉又ハ再選舉ヲ行フ場合ハ前ノ選舉トハ關係ナキニ付更ニ選舉立會人ヲ選任スヘキハ勿論ノ義ナルモ第七十條第三項第四項(改正法ハ第六十九條第三項乃至第五項)ノ場合ハ之ト異ナリ前選舉會ノ繼續ト見ルヘキモノニ付此ノ如キ場合ハ施行令第二十八條ノ如ク前段ノ規定無之以上當初ノ立會人ヲシテ參會セシムヘキ義ト存候

**法第七十條**

◎當選人失格ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

選舉長ニ於テ法第六十四條(改正法ハ第六十二條)ニ依リ開票管理者ノ報告書ヲ調査シタル結果有  
效投票ノ最多數ヲ得タルモノニシテ被選舉權ヲ有セスト認ムルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキハ  
法第七十條第二項(改正法ハ第七十條)ニ認ムル所ナルヲ以テ當選人ヲ定ムルニ當リテハ特ニ其ノ  
被選舉權ノ有無ニ注意ヲ加フルコトヲ要ス

**法第七十二條**

◎當選告知ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

議員當選ノ告知ニ關スル當選承諾届出ニ付テハ法定ノ期間アリ隨テ其ノ當選告知ノ受領月日ハ當  
選ノ諾否ヲ定ムル上ニ於テ重大ノ關係ヲ有スルモノナルニ依リ特ニ注意ヲ要ス則チ其ノ告知ハ當  
選者ニ直接交付スルノ外ハ其ノ居所ニ居所判明セサルトキハ住所ニ送達シ又其ノ告知ニ關シテハ  
必ス受領ノ月日ヲ記載シタル受領證ヲ徴シ其ノ當選者ノ遠隔ノ地ニ在ルモノニハ書留郵便電信等  
ニ依リ其ノ送達ヲ確メ認ムルニ支障ナキ方法ヲ採ラシムルヲ要ス

**法第七十四條**

◎衆議院議員選舉ニ關スル件通牒

(明治三十五年五月十五日地甲第四六號警保ノ局長地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒ノ内)

衆議院議員選舉法ニ關シ左ノ通決定相成候條爲御參考此段及通牒候也

記

當選ノ告知ハ當選人旅行中ニ屬シ留守居ノ者ニ交付シタル場合ト雖法第七十三條(改正法ハ第七  
十四條)ノ期限ハ其交付シタル日ヨリ起算スヘキモノトス

**法第七十五條**

◎選舉ノ全部無効ノ場合ノ手續ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)



選舉ノ全部無効トナリタルトキハ法第七十四條(改正法第七十五條)ノ當選人ナキトキトアルニ該當スルニ付同條ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

◎再選舉ニ關スル件 (大正五年十一月二十九日地 方局長ヨリ石川縣宛通牒)

十一月二十七日大審院ニ於テ貴官竝從參加人櫻井兵五郎外一人對被上告人堀俊明外四人間衆議院議員選舉無効訴訟事件上告棄却ノ判決アリタルニ付テハ選舉法第七十四條(改正法ハ第七十五條)ニ依リ更ニ選舉ヲ行フヘキ義ニ有之候處右ニ付投票用紙ノ選定ハ勿論其ノ他選舉執行上ニ關シテハ十分御留意ノ上遺算ナキヲ期セラレ度且申迄モ無之候得共帝國議會ノ開會モ追々切迫致候次第ニ付當選證書ノ付與當選ノ報告等諸事敏速ニ取運ハレ尙選舉期日選舉會ノ期日等ヲ定メラレ候ハ直ニ御報告相成候様致度

◎再選舉執行ニ關スル件

福島縣照會 (大正七年 十月一日)

豫テ及御報告置候若松市衆議院議員選舉訴訟ハ客月三十日上告ヲ棄却セラレ該選舉ハ宮城控訴院判決ノ通り無効ト確定致候ニ付衆議院議員選舉法第七十四條(改正法ハ第七十五條)ニ依リ更ニ選舉ヲ行ハサルヘカラサルコトト相成候處右選舉ノ執行ニ付テハ別ニ主務大臣ノ命令ナク本官ニ於テ相當期日ヲ定メ之ヲ執行スヘキ義ト存候得共爲念御意見承知致度

地方局長回答 (大正七年 十月三日)

選舉法ノ解釋ニ付テハ御見込ノ通りト存シ候

◎同上ノ件

福島縣報告 (大正七年 十月十日)

豫テ及御報告置候若松市衆議院議員選舉訴訟ノ件ニ付テハ客月三十日同選舉無効ノ判決言渡相成確定致候ニ付當選人柴四朗ニ對シ附與シタル當選證書ヲ取消シ尙更ニ選舉執行ノ義別紙ノ通告示致候

(別紙)

告示第四百二十二號

若松市衆議院議員選舉訴訟ノ判決ニ依リ同選舉ハ無効トナリタルヲ以テ衆議院議員選舉法第七十四條第一項(改正法ハ第七十五條第一項)ニ依リ更ニ選舉ヲ行フ其ノ選舉期日ヲ左ノ通定ム

大正七年十月廿三日

告示第四百二十三號

衆議院議員選舉法第七十四條第一項(改正法ハ第七十五條第一項)ニ依リ行フ若松市衆議院議員選舉會ハ左ノ場所及日時ニ於テ之ヲ開ク

一、選舉會場

北會津郡役所



一、選舉會ノ開始日時 大正七年十月廿五日午前九時

地方局長通牒(大正七年十月十二日)

十月十日付ヲ以テ御報告ニ係ル告示第四百二十二號及第四百二十三號中衆議院議員選舉第七十四條第一項(改正法ハ第七十五條第一項)ニ依リ云々ト有之候得共右ハ同條第三項(改正法ハ第七十五條第四項)ニ依ルヘキ義ニ候條相當御措置相成度

◎同上ノ件

岡山縣照會(大正十一年三月十八日)

過般大審院ニ於テ本縣第八區衆議院議員選舉ニ對スル選舉訴訟苦田郡及英田郡ノ選舉無效ト判決相成候様聞知候右ハ不日選舉法第七十八條ニ依リ内務大臣ヨリ補闕ノ手續ヲ命セラル、義ト存候得共(改正法ハ第七十九條ニ依リ内務大臣ハ議員法第八十四條ノ規定ニ依ル衆議院議長ノ通牒ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ地方長官ニ對シ其ノ旨ヲ通知ス)該選舉手續ニ於テ左記ノ通疑義有之豫メ承知致度

記

一 苦田郡英田郡ノ選舉全部無效ノ判決ナリトセハ勝田郡ハ有效ト認ムルニ依リ更ニ選舉ヲ要セサルヤ

一 選舉法第七十六條(改正法第七十七條)ニ依ル當選證書ノ取消ハ法第七十八條ノ命(改正法ハ

第七十九條)ノ通知ヲ受ケタル後告示スヘキモノト心得可然哉

一 選舉長及選舉立會人ハ總選舉當時ノ者當然之ニ當ルヘキモノニシテ更ニ選任ヲ要セサル義ニ有之哉

一 前項若シ選任ヲ要セストスルモ法第六十一條(改正法ハ第五十五條)ニ依ル投票ノ效力ハ苦田郡英田郡ノ分ノミ效力ヲ決定シ可然ト認メ候處如何哉

地方局長回答(大正十一年三月二十二日)

今回ノ選舉ハ法第七十四條(改正法ハ第七十五條)ニ依ル更ニ行フ選舉ニシテ法第七十八條(改正法ハ第七十九條)ニ依ル補闕選舉ニ無之カ命令ハ不日訓令可相成尙御質疑ノ件左記ノ通ト御了知相成度

記

一 法第八十一條(改正法ハ第八十二條)ニ依ル一部無効ニ付勝田郡ハ更ニ選舉ヲ要セサルモノト存ス

二 法第七十六條(改正法ハ第七十七條)ニ依ル當選證書ノ取消ハ判決ノ結果ヲ確知シタルトキニ於テ告示ヲ爲スモノト存ス

三 選舉長ハ現任者アルヘキ筈(大正九年三月二十七日發乙第一四號ヲ以テ地方局長通牒參照)ニ付其ノ現任者當然之ニ當ルヘキ義ニ有之候  
選舉立會人ハ更ニ選任ヲ爲スヘキモノト存ス



四 法第六十一條(改正法ハ第五十五條)ノ選舉會ニ於ケル投票ノ效力決定ハ選舉ノ一部無効トナ  
リ更ニ選舉ヲ行ヒタルモノノミ即チ苦田英田ノ兩郡ニ對スル效力ヲ決定スルハ御見込ノ通ト存ス  
(參照)

議院法第八十四條 何等ノ事由ニ拘ラス衆議院議員ニ關員ヲ生シタルトキハ議長ヨリ内務大臣ニ通牒シ補關選舉ヲ求ムヘシ

◎選舉立會人及投票立會人ノ選任ニ關スル件通牒

(大正十四年五月十二日地發乙第九  
十號地方局長ヨリ各地方長官宛)

標記ノ件ニ關シ愛媛縣知事へ別紙之通回答置候條爲御參考

愛媛縣知事 (大正十四年四月二  
十一日電報照會)

衆議院議員選舉法第七十四條(改正法ハ第七十五條)ニ依ル再選舉ニハ更ニ法第三十二條及第五十  
三條(改正法ハ第二十四條、第四十七條、第六十一條)ノ手續ヲ爲スヘキ義ト存スルモ念ノ爲御意  
見承知シ度

地方局長回答 (大正十四年四月二  
十五日電報回答)

衆議院議員選舉立會人ニ付テハ選舉ノ一部無効トナリタル場合ハ更ニ選任ヲ要セサルモ其ノ他ノ  
場合及投票立會人ニ付テハ御見込ノ通ト存ス

法第七十六條

◎當選承諾者氏名告示ニ關スル件

(明治三十五年五月十五日地甲第四六號警  
保局長地方局長ヨリ廳府縣長官宛ノ内)

衆議院議員選舉法ニ關シ左ノ通決定相成候條爲御參考此段及通牒候也

記

法第七十五條(改正法ハ第七十六條)ノ告示ハ當選承諾書ヲ差出シタル者アル都度之ヲ爲スト當選  
人ヲ纏メテ之ヲ爲ストハ便宜ニ依リ然ルヘシ

◎當選證書交付ニ關スル件

(明治三十七年三月三日地方  
局長ヨリ衆議院書記官長宛)

本月十八日臨時議會召集相成候ニ付テハ地方長官ニ於テ議員當選證書付與ノ暇ナキ向有之哉モ難  
計其ノ際ハ或ハ地方長官ヨリ當選證書交付方貴局へ御依頼可及義モ可有之ト存候尤モ當選者ハ當  
選告知書携帯ノ上貴局へ出頭候事ト被存候ニ付御含ノ上可然御取扱相煩度御依頼旁々此段豫メ申  
進候也

◎同上ノ件

福島縣照會 (明治四十一年  
十月二十六日)

衆議院議員當選者ニシテ法第七十五條(改正法ハ第七十六條)當選證書ヲ紛失シタル場合ニ於テハ  
更ニ下付スヘキ義ニ有之候哉又ハ其ノ當時ニ溯リ謄本ヲ下付シ可然哉



地方局長回答 (明治四十一年十月三十日)

右ハ曩ニ交付シタル證書ノ無効ヲ告示シ更ニ當選證書ヲ交付スル等適宜御措置相成可然ト存候  
追而更ニ交付スヘキ當選證書ニハ紛失ニ付再ヒ交付スル等相當裏書ヲ爲シ交付相成可然ト存候  
間爲念申添候

◎同上ノ件

(大正九年三月一日發地第四二號地方局長ヨリ東京府知事宛)

當選承諾ハ至急督促ヲ加ヘ出來得ル限リ迅速ニ當選證書ヲ交付スルコト

◎當選人調表報告ニ關スル件

(大正九年五月七日發乙第一九九號地方局長ヨリ地方各廳府縣長官宛)

本月十日舉行スヘキ衆議院議員選舉ニ於ケル當選人定マリタルトキハ迅速當選證書ヲ交付スル様  
豫テ及通牒置候處内務報告例ニ依ル當選人調表ニ付テモ速ニ御報告相成度尙右當選人調表中「選  
舉區」ノ欄何市又ハ何郡トアルハ選舉法改正ノ結果第何區ト記載スヘキ義ト御承知相成度此段爲  
念又選舉後遲滯ナク別紙様式ニ依リ選舉調御報告相成度  
(別紙様式略)

◎同上ノ件

(大正九年五月七日發乙第二〇〇號地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

大正二年七月當省訓令第十六號内務報告例ニ依リ「衆議院議員當選人調表」御報告ノ際ハ併セテ

選舉法第七十條第二項ノ規定ニ依リ當選人ト爲ラサリシ者ヲ別紙様式ニ依リ御報告相成度

追テ大正八年一月三十日發乙第三九七號通牒ハ自然消滅シタル義ト御承知相成度

(參照)

大正二年七月内務省訓令第十六號内務報告例略

◎衆議院議員並府縣會議員再選舉及補闕選舉期ニ關スル

報告方ノ件通牒

(大正九年八月二十一日地局第三六號五號地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

標記ノ告示報告ハ從來往々之ヲ爲サル向有之差支ヘ候條今後ハ無洩直ニ報告相成候様致度

追テ府縣會議員ニ付自今本文告示ヲ發シ選舉末施行ノモノハ其期日並選舉區名電報ニテ御報告  
相成度

法第七十九條

◎補闕選舉會開會告示ニ關スル件

(明治三十六年六月九日地方局長ヨリ福井縣宛)

本月一日貴縣告示第四百四號衆議院議員補充ノ爲メ選舉會開會ノ件報告相成候處右ハ本省ヨリ通牒  
前ニ於テ告示セラレタルハ適當ナラスト被存候得共今度限リ差置カレ候條將來御注意相成度依命  
及通牒候也



**法第八十一條**

◎法第八十條ノ選舉日ノ件 (明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

第八十條(改正法ハ第八十一條)ニ於ケル選舉ノ日トハ一般投票ノ日ヲ指シタルモノトス

**法第八十二條**

◎選舉ノ規定ニ違反スル選舉ノ效力ニ關スル件

静岡縣照會 (大正六年四月二十日)

本日衆議院議員選舉田方郡菰山村投票所ニ於テ縣ヨリ配付シタル投票函アルニ拘ラス不注意ニ依リ村ニ備ヘ付ケアル他ノ選舉ニ用ユル投票函ヲ使用シタリ其ノ投票函ハ二重蓋ニシテ内外格別ノ鎖鑰ヲ有シ大體省令ノ形式ヲ備フルモ外蓋ニハ何等ノ文字記載ナシ右ハ選舉效力ニ影響ナク法第四十四條(改正法ハ第三十七條)ニ依リ更ニ投票ヲ行フノ必要ナシト認メラル、モ爲念折返シ御意見承知致度

地方局長回答 (大正六年四月二十一日)

菰山村投票ノ件御見込ノ通リト存ス

**法第八十八條**

◎衆議院議員選舉法並附屬ノ勅令及省令施行ニ關スル件ノ内

(大正十五年八月二十五日内務省發警第五九號内務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通牒)



八 選舉事務長、選舉委員、選舉事務員及選舉事務所ニ關スル届出（選舉法第八十八條第五項乃至第七項第八十九條第四項）アリタル場合又ハ選舉事務長、選舉委員若ハ選舉事務員ノ解任、退任又ハ選舉事務所ノ閉鎖ヲ命シタル場合（選舉法第九十四條）ニ於ケル取締ノ統一及連絡ヲ圖ル爲報告又ハ命令傳達ノ方法並ニ關係各警察官署相互間ノ通報等ニ關シ豫メ適當ノ方法ヲ定メテ之ヲ指示シ置クコト（法第八十九條、法第九十四條參照）

九 選舉法第三十七條ノ規定ニ依リ行フ投票ノ場合選舉事務長、選舉委員、選舉事務員及選舉事務所ハ従前ノモノヲ其ノ儘存續セシメ更ニ届出等ヲ爲サシムル必要ナキモ其ノ數ニ付テハ告示アリタル數（選舉法第九十條第三項第九十三條第二項）ヲ超過スル數ノ選舉委員、選舉事務員及選舉事務所ニ付直ニ解任又ハ閉鎖シテ其ノ届出ヲ爲ス様豫メ當該選舉事務長ニ注意ヲ與フルコト（法第三十七條法第九十條及法第九十三條參照）

### 法第九十條

#### ◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ關スル件

（大正十五年八月二十五日內務省發警第五九號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通條）

改正衆議院議員選舉法並同法附屬ノ勅令及省令中選舉運動及其ノ費用ノ取締並ニ公立學校等ノ設備ノ使用ニ關スル事項ニ關シテハ概ネ左記ニ依リ御取扱相成度右依命

#### 記

- 一 選舉ノ一部無効トナリ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ衆議院議員選舉法（以下選舉法トス）第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ爲スヘキ選舉事務所又ハ選舉委員及選舉事務員ノ數ノ告示（選舉法第九十條第三項第九十三條第二項）ハ左記ニ依ルコト（法第九十三條參照）
  - （一） 選舉ノ一部無効トナリ更ニ選舉ヲ行フ場合ハ選舉ノ期日ノ告示（選舉法第七十五條第一項）ノ日ト同日ニ告示ヲ爲スコト
  - （二） 選舉法第三十七條ノ規定ニ依リ行フ投票ノ場合ハ投票管理者カ其ノ投票ノ期日ヲ告示シタル日ト同日若ハ少クトモ其ノ翌日ニ告示ヲ爲スコト
- 二 選舉運動ノ費用ノ額ノ告示（選舉法第二百二條第二項）ハ左記ニ依ルコト
  - （一） 總選舉ノ場合ハ總選舉ノ期日ノ公布（選舉法第十八條第四項）アリタル旨官報ノ到達ニ依リ之ヲ知リ又ハ其ノ以前ト雖內務省ヨリノ通知ノ到達シタル當日又ハ遅クトモ其ノ翌日各選舉區ノ分ヲ同時ニ告示ヲ爲スコト
  - （二） 補闕選舉、再選舉又ハ選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ行フ選舉ノ場合ハ各其ノ選舉ノ期日ノ告示（選舉法第七十九條第六項、第七十五條第一項）ト同日ニ告示ヲ爲スコト
  - （三） 選舉法第三十七條ノ規定ニ依リ行フ投票ノ場合ハ投票管理者カ其ノ投票ノ期日ヲ告示シタル日ト同日若ハ少クトモ其ノ翌日ニ告示ヲ爲スコト



**法第九十三條及第九十七條**

◎選舉運動者ノ數ヲ限定シ届出シムルノ件

(大正十四年五月二十八日內務省發警第二四號警保局長ヨリ各廳府縣長官宛通牒)

改正衆議院議員選舉法實施以前ニ於テ行ハルル選舉ノ取締方ニ關シテ過般地方長官會同ノ席上內務大臣ヨリ指示セラレタル次第モ有之既ニ充分御配慮中ノコト、存候モ改正法ニ於テハ選舉運動ヲ爲シ得ル事務員ニ報酬ヲ與フル行爲ヲ處罰セサルヲ以テ差當リ同法實施以前ニ於テ行ハルル衆議院議員補關選舉ニ關スル事犯ノ處理上今回司法省ト打合セ致候ニ付改正法ニ依リ選舉ノ行ハルル迄ノ間左記ノ趣旨ニ依リ御取扱相成様致度右依命

記

- 一 改正法ノ精神ニ從ヒ選舉運動者ノ數ヲ限定シ警察官署ニ届出シメ此ノ者ニ對シテハ豫メ定ムル報酬ヲ給與スル行爲ハ之ヲ不問ニ付スルコト

**法第九十九條**

◎衆議院議員選舉法第九十九條第二項ノ疑義ニ關スル件

(大正十五年十二月十五日內務省視警第一三三號警保局長ヨリ廳府縣長官宛)

本件ニ關シテハ本年十月十九日附當局發甲第九七號ヲ以テ愛媛縣知事照會並其ノ回答要旨及送付置候處今回更ニ別紙ノ通照復致候條爲御參考

◎町會議員選舉ニ關シ法令ノ疑義ノ件稟申

警視總監照會 (大正十五年十二月十三日 日高秘第一八八九號)

來ル十九日施行セラルヘキ管下北豐島郡西巢鴨町町會議員選舉ニ際シ前ニ同町ニテハ町村制第六十八條ノ規定ニ基キ町内ヲ十五區ニ分チ區長及其代理者ヲ設置シ之等區長及其代理者ハ本年十月町長ノ命ニ依リ「町勢調査並町會議員選舉施行ニ就テ」ト題スル印刷物外三通(別紙添附)ヲ區内各戸ニ配付シ更ニ町直屬吏員カ選舉有資格者ノ調査ヲ爲スニ當リ之カ道案内或ハ申告書ノ取集メ等ノ補助行爲ニ從事シタル者ナルカ這回ノ選舉ニ於テ之等區長及ヒ其代理者ニシテ自ラ立候補ヲ宜シ其區内ニ於テ選舉運動ヲ爲シタルモノ多數有之然ルニ町村會議員選舉ニ關シテハ衆議院議員選舉法第九十九條第二項ノ準用アルヲ以テ若シ該區長及ヒ其代理者カ上記ノ行爲ヲ爲シタル場合モ尙之ヲ選舉事務ニ關係アル吏員ナリト解スルニ於テハ之等ノ者カ其ノ關係區域内ニ於テ爲シタル選舉運動ハ違反行爲タルヲ免レス之ニ關シ本年九月愛媛縣知事ノ伺ニ對シ同十月十九日附警保局發甲第九七號通牒ニ依レハ市制第八十二條第一項ノ區長カ市長ノ指揮ニ依リ有權者ノ下調ヲ爲シタル場合ハ選舉法第九十九條第二項所定ノ吏員ニ該當スルモノナリト御決定ニ基キ前記町村ノ區長モ其ノ性質ニ於テ異リナキモノト解スルモ印刷物ノ配付或ハ道案内等ノ行爲ヲモ尙



有權者ノ下調タル行爲ト看做スヘキモノナルヤ否  
次ニ選舉事務ニ關係アル吏員ト解スルカ爲ニハ市長又ハ町村長ノ命ニ依リ既ニ選舉ニ關スル事務ヲ取扱ヒタル場合ニ限ルヤ或ハ其職能上將來之カ取扱ヲ命セラル、コトアリ得ル地位ニアル者ヲモ之ヲ指スノ意ナルヤ

更ニ茲ニ其根本ニ於テ疑問トスルトコロハ大正十四年一月二十八日大審院第三民事部ニ於テ選舉事務ニ關係アル吏員ノ意義ニ關シ爲シタル判決ノ要旨ニシテ同判旨ニ依レハ現行

「衆議院議員選舉法第十四條ニ所謂選舉ニ關係アル官吏、吏員トハ各般ノ選舉事務ニ付其ノ當局者トシテ同法ニ規定セラレアルモノヲ指シ市ノ名譽區長ノ如キ市長ノ指揮命令ノ下ニ當該事務ヲ執ル者ハ之ヲ含有セサルモノトス」

トアルコト之ニシテ同判決ハ其ノ後貴通牒ノ如ク解釋一致シタルモノナリヤ否 (附通牒) 以上ノ諸點ニ付差シ當リ之カ適用ニ關シ疑義ヲ生シ候ニ付何分ノ御指示相仰度此段及稟申候也

警保局長回答 (大正十五年十二月十五日) (內務省視察第一三一號)

十二月十三日高祕第一八八九號御照會區長及其ノ代理者ニ關スル件ハ本年十月十九日當局保發甲第九七號通牒ノ愛媛縣知事照會ノ件並明治三十二年六月二十九日祕甲第二三三號地方局長通牒(別添)ノ趣旨ニ依リ御取扱相成度  
右經伺ノ上  
(參照)

◎ 地方局長通牒

(明治三十二年六月二十九日) (祕甲第二三三號各府縣知事宛)

府縣制第六條郡制第六條ノ選舉事務ニ關係アル官吏々員ノ意義ニ關シテハ往々何出ノ向モ有之候處右ハ單ニ選舉ノ準備事務タル名簿調製ノ事務ニ從事スルニ止マルト否トニ拘ラス苟モ郡ノ官吏々員市町村ノ吏員ニシテ法律命令又ハ處務規程等ノ定ムル所ニ依リ選舉ノ事務ニ從事スヘキモノ又ハ郡長市町村長ノ命ヲ承ケ實際選舉事務ニ從事スルモノハ一切包含スル義ニ有之候依命此段爲御心得及通牒候也

法第二百二條

◎ 衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ關スル件ノ内

(大正十五年八月二十五日內務省發警第五) (九號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通牒)

二 選舉運動ノ費用ノ額ノ告示(選舉法第二百二條第二項)ハ左記ニ依ルコト

(一) 總選舉ノ場合ハ總選舉ノ期日ノ公布(選舉法第十八條第四項)アリタル旨官報ノ到達ニ依リ之ヲ知り又ハ其ノ以前ト雖內務省ヨリノ通知ノ到達シタル當日又ハ遅クトモ其ノ翌日各選舉區ノ分ヲ同時ニ告示ヲ爲スコト

(二) 補闕選舉、再選舉又ハ選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ行フ選舉ノ場合ハ各其ノ選舉ノ期日ノ告示(選舉法第七十九條第六項、第七十五條第一項)ト同日ニ告示ヲ爲スコト

(三) 選舉法第三十七條ノ規定ニ依リ行フ投票ノ場合ハ投票管理者カ其ノ投票ノ期日ヲ告示シタ



ル日ト同日若クハ少クトモ其ノ翌日ニ告示ヲ爲スコト

法第百六條

◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ關スル件ノ内

(大正十五年八月二十五日内務省發警第五九號内務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通條)

- 三 選舉運動ノ費用ヲ精算ノ告示(選舉法第百六條第二項)ハ左記ニ依ルコト
- (一) 選舉ノ期日ヨリ二十日以内ニ告示スルコト
- (二) 選舉法第三十七條ノ規定ニ依リ行フ投票ノ場合ハ其ノ投票ニ付要シタルモノニ限リ投票ノ期日ヨリ二十日以内ニ告示スルコト
- (三) 衆議院議員選舉法施行令(以下施行令トス)第百六條第百八條第六項又ハ第百九條第二項ノ規定ニ依リ分別シテ精算ノ届出ヲ爲サシムル場合ハ右各條ニ依リ告示シタル精算届出ノ期日ヨリ六日以内ニ告示スルコト
- (四) 告示ハ各議員候補者ノ分ヲ取纏メ且選舉區別ニ排列スルコト
- (五) 告示ノ様式ハ別記ニ準シ精算届書記載ノ通之ヲ訂正スルコトナク其ノ費目及金額等ヲ掲載スルコト

別記

一 選舉ノ期日

議員候補者ノ氏名

精算届出ヲ爲シタル選舉事務長ノ氏名

支出總額

(一) 選舉事務長ノ支出シタル額

(二) 選舉事務長ノ承諾ヲ得テ支出シタル額

(三) 議員候補者選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ニ非サル者ノ支出シタル額

(四) 立候補準備ノ爲ニ支出シタル額

支出明細

(一) 報 酬

(六) 選舉事務員

(八) 備 人

(二) 家 屋 費

(六) 選舉事務所

(三) 集會會場

(三) 通 信 費

金何圓何錢

金何圓何錢

金何圓何錢

金何圓何錢

金何圓何錢

金何圓何錢

金何圓何錢



(四)	船車馬費	金何圓何錢
(五)	印刷費	金何圓何錢
(六)	廣告費	金何圓何錢
(七)	筆墨紙費	金何圓何錢
(八)	休泊費	金何圓何錢
(九)	飲食物費	金何圓何錢
(十)	雜費	金何圓何錢

計 金何圓何錢

備考

施行令第六條ノ規定ニ依リ分別シテ精算ノ届出ヲ爲サシムルモノアル場合ハ其ノ旨ヲ附記スルコト

◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ關スル件ノ内

(大正十五年八月二十五日内務省發售第五號内務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通條)

七 選舉運動ノ費用ノ精算届書(選舉法第六條第一項施行令第六十六條)ハ選舉區別ニ取纏メ之ヲ保存シ其ノ選舉區ノ選舉人又ハ議員候補者ニ於テ之カ閱覽ヲ求ムル者アルトキハ選舉法第八十四條第一項施行令第六十六條第三項ノ出訴期間内(閱覽ヲ求ムル者訴訟關係者ナルトキハ其ノ訴訟繫續中)ニ限り閱覽セシムルコト

法第一百十二條

◎選舉法罰則中疑義ノ件 (年月日不詳 内務省決定)

- 一 選舉法罰則中選舉人トハ確定以前ニ在リテハ事實選舉權ヲ有スル者ヲ指シ確定後ニ在リテハ名簿ニ登載セラレタルモノヲ指稱ス
- 一 選舉事務所ニ於テ車馬ノ類ヲ雇上ケ之ヲ運動者ニ供給スルカ如キハ法第八十七條(改正法ハ第一百十二條)第一項第一號ノ利益ニ包含セス
- 一 養應ノ實ヲ避クルカ爲會員ヨリ會費トシテ少額ノ金圓ヲ離出セシメ而シテ殘額ハ之ヲ候補者若ハ運動者ニ於テ支出スルカ如キハ之ヲ養應ヲ爲シタルモノトシテ檢舉スヘシ

法第一百十六條

◎改正衆議院議員選舉法第一百十六條第二項ノ規定ニ關スル件

(大正十四年七月二十七日内務省發售第五四號警保局長ヨリ各廳府縣長官宛(東京府知事ヲ除ク)通條)

本件ニ關シ曩ニ警察部長事務打合せノ席上質問ノ次第モ有之今回司法省ト左記ノ通り照復致候ニ付御參考迄



内務省警保局長照會 (大正十四年六月五日警保局保發乙第一八六號)

裁判所又ハ檢察事務ニ從事スル官吏カ犯罪審問其ノ他必要アル場合ニ於テ選舉人ニ對シ其ノ投票セムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ノ表示ヲ求ムルコトハ刑法第三十五條トノ關係ニ於テ本項ノ適用ヨリ除外セラル、モノナリヤ貴省ノ御意見承知致度右及照會候

司法省刑事局長回答 (大正十四年七月四日司法省刑事局刑事第三二八二號)

衆議院議員選舉法第百十六條第二項ノ規定ハ刑法第三十五條ノ規定ヲ除外スルモノニ非スト雖檢察事務ニ從事スル官吏カ刑法第三十五條ノ規定ノ關係ニ於テ選舉人ニ對シ其ノ投票セムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ノ表示ヲ求メ得ル場合即チ正當行爲ト認メ得ル場合ハ極メテ稀ナル場合ノ外無之モノト思料致候

**法第百二十一條**

◎選舉ノ犯罪ニ關スル件 (明治三十五年四月内務省決定)

一 法第九十三條(改正法ハ第百二十一條)ハ非現行犯ト雖檢舉スルヲ妨ケス

◎同上ノ件 (明治三十五年四月内務省決定)

一 法第九十三條(改正法ハ第百二十一條)第二項ノ處分ハ選舉ニ關シ必要ナル場合ニ限ル而シテ之カ領置ノ手續ハ行政執行法ヲ準用スルノ限ニアラス

**法第百二十六條**

◎選舉ノ罰則ニ關スル件 (明治三十五年四月内務省決定)

一 議員候補者ノ私行上ニ係ル惡事醜行ヲ公ニスルモノハ其ノ事虛偽ニシテ而シテ其ノ目的當選ヲ妨クルニ出ルモノハ法第九十七條(改正法ハ第百二十六條第二號)ノ犯罪トス

**法第百二十七條**

◎衆議院議員選舉法中疑義ノ件

茨城縣知事照會 (大正十五年九月廿二日)

大正十六年九月ニ於テ執行スヘキ縣會議員選舉ニ用フル選舉人名簿調製上左記ノ廉疑義相生シ候ニ付至急何分ノ御指示相成度及照會候

第二 選舉ニ關スル通牒 衆議院議員選舉法ニ關スル通牒 法第百二十六條 第百二十七條



記

一 法第三十七條ノ規定ヲ地方議會ニ準用シタル場合ニ於テ同條中所謂「本章ノ規定ヲ準用スル議會ノ議員」中ニハ衆議院議員ヲモ包含シ從テ衆議院議員ノ選舉權及被選舉權ヲ喪失スルモノト解スヘキヤ

一 法第三十七條ニ所謂「本章ニ掲クル罪ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタル者云々」ハ同法罰則ニ掲クル罪刑ノ事實カ改正法施行期前ニアリタルモノヲ包含スト解シ可然哉

地方局長回答 (大正十五年十月二十日) (内務省茨地第五二號)

標記ノ件九月二十二日御照會ノ處左記ノ通御承知相成度

記

一 第一項ハ衆議院議員選舉法第三十七條ノ規定ヲ地方議會ニ準用シタル場合ハ衆議院議員ノ選舉權及被選舉權ヲモ喪失スル義ニ有之

二 第二項ハ大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法ノ罰則ノ規定ハ次ノ總選舉ヨリ地方議會ノ議員選舉ニ準用セラル、ヲ以テ同法第三十七條ニ所謂「本章ニ掲クル罪ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタル者」トハ次ノ總選舉ニ關スル選舉犯罪ニ依リ處罰セラレタル者ヲ謂フ義ニ有之

## 衆議院議員選舉法施行令ニ關スル通牒

### 施行令第二條

#### ◎選舉權ニ關スル件 (明治三十五年三月十三日内務省決定)

舊選舉法ニ於テハ選舉人ハ選舉期日迄ニ法定ノ年齢ニ達スルハ可ナリト雖新選舉法ニ於テ選舉人ハ名簿調製ノ期日ニ資格要件ヲ具フルヲ必要トシ從テ其ノ年齢ノ如キモ施行令第四條(改正施行令第二條)ニ定ムルカ如ク名簿調製ノ期日迄ニ滿二十五歳ニ達スルニアラサレハ名簿ニ登録スルヲ得サル義ニ付舊法ノ規定ニ泥ミ心得違無之様注意ヲ要ス

### 施行令第七條

#### ◎投票管理ノ官吏吏員ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號) (内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)



施行令第二條(改正施行令ハ第七條)及同第三十六條(改正施行令ハ第九條)ノ官吏吏員ニ就テハ何等制限ナシト雖收入役ニ命スルカ如キハ適當ナラサルヲ以テ吏員ハ平常選舉關係ノ事務ニ從事スルモノ、中ニ就キ之ヲ命スルコトヲ要ス(令第九條參照)

**施行令第八條**

**◎投票管理者選定ニ關スル件**

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

選舉法施行令第三條第一號(改正施行令ハ第八條第一號)ノ投票管理者ニ於テ故障ヲ生シ更ニ投票管理者ヲ指名スルコト能ハサル場合ニ於テハ同令第三十六條(改正施行令ハ第九條)ニ依リ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲシテ其事務ヲ管掌セシムルコトヲ得

**◎同上ノ件**

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内)

令第三條(改正施行令ハ第八條)ニ依リ管理者(甲町村長)故障アルトキハ更ニ他ノ町村長ヲ指名スヘキモノトス

**廣島縣照會ノ内**

(明治三十五年六月一日)

投票管理者ノ指名ハ何町村長某ト氏名ヲモ指定スルモノニテ單ニ何町村長トノミ指定スヘキモノニアラサルハ勿論ノ義ト存スルモ其ノ氏名ハ本人在職中ハ依然效力ヲ有スル義ナルヲ將タ選舉ノ都度更ニ其ノ氏名ヲ有スルヤ

地方局長回答(明治三十五年六月十二日)

前段御見込ノ通り

**◎投票事務従事者ニ關スル件**

(明治三十五年五月十五日地甲第四六號ノ警保局長地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

衆議院議員選舉法ニ關シ左ノ通決定相成候條爲御參考此段及通牒候也  
施行令第三條(改正施行令ハ第八條)ニ依リ町村吏員ノ投票管理者ニ指名セラレタル場合ハ他ノ町村吏員ヲシテ投票事務ニ従事セシムルヲ得サルモノトス

**◎同上ノ件**

(明治三十五年五月三十一日地梨第三號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

衆議院議員選舉法施行令第三條(改正施行令ハ第八條)ニ依リ町村吏員ノ投票管理者ニ指名セラレタルトキハ通例ノ場合ニ於テハ其ノ所屬町村外ノ町村吏員ヲシテ投票事務ニ従事セシメサルヲ原則トスルハ最前通牒ノ通りニ有之候へ共所屬町村吏員少ク事務執行上支障ヲ生スルカ如キ已ムヲ得サル場合ニ於テハ投票管理者ニ於テ其ノ投票區域内他ノ町村長ト協議ノ上他町村所屬ノ町村吏員ヲシテ投票事務ニ従事セシムルハ已ムヲ得サル義ニ有之候條爲御參考此段及通牒候也



**施行令第九條**

**◎投票管理事務管掌ニ關スル件**

(明治三十五年四月十八日地發第六七號)

施行令第三十六條(改正施行令ハ第九條)ニ依リ官吏ヲシテ投票管理者ノ事務ヲ管掌セシメタル場合ニ於テハ其ノ官吏ノ出張旅費ハ關係市町村ノ負擔トス

**◎同上ノ件**

(明治三十五年四月十八日地發第六七號)

選舉監督ノ爲派遣スル官吏ニ關シ開票管理者投票管理者故障アル場合ニ於テ事務管掌者ヲ命スルノ權ヲ委任スルハ然ルヘカラスト雖派遣官吏ニ事務管掌者ノ辭令ヲ交付スル等機ニ臨ミ差支ヘサル様豫メ措置スルハ妨ケナシ

**◎同上ノ件**

秋田縣照會(大正四年三月十七日)

令第三十六條(改正施行令ハ第九條第三十八條)ニ依レハ開票管理者投票管理者及其ノ代理者故障アルトキハ上級官廳(改正施行令ハ監督官廳)ハ臨時ニ官吏々員ヲシテ其ノ事務ヲ管掌セシムヘキ規定ナルヨリ從來ハ市町村長及之カ代理者タル助役故障アルトキハ直ニ本條ヲ適用シテ臨時事務

管理ヲ爲サシメタルモ市制町村制改正ノ結果市町村長ハ其ノ吏員ヲシテ事務ノ一部ヲ代理セシムルヲ得ル故ニ同條ノ適用ハ此等臨時代理者ノ無之場合ニ限ル義ト被存候聊カ疑義ニ相涉リ候條御意見承知致度(施行令第三十八條參照)

地方局長回答(大正四年三月十七日)

一部事務ノ代理者ヲシテ開票管理者投票管理者ノ事務ヲ掌ラシムルハ然ルヘカラスト存ス

(參照)

市制第九十四條第三項 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

町村制第七十八條第二項 町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

**施行令第十一條**

**◎轉住者ノ投票區ニ關スル件**

(明治三十五年四月十八日地發第六七號)

選舉人名簿調製期日以後投票區外ニ轉住シタル選舉人ハ前住地ノ投票所ニ於テ投票ヲ爲スヘキモノトス

**◎轉住者ノ選舉資格調査方ノ件**

(明治三十五年四月十二日地發第六七號)

一名簿ニ登録セラレタル者同選舉區内他ノ郡町村ニ住所ヲ轉シタルトキ原住所ニ於テ投票ヲ



爲スヘキハ勿論ナルモ其ノ資格ニ欠缺ヲ生スルコトアルモ原住所地ノ町村長ニ於テ之ヲ知ルヲ困難ナリトスルトキハ便宜現住所地ノ町村長ヲシテ通知ヲ爲サシムルノ手續ヲ設クルモ妨ケナシ

**施行令第十三條**

**◎投票記載場所設備注意方**

(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

投票所ハ施行令第十一條(改正施行令ハ第十三條)ノ規定ニ則リ選舉人ヲシテ他ノ選舉人ノ投票ヲ視フ能ハサル様設備セシムルヲ要スルハ勿論選舉關係ノ官吏吏員ト雖濫リニ投票ニ關與シ又ハ選舉人ノ投票ヲ視ヒ其ノ何人ヲ選舉スルヤヲ認知スルノ方法ヲ行フトキハ法第九十條(改正法ハ第百十八條)ニ依リ處罰セラルヘキニ付心得違ナキ様篤ク注意ヲ要ス(法第百十八條參照)

**◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ内**

(大正十五年二月十九日地發第七號地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

八 投票ハ投票記載ノ爲設ケタル卓上ニ於テ之ヲ記載セシメ其ノ記載終リタルトキハ直ニ投函セシムルコト投票記載ノ爲設ケタル卓上ニハ筆硯墨點字器ヲ備ヘ置キ投票記載ニ支障ナカラシムルコト

**施行令第十六條**

**◎投票用紙交付ニ關スル件**

(大正十三年七月二十三日内務省決定)

東京府第十二區(八王子市)投票所設備等ニ關スル件

八王子市投票所ニ於テハ選舉人名簿ノ對照及投票用紙ノ交付ヲ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ交付セスト謂フト雖投票管理者及投票立會人ニ於テハ之ヲ十分ニ監視シ得ラレタルモノナルヲ以テ面前ニ非スト謂フヲ得ス又選舉人中其ノ住所氏名ヲ自稱セシメサル者アルハ違法タルヲ免レスト雖(改正施行令ハ投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人名簿ニ對照シ後投票用紙ヲ交付ス)投票所ニ於テ其ノ選舉人ヲ熟知シ人違ナキヲ確認セル以上單ニ其ノ氏名ヲ問フニ止ムルモ之ヲ以テ直ニ選舉ノ公正ヲ害シ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノニ非スト存ス(法第二十條參照)

**施行令第十九條**

**◎本人ナル旨ノ宣言ニ關スル件**

熊本縣照會ノ内(明治三十五年五月十七日)

法第三十四條(改正法ハ第二十五條)第二項本人ナル旨ノ宣言ハ施行令第十七條(改正施行令ハ第



十九條)ニ依リ投票所ノ事務ニ從事スル者ヲシテ筆記セシメ選舉人ヲシテ之ニ署名捺印(改正施行令ハ署名)セシムルモノナルモ選舉人ニ於テ自ラ其ノ署名ヲ爲シ能ハサルトキハ投票所事務ニ從事スル者ニ於テ選舉人ノ氏名モ代書スルモ差支無之候哉若シ代書シ得サルモノトスレハ如何ニ處理可然哉(法第二十條參照)

地方局長回答(明治三十五年五月三十一日)

投票所ノ事務ニ從事スル者ニ於テ適宜宣言書ニ付箋ヲ貼附シテ其ノ者ノ氏名竝其ノ旨ヲ記載シ宣言書ニ捺印セシムルカ又ハ單ニ宣言書ニ捺印セシムルハ適宜ナルモ宣言書ヲ代書スルハ不可然ト存ス

廣島縣照會(明治三十五年六月十日)

陸者ニシテ筆談ヲ以テ宣言ヲ爲シタルモノハ宣言書ヲ作ルモ自己ノ名刺ヲ出シシタルモノ、如キハ宣言ヲ爲シタルモノト認メ得サルモノナルヤ

地方局長回答(明治三十五年六月十二日)

御見込ノ通り

◎同上ノ件

廣島縣照會ノ内(明治三十五年六月十日)

法第三十四條(改正法ハ第二十五條)施行令第十七條(改正施行令ハ第十九條)宣言書ニ對シ選舉人

ニ於テ署名スルコト能ハサルモ宣言其ノモノ、實體ニ關係ナキヲ以テ其ノ宣言書ニハ單ニ捺印ノミヲ爲サシメ投票事務員ニ於テ適宜ニ附箋ヲ貼付シ其者ノ氏名竝其ノ旨ヲ記載シ置クトキハ命令ニハ違フモ其ノ宣言書ハ效力ヲ有スルモノナリヤ

地方局長回答(明治三十五年六月十二日)

御見込ノ通り

神奈川縣照會(大正九年四月二十日)

衆議院議員選舉法第三十四條(改正法ハ第二十五條)第二項ニ依リ本人ナル旨宣言ヲ爲サシムル場合ニ於テハ施行令第十七條(改正施行令ハ第十九條)ニ依リ宣言書ヲ作製シ之ニ署名セシムヘキ筈ニ有之候處該署名ヲ實際ニ爲シ得サル者ノ如キハ投票ヲ爲サシムルヲ得サルヤ將タ又其ノ宣言ヲ確實ト認メラル、ニ於テハ投票所ノ事務ニ從事セル者ヲシテ其ノ事由及氏名ヲ記載シ適宜符箋ヲ貼附シ置キ投票セシムルモ差支無之哉(法第二十條參照)

地方局長回答(大正九年四月二十六日)

右ハ後段御見込ノ如ク取扱可然存候

追テ氏名ハ適宜符箋ニ記載スルハ可ナルモ本人ノ署名ニ代ヘ宣言書ニ記載スルカ如キハ不可然義ニ付爲念申添候

施行令第二十一條



◎點字假投票ニ關スル件

福島縣知事照會 (大正十五年十月二十三  
日十五地第六三八一號)

點字ニ依ル假投票ヲ爲ス場合ニ於テハ投票ヲ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其氏名ヲ記載シ投函セシムヘキ規定ニ有之候ヘ共此場合ニ於テ投票ヲ封入シテ其表面ニ氏名ヲ記載スルニハ封筒ノ裏面ヨリ點字機ヲ以テ點出スルノ必要有之斯クテハ封入ノ投票ヲ更ニ點出スル爲被選舉人(候補者)ノ何人タルヤヲ確認シ難キ場合ヲ生スル虞有之候ニ付本件ノ如キ際ハ從來實例ノ通選舉人自ラ氏名ヲ封筒ニ記載スルコト能ハサルモノトシ投票事務ニ從事スル者ニ於テ適宜封筒ニ附箋ヲ貼付シ其氏名及其旨ヲ記載シ置クコトニ取扱可然哉御省ノ御意見承知致度 (法第三十條參照)

地方局長回答 (正十五年十一月十六  
日內務省福地第五三號)

十月二十二日十五地第六三八一號御照會標記ノ件右ハ投票ノ封入前點字器ヲ用キテ封筒ノ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載セシメタル後投票ヲ封入セシメラルヘキ義ト存候條御了知相成度

施行令第二十二條

◎投票函ノ保管方ニ關スル件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號  
ノ內地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

施行令第二十條(改正施行令ハ第二十二條)ノ鎖鑰ハ投票函閉鎖後之ヲ封緘シ投票管理者及投票立

會人ニ於テ封印ヲ施ス等地方長官ニ於テ適宜ノ方法ヲ定ムルハ別ニ妨ケナキ事ニ屬ス

施行令第二十四條

◎法第四十三條ニ依ル投票期日告示ノ件

(明治三十五年四月十八日地發第六七號  
ノ內地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

島嶼其他交通不便ノ地ニシテ法第四十二條(改正法ハ第三十五條)ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アル爲メ法第四十三條(改正法ハ第三十六條)ニヨリ特ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ之ヲ管内ニ告知スルコトヲ要ス (法第三十條參照)

施行令第二十八條

◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ內

(大正十五年二月十九日地發第七  
號地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

十 法第三十三條ノ投票ノ爲令第二十八條第一項但書ニ依リ召集令狀ヲ提示シタル選舉人ニ投票用紙及投票用封筒ヲ交付シタルトキハ投票管理者ニ於テ召集令狀ノ餘白ニ其ノ旨ヲ記載シ署名スルコト



**施行令第二十九條**

◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ内

(大正十五年二月十九日地發第七號 地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

九 投票管理者法第三十三條ノ投票ノ爲選舉人ニ投票用紙及投票用封筒ヲ交付シタルトキハ同時ニ適宜選舉人名簿ニ其ノ旨ノ附箋ヲ爲シ置キ選舉ノ期日前投票用紙及投票用封筒ヲ返還シタル者アルトキハ時々附箋ヲ整理シ選舉ノ當日選舉人名簿ノ對照ニ際シ過誤ナキヲ期スルコト

**施行令第三十九條、第四十條**

◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ内

(大正十五年二月十九日地發第七號 地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

十二 開票所ニ於テ投票ヲ點檢スル場合ニ於テ毎記載ノ氏名ノ朗讀及點數簿記入ニ關スル規定ヲ單ニ議員候補者ノ得票數ヲ計算スヘキ旨ニ改メラレタルハ有權者ノ増加ニ伴フ開票所要時間ヲ考慮シ開票ノ手續ヲ成ルヘク簡捷ナラシメムトスルノ趣旨ニ有之一議員候補者ニ付二人ノ事務員ヲシテ各別ニ其ノ得票數ヲ計算セシメ而シテ一投票區ノ計算終ル毎ニ各議員候補者ノ得票數

ヲ朗讀スルモ或ハ各投票區ノ計算全部終了シタル後投票區毎ニ議員候補者ノ得票數ヲ朗讀スルモ適宜ノ方法ニ依リ妨ケナキコト(令第四十條參照)

**施行令第五十條**

◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ内

(大正十五年二月十九日地發第七號 地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

十三 議員候補者ノ辭退又ハ死亡ハ其届出タル立會人ノ失職ノ事由ト爲ルヲ以テ選舉ノ期日ニ接近シテ辭退又ハ死亡シタル場合ニ於テハ選舉長ハ法第六十七條末項ノ告示ヲ爲スト同時ニ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ速報スルコト  
十四 議員候補者其ノ届出後其ノ住居ヲ他ノ市町村ニ移シタル場合ニ於テハ選舉長ハ其ノ都度直ニ議員候補者ヲシテ之ヲ届出テシメ新住居地ノ市町村長ニ對シ令第五十條第一項ノ通知ヲ爲シ同條第二項ノ通知ヲ受クル様注意スルコト

**施行令第五十三條、五十四條**

◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ



關スル件ノ内 (大正十五年八月二十五日內務省發警第五  
九號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通牒)

- 十 選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員選任ノ届出ニ添附スヘキ選舉權ヲ有スルモノナルコトヲ證スヘキ書面(施行令第五十三條第一項、第五十四條)ニ關シテハ左記ニ依リ豫メ適當ノ方法ヲ講スルコト
- (一) 證明書ハ市町村長(之ニ準スヘキ者ヲ含ム以下之ニ同シ)支廳長、警察署長等ノ發給ニ係ルモノ若ハ證明請求ノ書面ニ當該市町村長、支廳長、警察署長等ノ奥書證印ヲ爲シタルモノ又ハ選舉人名簿ニ登錄セラルヘキ確定判決書ノ謄本若ハ抄本等公ノ證明力アルモノナレハ總テ之ヲ容認スヘシ然レトモ可成本人住居地ノ市町村長ノ發給又ハ奥書證印ニ係ルモノヲ以テセシムルコト
  - (二) 市町村長ニ對シテハ其ノ市町村住居者ニ關スル證明ノ請求アリタル場合其ノ者カ選舉權ヲ有スル者ナルトキハ速ニ證明ヲ爲ス様豫メ指示シ置クコト
  - (三) 前號以外ノ場合ニ於テ市町村長、支廳長、警察署長等ニ對シテハ證明ノ請求アリタル場合其ノ者カ選舉權ヲ有スルコトヲ確認シ得ルトキハ速ニ本證明ヲ爲ス様豫メ指示シ置クコト
  - (四) 選舉權ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ書面ハ豫メ地方長官ニ於テ一定ノ様式ヲ定メ之ヲ指示スルコト

◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ

關スル件ノ内 (大正十五年八月二十五日內務省發警第五  
九號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通牒)

- 十一 選舉運動ニ關スル諸届出ハ各其様式及添附書類ノ形式ニ付所定ノ事項(施行令第五十三條乃至第五十七條)ヲ完備セシムヘキハ勿論ナリト雖止ムヲ得サル事情アリト認メラルモノニ付テハ多少不備ノ點アルモ之カ爲受理解ヲ拒否スルコトナク受理解後ニ審査ヲ爲シ追完ヲ認ムルコトトシ一應之ヲ受理解スル等適當ノ取扱ヲ爲サシムルコト(施行令第五十三條乃至第五十七條參照)

施行令第六十九條

◎施行令第二十九條ノ費用ニ關スル件 (明治三十五年四月十二  
日地發第六十七號ノ内)

施行令第二十九條(改正施行令ハ第六十九條)ノ用紙封筒(區ハ除ク)投票函送致ニ要スル費用ハ當該行政廳ノ經費ヲ以テ支辨スヘキモノトス

◎衆議院議員選舉法施行令改正ノ件依命通牒ノ内

(大正十五年二月十九日地發第七  
號地方局長ヨリ廳府縣長官宛)

- 五 投票ノ用紙及封筒ハ豫メ一回ノ選舉ニ必要ナル數量ヲ準備シ置クコト



六 投票ノ用紙及封筒ハ其ノ受拂ヲ明ナラシムル爲種類別ニ數量ヲ記載シタル送附書ヲ添附シテ之ヲ配付シ投票終了後直ニ其ノ種類別ニ使用數殘餘ヲ記載シタル報告書ト共ニ殘餘及汚損ノ分ヲ返付セシムルコト

施行令第七十條

◎投票所印調製費用ノ件 (明治三十五年三月十八日地乙 第二一號ノ内地方局長通條)

改正衆議院議員選舉法ニ關スル件ニ付左ノ通決定相成候條爲御心得此段及通牒候也

記

封筒ニ押捺スヘキ投票所印ノ調製費用ハ關係市町村ノ負擔トス

◎選舉事務ノ爲要スル費用ノ件 (明治三十五年四月十二日地發第六七 號ノ内地方局長ヨリ各地方長官宛)

一 選舉人名簿調製ニ要スル筆耕料ハ選舉事務ノ爲要スル費用ニ付市町村ノ負擔トス

◎同上ノ件 (明治三十四年四月十八 日地發第六七號ノ内)

施行令第三十六條(改正施行令ハ第九條)ニ依リ官吏ヲシテ投票管理者ノ事務ヲ管掌セシメタル場合ニ於テハ其ノ官吏ノ出張旅費ハ關係市町村ノ負擔トス

◎同上ノ件 (明治三十五年五月十五日地甲第四六號署 保局長地方局長ヨリ廳府縣長官宛ノ内)

衆議院議員選舉法ニ關シ左ノ通決定相成候條爲御參考此段及通牒候也

記

選舉會場ノ借上料並其借上場ニ係ル工作費ハ當該行政廳ノ經費ヲ以テ支辨スヘキモノトス

◎同上ノ件 (明治三十五年七月五日秘甲 第一四九號地方局長通條)

郡書記(府縣支辨屬)ノ出張ニ要スル旅費ハ其ノ事務ノ種類如何ニ拘ラス府縣費ヨリ支出スヘキハ申迄モ無之義ニ候處衆議院議員總選舉ニ關シ過般及配付候選舉取締旅費ハ選舉監督ノ爲國庫支辨ノ官吏ノ出張旅費ニ充ツルノ外郡書記ニ付テハ地方長官ニ於テ選舉監督ノ爲出張セシメタルモノニ限り支給セラル、義ト御承知可有之依命此段及通牒候也

◎選舉訴訟ニ要スル費用ノ件

宮城縣照會 (大正九年 六月九日)

衆議院議員選舉訴訟ニ要スル費用ハ國庫支辨ニ屬スルヤ

地方局長回答 (大正九年六 月十四日)

選舉訴訟ニ要スル費用支辨方ノ件



旅費ハ其ノ身分ノ屬スル經費ヲ以テ支辨スヘク其ノ他ノ費用ハ選舉法施行令第三十條(改正施行令第七十條)ニ依リ支辨スヘキ義ト存候

**施行令第七十一條**

◎二以上ノ關係行政廳費用負擔方(明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

數町村ノ區域ニ依リ投票所ヲ設ケタル場合ニ於テ事實一人タモ選舉人ナキ町村アルモ選舉事務ノ爲メ要スル費用ハ施行令第三十一條(改正施行令第七十一條)ニ依リ各町村ニ平分スヘキモノトス

◎同上ノ件

三重縣照會(明治三十五年六月三日)

施行令第三條(改正施行令第八條)ニ依リ投票管理者ヲ甲町村長ニ指名後故障アルヲ以テ更ニ乙町村長ヲ指名セリ此ノ場合ニ於テ其ノ投票所ノ變更ヲ爲シ難キ(「法第三十一條(改正法ハ第二十二條)ニ依リ告示ノ余日ナキトキ」)トキハ管理者及書記ハ選舉ニ當リ甲町村ニ出張セサルヲ得ス從テ相當旅費ノ支辨ヲ要シ候右ハ同令第三十一條(改正施行令第七十一條)ニ依リ均分スヘキモノト相考ヘ候得共一應及御問合候

地方局長回答(明治三十五年六月十七日)

御見込ノ通リト存候

**施行令第七十二條**

◎選舉投票立會人開票立會人及選舉立會人費用支給方法

(明治三十五年三月二日大正九年府令四十二日府令第十七號(八號八四號改正))

明治三十四年勅令第八十六號(改正勅令ハ大正十五年勅令第三號)衆議院議員選舉法施行令第三十二條ニ依リ投票立會人開票立會人及選舉立會人費用支給ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 衆議院議員投票立會人開票立會人及選舉立會人ノ職務ノ爲メ要スル費用支給額ハ別表定ムル所ニ依ル

第二條 他市町村ヘ旅行スル場合ニ於テハ汽車賃ハ哩數ニ應シ汽船賃ハ海里數ニ應シ車馬賃ハ里數ニ應シ順路ニ依リ之ヲ支給ス但シ一位未滿端數ノ路程ハ切捨トス

宿泊料ハ夜數ニ應シ日當ハ日數ニ應シ之ヲ支給ス但シ水路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セス

別表



汽車賃	一哩	汽船賃	二付	車馬賃	一哩	日	當	一日	宿泊料	一夜
六錢	二付	六錢	二付	五拾錢	二付	二圓	二圓	三圓	三圓	三圓

施行令第七十六條

◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ關スル件ノ内

(大正十五年八月二十五日內務省發布第五九號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通條)

- 四 演說ニ依ル選舉運動ノ爲使用ヲ許可スヘキ營造物ノ設備ノ指定(施行令第七十六條第一項第三號)並ニ議事堂ノ使用ノ制限又ハ禁止(施行令第七十六條第二項)ニ關シテハ概ネ左記ニ依リ可成速ニ指定シテ告示スルコト
- (一) 使用ヲ許可スヘキ營造物ノ設備ノ指定(施行令第七十六條第一項第三號)ハ公會堂又ハ議事堂等ニ類似スル營造物ノ設備ニシテ其ノ構造公衆ノ會同ニ堪ヘキモノヲ選定スルコト但シ之カ指定ヲ爲スニハ豫メ可成當該設備ノ管理者ノ意見ヲ徵シ又ハ其ノ申請ニ俟ツ等適當ノ方法ヲ講シ指定後ニ於テ紛議ヲ生セサル様注意スルコト
- (二) 議事堂ノ使用ノ制限又ハ禁止ノ指定(施行令第七十六條第二項)ハ之ヲ慎重ニシ眞ニ事實上著シキ支障アルモノニ局限シ尙其ノ制限ニ付テハ使用方法等ノ制限ヲ可成寬大ニシテ使用ニ

著シキ不便ナキ様ニスルコト

十三 左ノ場合ニ於テハ其ノ都度該當事項ヲ報告スルコト但シ第一號第三號又ハ第四號ノ場合ハ各其ノ告示又ハ規定等ノ寫ヲ添ヘ第二號ノ場合ハ其ノ狀況ヲ詳記スルコト

- (一) 施行令第七十六條第三項、第八十二條第二項又ハ第六十六條第二項ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタルトキ
- (二) 施行令第八十六條ノ規定ニ依リ使用ノ許可ヲ取消シ又ハ使用ノ許可ヲ爲シタルトキ
- (三) 施行令第八十七條ノ規定ニ依リ規定ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ
- (四) 本通條ニ基キ別ニ內規等ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ(施行令第八十二條、第八十六條、第八十七條及第六十六條參照)

◎衆議院議員選舉法同施行令ニ關スル件通條

(大正十五年九月十四日內務省岡地第一二六號地方局長ヨリ各廳府縣長官宛ノ内ノ二)

標記ノ件岡山縣知事照會ニ對シ左ノ通回答候條爲御參考

岡山縣知事照會

- 一 施行令第七十六條ニ所謂議事堂ハ市役所又ハ町村役場ト同一建物内若ハ接續シタルモノ其ノ大部分ニシテ之カ使用ニ依リ市町村ノ事務ニ著シキ支障アリト認ムルモノ不尠右市役所町村役場ハ同條第二項ノ營造物中ニ包含シ地方長官ニ於テ豫メ其ノ使用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得ル義ト心得可然哉



地方局長回答

御見込ノ通ト存ス

◎衆議院議員選舉法施行令ニ關スル疑義ノ件通牒

(昭和二年三月十六日內務省製警三) 號警保局長ヨリ各廳府縣長官宛

本件ニ關シ別紙寫ノ通照復致候爲得參考

山梨縣知事照會 (昭和二年一月十日) 七日地發第八號

衆議院議員選舉法施行令第七十六條ニ關シ左ノ諸項ニ付聊カ疑義相生シ候間至急何分ノ御指示相煩度

- 一 同條第一項ニ所謂「町村ノ管理ニ屬スル議事堂」ニハ村役場内ノ一室タル會議室ノ如キハ之ヲ包含セラルモノト解シ差支ナキヤ
  - 一 同條第一項ニ所謂「營造物ノ設備」ニハ舊郡廳舍(現在ニ於テハ全然公共ノ使用ニ供セス)ノ如キモ同條同項第三號ニ依リ指定シ得ト解シテ可然哉
- 警保局長回答 (昭和二年三月十六日) 內務省製警第三號
- 一月十七日附地發第八號御照會標記ノ件左ノ通及回答候也
- 右經伺ノ上

記

- 一 村役場内ノ一室タル會議室ト雖村會ノ會議ニ使用スルノ目的ヲ以テ設ケラレタルモノナルニ於テハ衆議院議員選舉法施行令第七十六條第一項第二號ノ議事堂ニ該當スルモノト存ス
- 一 舊郡廳ニ舍付テハ御見込ノ通ト存ス

施行令第七十八條

◎選舉運動ノ爲公立學校等ノ設備使用ニ關スル法令疑義ノ件

(大正十五年八月十九日內務省製警第一) 四號警保局長ヨリ廳府縣長官宛通牒

本件ニ關シ今般別紙寫ノ通照復致候條爲御參考

別紙

衆議院議員選舉運動ニ關スル公共營造物ノ使用ニ關スル件

静岡縣知事照會 (大正十五年八月五日地) 第一四八八號ノ内ノ二

標記ノ件ニ付左記事項聊カ疑義有之候條電報ヲ以テ御回示相煩度

記

- 二 營造物使用ノ許可ヲ得タル者其ノ後ニ至リ使用開始迄ノ間ニ於テ使用ノ取消ヲ申出ツル場合ハ第三者ノ使用權ヲ侵害スルノ虞アルヲ以テ之ヲ取消ト認メス使用權拋棄ト認メ施行令第七十
- 第二 選舉ニ關スル通牒 衆議院議員選舉法施行令ニ關スル通牒 令第七十八條 二五七



八條第二項ノ適用ニ付テハ取消申出ノ日ヲ「許可セラレタル使用ノ日」ト看做シ取扱可然ト存候モ或ハ許可後ハ管理者ニ於テ其ノ取消又ハ變更ヲ認メサルコトヲ得ル義ト解シ可然乎

警保局長回答 (大正十五年八月十四日 日電報回答ノ内ノ二)

八月五日地第一四八八號御照會標記ノ件左ノ通及回答候也  
右經伺ノ上

記

二 公立學校等ノ設備ノ使用ノ許可ハ絕對ニシテ許可後ハ其ノ申請ノ取下又ハ變更等ヲ認ムヘキモノニ非ス又實際ニ其ノ設備ヲ使用シタルト否トニ依リテ衆議院議員選舉法施行令第七十八條第二項又ハ第七十九條ノ規定ノ適用ヲ二三ニスヘキニ非ス故ニ使用ノ許可ヲ受ケタル者其ノ使用前之ヲ使用セサルコトノ申出ヲ爲シタル場合ニ於テモ衆議院議員選舉法施行令第七十八條第二項ノ規定ノ適用ニ關シ何等ノ影響ヲ及ホササル義ト存ス

◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ關スル件ノ内

(大正十五年八月二十五日內務省發警第五 九號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通牒)

十二 公立學校等ノ設備ノ使用ノ申請ニ關シテハ各其ノ設備ノ管理者ヲシテ使用ニ關スル申請書ノ受理簿ヲ調製セシメ申請書到達ノ都度直ニ其ノ到達ノ日時、申請者ノ氏名、使用スヘキ設備及日時等ノ必要事項ヲ記載セシメ且其ノ申請ニ對スル處分ノ顛末ヲモ記載シテ之ヲ保管セシム

ルコト申請書受理簿ハ豫メ地方長官ニ於テ一定ノ様式ヲ定メテ指示スルコト

施行令第八十二條

◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ

關スル件ノ内 (大正十五年八月二十五日內務省發警第五 九號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依命通牒)

五 施行令第八十二條ノ規定ニ依ル管理者ノ權限委任ハ其必要トスルモノニ付速ニ之ヲ決定シテ告示スルコト

施行令第八十七條

◎選舉運動ノ爲公立學校等ノ設備使用ニ關スル法令疑義ノ件

(大正十五年八月十九日內務省發警第一 四號警保局長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

本件ニ關シ今般別紙寫ノ通照復致候條爲御參考

衆議院議員選舉運動ニ關スル公共營造物ノ使用ニ關スル件

静岡縣知事照會 (大正十五年八月五日地 第一四八八號ノ内ノ一)



標記ノ件ニ付左記事項聊カ疑義有之候條電報ヲ以テ御回示相煩度

記

一 公共管造物ノ使用ニ付管理上必要アル場合ハ施行令第八十七條ニ依ル地方長官ノ設クル規定中ニ其ノ使用時間ヲ「午前八時ヨリ午後十二時迄トス」ル旨規定スルハ別ニ差支ナキ義ト存候モ如何ニ候哉

警保局長回答 (大正十五年八月十四日 日電報回答ノ内ノ一)

八月五日地第一四八八號御照會標記ノ件右ノ通及回答候也  
右經伺ノ上

記

一 公立學校等ノ設備ノ使用時刻ヲ「午前八時ヨリ午後十二時迄ノ間」トスル旨ノ規定ヲ設クルコトハ別ニ差支ナシト存ス

### ◎衆議院議員選舉法並ニ附屬ノ勅令及省令等施行ニ

關スル件ノ内 (大正十五年八月二十五日內務省發給第五號內務次官ヨリ廳府縣長官宛依令通牒)

六 施行令第八十七條ニ依ル規定ハ其ノ必要トスルモノニ付此ノ際速ニ之ヲ制定スルコト

## 衆議院議員選舉法施行規則ニ關スル通牒

### 規則第一條

◎選舉人名簿ノ調製ニ關スル件通牒 (大正十五年十二月二十日內務省通牒 第八號內務次官ヨリ廳府縣長官宛)

衆議院議員其ノ他地方議會議員ノ選舉人名簿ニ就テハ夫々省令ヲ以テ之カ様式ヲ定メラレ候處右名簿中住居又ハ住所欄ニハ番地ノ内更ニ細別ノ記號番號アルモノハ爾今適宜其ノ記號番號ヲモ併記スル様致度ト存候條可然御措置相成度

廣島縣照會 (明治三十五年 三月十九日)

改正名簿式備考第二號ニ依リ修正ノ事由年月日ヲ記シテ捺印スルハ異議決定及判決ニ依ル修正ノ場合ノミニ限ラス其ノ他ノ修正ニ付テモ尙其ノ記載捺印ヲ要スルヤ

地方局長回答 (明治三十五年 三月二十五日)

便宜加除ヲ明瞭ニシ捺印スルコトヲ要スル義ト存ス

### 施行規則第三條



◎投票用紙ニ關スル件 (明治三十五年四月十二日地發第六十七號ノ内)

投票用紙ノ寸法ハ府縣ニ於テ適宜ニ定ムルコトヲ要ス

◎同上ノ件

宮城縣知事照會 (大正六年三月二日)

衆議院議員投票用紙様式ノ件從來ハ明治三十四年十月七日内務省令第二十九號ニ依リ被選舉人ノ記載ハ表面指定ノ箇所ニ記載スル様相成居候處右記載ノ欄ニテハ透見シ易キ虞有之候ニ付被選舉人記載ノ欄ハ現行省令ニ依ル指令ノ箇所ノ裏面ニ改定相成候様此ノ際該省令改正方御取計相成間敷候哉

地方局長回答

投票用紙様式ニ付テハ此ノ際別ニ省令ヲ改正スルノ要ナシト認メ居候條御了知相成度

追而本件ニ付テハ投票用紙ノ折方ニ付御考究相成候ハ、容易ニ透見シ得ルカ如キコト無之ト被存候條申添候

◎同上ノ件 (大正九年三月一日發地第四二號) 地方局長ヨリ廳府縣長官宛ノ内

投票用紙ニ誤テ府縣會議員等ノ用紙ヲ用ヒタルノ例ナキニアラス能ク之ニ注意シ尙捺印等ニ付テ

モ脱漏等ノコトナク様式ニ違ハサル様注意スルコト

◎同上ノ件 (大正九年三月一日發地第四二號) 地方局長ヨリ廳府縣長官宛ノ内

投票用紙ニ付テハ他日紛議ノ因トナラサル様十分其ノ紙質等ニ注意スルコト

◎衆議院議員選舉投票用紙ニ關スル件通條

(大正十五年三月二十九日發地第十) 六號地方局長ヨリ各廳府縣長官宛

標記ノ件長崎縣知事照會ニ對シ左記ノ通回答候條爲御參考

地方局長回答 (大正十五年三月二十) 九日發地局第十六號

大正十五年二月内務省令第四號衆議院議員選舉法施行規則第三條ニ依ル投票用紙様式中「廳府縣印」ハ從來ノ如ク之ヲ押捺スルノ趣旨ニ有之印刷ニ付スルハ不可然候條御了知相成度

◎衆議院議員選舉投票用紙ニ押捺スヘキ印章ニ關スル件

(大正十五年五月十八日內務省阪地第五) 五號地方局長ヨリ各廳府縣長官宛通條

標記ノ件大阪府知事照會ニ對シ左記ノ通回答候條爲御參考

大阪府知事照會

改正衆議院議員選舉法施行規則第三條ニ依リ投票用紙ニ押捺スヘキ廳府縣印ニ關シ本年三月二十



九日崎地局第一六號ヲ以テ通牒ノ次第モ有之候處廳府縣印ハ唯一無二ノモノニシテ他ニ同種類ノモノヲ調製スルコトハ認メラレサル儀ト存候得共改正ノ衆議院議員選舉法實施ノ曉ハ選舉有權者數現在ノ五倍以上即チ六拾五萬餘人ニ達スル見込ニ有之而シテ之カ投票用紙ニ府廳印ヲ捺スルニ要スル日數ハ最少限百六拾日(壹人壹日四千枚トシテノ延日數)餘ヲ要スルコトト相成モ平素ヨリ之ヲ準備シ置ク事ハ種々危險ノ伴フ虞モ有之ト存シ旁々以テ選舉期日ノ公布後ニ於テ準備セサルヘカラス而モ此ノ場合ニ於テ壹個ノ府廳印ヲ以テシテハ到底期間内ニ捺印ヲ了スル事不可能ニ有之候ノミナラス府廳印ハ他ノ普通事物ノ關係上投票用紙捺印ニ專用難致事情モ有之候ニ付衆議院議員選舉投票用紙捺印用府廳印トシ現在備付ノ府廳印ト文字其他ニ於テ多少形式ヲ替ヘ別ニ數個ヲ調製使用スルモ選舉法上支障無之候哉聊カ疑義相生シ候ニ付何分ノ義御回示相成度

地方局長回答

標記ノ件五月十日地第二二二九九號ヲ以テ御照會ノ處御見込ノ通調製使用相成支障無之ト存候  
追テ投票用紙捺印専用ノ府廳印數個ヲ調製セラル、場合ニ於テハ同一形式ニ調製セラルヘキハ勿論ノ義ニ付申添候

◎衆議院議員選舉投票用紙ニ押捺スル縣印ノ件通牒

(大正十五年十二月七日茨地局第五五號地方局長ヨリ各地方長官宛)

標記ノ件甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答候條爲御參考

(甲號) 茨城縣知事照會 (大正十五年十一月十二日)

普選施行後ニ於ケル衆議院議員選舉投票用紙ハ有權者ノ激増ニ依リ從來使用ノ西ノ内四ツ切ノモノヲ投票函收容力ノ關係上西ノ内八ツ切ニ改正シタル結果現在ノ縣印ヲ押○スルトキハ其ノ印影投票用紙幅員ノ約半面ニ達シ又印押捺ノ功程ヲ増加スル上ニ於テモ寸法ヲ縮少セル縣印ヲ用ウルヲ便宜ト思料セラルルヲ以テ投票用紙押捺用トシテ別ニ數個ノ縮少セル縣印(同一形式ニ依リ)ヲ調製致シ度候得共右支障有之間敷哉至急何分ノ御意見ニ接シ度及照會候

(乙號) 地方局長回答 (大正十五年十二月七日茨地第五五號)

標記ノ件御照會ノ處右ハ御見込ノ通調製相成差支無之ト存ス

規則第五條

◎投票函ニ關スル件

(大正九年三月一日發地第四二號地方局長ヨリ廳府縣長官宛ノ内)

投票函ニ付テハ選舉人ノ増加ニ伴ヒ其ノ容積ニ注意シ現在ノ投票函ヲ其ノ儘使用スル場合ハ豫メ破損ノ有無ヲ檢シ支障ナキヲ期スコト

◎同上ノ件

和歌山縣知事照會 (大正十四年八月二十日地第九九九號)

第二 選舉ニ關スル通牒 衆議院議員選舉法施行規則ニ關スル通牒 則第五條



改正衆議院議員選舉法ニ依レハ有權者増加ノ爲非常ニ大ナル投票函ヲ要シ候處斯クテハ取扱上不便不尠候就テハ一投票所ニテ適當ナル數個ノ投票函ヲ使用差支無之哉現行法令中何等拘束規定ナキヲ以テ支障ナキモノト被認候得共豫メ調製要シ候ニ付御意見御回示相煩度爲念及照會候也

地方局長回答 (大正十四年十月二十八日 日內務省和地第五九號)

改正衆議院議員選舉法ニ依ル投票函ノ件八月二十六日地第九九九號ヲ以テ御照會ノ處理行法令中投票函ハ一投票所ニ於テ數個ヲ使用セシムルコトヲ禁スルノ明文ナキモ斯ノ如キハ選舉ノ執行ニ當リ取扱ヲ複雜ナラシメ錯誤ヲ生スルノ虞アルノミナラス選舉人著シク多キ市町村ニ付テハ投票區ヲ分ツノ途モ有之投票函ハ一投票所一個ヲ使用セシムルヲ適當ト存ス  
追テ投票函様式ハ不日省令ヲ以テ定メラル、義ニ有之候處大體現行省令ノ様式ニ依リ其ノ大小ハ選舉人ノ數ニ應シ適當定ムルヲ得ル様規定ノ見込ニ付爲念申添候

◎同上ノ件

東京府照會ノ内 (大正十三年二月二十三日)

一 投票函ニ「カン」ヲ附シ持運ニ便セントス右ハ違式トナルヤ

地方局長回答ノ内 (大正十三年二月二十三日)

一 投票函様式ハ省令ノ定ムル所ニ付是亦從來ノ例ヲ襲踏セラレ可然ト存ス

◎同上ノ件

長崎縣知事照會 (大正十五年十一月二十日 八日十五席第八五三號)

標記様式ニ付テハ本年內務省令第四號ヲ以テ御規定相成候處之カ作製ニ付左記ノ通疑義相生シ候條至急何分ノ御指示相煩度

記

- 一 投票函ノ大小ハ選舉人ノ多寡ニ應シ適宜作製シ得ル旨ノ規定ナルカ此ノ場合在來ノ選舉ニ鑑ミルトキハ高サヲ比較的高クシ横ヲ狭クシタル方投票上ニモ又運搬上ニモ至極便利ナリト認メラル、ニ付右ノ如ク適宜ニ作製シ差支ヘナキヤ或ハ御規定ノ寸法ニ正比例シテ作製セサルヘカラサルモノナリヤ
- 二 投票函ハ「アトメタル」ニテ作製差支ナキヤ「アトメタル」ハ別途添屬ノ見本ノ通りノモノニ有之之ヲ木製ニ比較スルニ質ニ於テ金屬ナルヲ以テ數等堅牢ナリ且重量ニ於テ又價格ニ於テ木製ト大差ナク且鎖鑰ノ破損等少キヲ以テ至極便利ナリト認ム厚ハ凡ソ一分内外ナリ
- 三 本年十月二十日內務省德地第九八號ヲ以テ德島縣知事宛ノ御回答ニ依レハ投票口ハ所定ノ數ヲ増加シ得ヘカラサルノ旨ナルカ之ニ反シ所定ノ數ヨリ減スルモ又不可然義ナリヤ

地方局長回答 (大正十五年十一月二十日 七日崎地局第五三號)

十一月二十日十五席第八五三號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件ハ左記ノ通ニ有之候



記

- 一 前段御見込ノ通り
- 二 從來ノ通木製トセラレ度
- 三 投票口ヲ所定ノ數ヨリ減スルハ衆議院議員選舉法施行規則様式ノ認ムル所ナルヲ以テ別ニ支障ナシ

◎衆議院議員選舉投票函様式ニ關スル件

三重縣知事照會 (大正十五年十月二日地第三二六七號)

衆議院議員選舉ニ用フル投票函ノ様式ハ本年二月内務省令第四號ヲ以テ規定相成候處右様式中投票口ノ寸法二寸三分ハ機宜ニ應シ伸縮スルモ差支無ク候哉至急何分ノ御回示相煩度

地方局長回答 (大正十五年十月十六日內務省三地第五八號)

標記ノ件十月二日地第三二六七號ヲ以テ御照會ノ處投票口ノ寸法ヲ伸縮スルハ不可然義ニ有之

第三 選舉ニ關スル職務

町村長ノ職務

第一 選舉人名簿調製ニ關スル職務

- 一 選舉資格ノ調査(毎年九月十五日現在)(法第十二條第一項)
- 二 選舉人名簿ノ調製(十月三十一日迄)(法第十二條第一項)
- 三 選舉人名簿縦覽場所ノ告示(縦覽開始ノ日ヨリ少クトモ三日前)(法第十三條第二項)
- 四 選舉人名簿ノ縦覽(十一月五日ヨリ十五日間)(法第十三條第一項)
- 五 選舉人名簿修正申立ノ理由及證憑ノ審査決定(申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内)名簿ノ修正、申立人及關係人ニ通知之カ告示又ハ申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキ其ノ旨申立人ニ通知(法第十五條)
- 六 選舉人名簿ノ据置(翌年十二月十九日迄)(法第十七條第二項)
- 七 確定判決ニ依ル名簿ノ修正及其旨ノ告示(法第十七條第二項但書)
- 八 天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキ更ニ選舉人名簿ノ調製(法第十七條第三項)
- 九 市町村ノ境界變更ニ因ル選舉人名簿中異動部分ヲ新市町村長ニ送付(令第四條第一項)



- 一〇 市町村ノ廢置分合アリタル爲選舉人名簿ノ引繼ヲ要スル時新市町村ニ送付(令第四條第二項)
- 一一 選舉人名簿ノ保存(議員ノ任期間)(令第六條)
- 一二 名簿確定シタルトキ卷末記載(規則第一條及様式)
- 一三 第九、十項ノ場合ニ於テ名簿調製中ナルトキ事務ノ引繼(市制町村制施行規則第二十九條)

## 第二 投票管理者(特別投票管理者ヲ含ム)トシテノ職務

- 一 投票所ノ指定(法第二十一條)
- 二 投票所ノ告示(選舉期日ヨリ少クトモ五日前)(法第二十二條)
- 三 投票所ノ設備完成(令第十三條地方局長通牒)
- 四 投票所ノ開閉(午前七時開所午後六時閉所)(法第二十三條)
- 五 必要アリト認ムルトキ投票所入場券及到着番號札ヲ選舉人ニ交付スルコト(令第十二條)
- 六 投票ニ先チ選舉人ノ面前ニ於テ投票函ノ空虛ナルコトヲ示シ後内蓋ヲ鎖スコト(令第十五條)
- 七 臨時投票立會人ノ選任及其ノ旨本人ニ通知(法第二十四條第二項)
- 八 選舉人ト選舉人名簿ノ對照及投票用紙ノ交付(法第二十五條第一項第二十六條令第十六條)
- 九 疑シキ選舉人ニ本人ナル旨ヲ宣言セシムルコト及投票所ノ事務ニ從事スル者ヲシテ筆記セシメ選舉人ニ讀聞カセ選舉人ニ署名セシムルコト及投票録ニ添附スルコト(法第二十五條第二項令第十九條)

- 一〇 汚損シタル投票用紙又ハ封筒ノ引換(令第十七條)
- 一一 投票用紙ヲ返付セシムルコト(令第二十條)
- 一二 名簿ニ登録セラルヘキ確定判決書所持者ニ投票ヲ爲サシムルコト(法第二十九條但書)
- 一三 投票ノ拒否ノ決定(法第三十一條第一項)
- 一四 右決定不服者ニ假投票ヲ爲サシムルコト(法第三十一條第二項乃至第四項規則第四條)
- 一五 點字ニ依ル投票ノ拒否ノ場合ニ於テ封筒ニ點字投票印押捺ノ上交付(令第二十一條第三項)
- 一六 點字ニ依リ投票ヲ爲サストスル選舉人ニ對シ投票用紙ニ點字票印押捺ノ上交付(令第二十一條第二項規則第四條)
- 一七 投票所ノ秩序保持ヲ必要トスル場合ニ於テ警察官吏ノ處分請求(法第四十條)
- 一八 投票所ノ秩序攪亂者ノ制止及投票所外ニ退出セシムルコト(法第四十二條)
- 一九 投票所退出者ニ最後ニ投票ヲ爲サシムルコト(法第四十三條)
- 二〇 不在投票事由ノ認證並之カ投票用紙及投票用封筒ノ交付又ハ郵便發送(令第二十八條第三項)
- 二一 正當事由ニ因リ正式證明書提出不能者ニ付其ノ旨ヲ疏明セシムルコト(令第二十八條第三項)
- 二二 點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル不在投票申立人ニ對シ交付又ハ發送スル投票用紙ニハ點字投票印押捺ノコト(令第二十九條第二項規則第四條)



- 二三 不在投票者ニ投票用紙及投票用封筒交付ノ場合又ハ其ノ返還等ニ付テハ選舉人名簿ニ附箋ヲ爲シ夫々整理スルコト(地方局長通牒)
- 二四 不在者投票ニ關シ令第二十八條第一項但書ニ依リ手續シタルトキハ召集令狀ノ餘白ニ其ノ旨記載シ署名スルコト(地方局長通牒)
- 二五 不在者投票ノ投票記載所ノ完備(令第三十一條第四項)
- 二六 不在者投票ニ町村吏員ヲ立會シムルコト(令第三十一條第三項)
- 二七 不在者投票用封筒ノ裏面ニ投票ノ年月日及場所ノ記載及立會人ト共ニ署名保存(令第三十二條第一項第二項)
- 二八 投票區ノ異動ニ因リ不在者投票者ノ投票ヲ新投票管理者ニ送致スルコト(令第三十二條第四項)
- 二九 他ノ特別投票管理者ヨリ送致セル投票及前項ノ送致ニ係ル投票ノ保管(令第三十二條第五項)
- 三〇 不在者投票ニ關スル顛末書ヲ作成シ之ニ署名シ投票録ニ添附スルコト(令第三十三條規則第九條)
- 三一 第二十七項第二十九項ノ保管ニ係ル投票ノ受理如何ノ決定(令第三十四條第一項)
- 三二 投票用封筒ノ開披及點字投票ノ拒否決定(令第三十四條第二項)
- 三三 投票ヲ直チニ投函シ又ハ投票用封筒ニ入レ假封緘ヲ爲シ其ノ表面ニ不受理又ハ拒否ノ決定

アリタル旨ヲ記載シ投函スルコト(令第三十四條第三項)

- 三四 投票所閉鎖時刻(午後六時)後送致ニ係ル投票ニ對スル封筒ノ開披(投票用封筒ニ受領年月日時ノ記載及開票管理者ニ送致(令第三十六條))
- 三五 投票所入口ノ閉鎖投票函ノ閉鎖(法第三十二條)
- 三六 投票函外蓋ノ鑰ノ保管(令第二十二條)
- 三七 投票録ノ作製及署名(法第三十四條)
- 三八 投票函投票録及選舉人名簿ノ送致(法第三十五條)
- 三九 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因ル投票不能又ハ更ニ投票ヲ必要トスル事由ノ届出(法第三十七條)

四〇 投票ニ關スル書類ノ保存(議員ノ任期間)(令第二十三條)

四一 不在者投票ニシテ投票用紙及封筒ヲ交付シタル者ニシテ選舉ノ當日出頭シタル者ハ之ヲ返還セシメタル上投票セシムルコト(令第三十五條第二項)

第三 公立學校營造物設備使用ニ關スル職務(同管理者トシテ)

- 一 公立學校營造物設備使用ノ許否ノ決定、申請者又ハ其ノ代理人及當該公立學校長ニ通知(公立學校其ノ他營造物管理者トシテ)(令第八十條第八十三條)
- 二 同一公立學校營造物設備使用者ニ對スル使用許可及使用者ノ決定(公立學校其ノ他營造物管



理者トシテ(令第七十九條、第八十三條)

#### 第四 其ノ他ノ職務

- 一 町村ノ區域ニ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テ選舉期日ノ公布又ハ告示アリタルトキ選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送付スルコト(令第七條第三號)
- 二 數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テ選舉期日ノ公布又ハ告示アリタルトキ選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送付スルコト(令第八條第二號)
- 三 投票用紙及封筒ノ受拂數量ノ明記、種類別使用量、殘餘報告及殘餘又ハ汚損用紙封筒ノ返付(地方局長通牒)

四 議員候補者死亡ノ場合選舉長ニ通知(令第五十條第二項)

五 議員候補者議員定數ヲ超ヘサルトキ選舉長ノ通知ニ基キ其ノ旨告示(法第七十一條第三項)

#### 市區長ノ職務

- 第一 選舉人名簿調製ニ關スル職務(二十二條)
- 第二 投票管理者(特別投票管理者ヲ含ム)トシテノ職務
- 第三 公立學校及管造物設備使用ニ關スル職務(同管理者トシテ)
- 第四 其ノ他ノ職務

右町村長ノ職務ニ同シ

#### 第五 開票管理者トシテノ職務

- 一 開票所ノ指定(法第四十五條)
- 二 開票ノ場所及日時ノ告示(法第四十六條)
- 三 臨時開票立會人ノ選任(法第四十七條)
- 四 投票函ノ開函及投票總數ト投票人總數トノ計算(法第四十八條)
- 五 假投票ノ調査及其ノ受理如何ノ決定(法第四十九條第一項)
- 六 投票ノ點檢(法第四十九條第二項)
- 七 投票ノ效力ノ決定(法第五十一條)
- 八 得票ノ計算(令第三十九條)
- 九 投票區毎ニ各議員候補者得票數ノ朗讀、得票總數ノ朗讀(令第四十條)
- 一〇 開票録ノ作成署名及保存(議員任期間)(法第五十四條、規則第九條)
- 一一 投票點檢ノ結果ヲ選舉長ニ報告並開票録謄本送付(法第四十九條第三項令第四十一條第一項)
- 一二 投票ノ保管(法第五十三條令第四十二條)
- 一三 選舉人名簿ヲ關係町村長ニ返付(此點地方官ノ指定シタル官吏ノミニ適用)(令第四十二條)



條第二項)

- 一四 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ依ル開票會開催不能又ハ更ニ開票會ヲ必要トスル事由ノ届出(法第五十六條)
- 一五 開票所ノ秩序保持ヲ必要トスル場合ニ於テ警察官吏ノ處分請求(法第五十七條)
- 一六 開票所ノ秩序攪亂者ノ制止及開票所外ニ退去セシムルコト(法第五十七條)
- 一七 開票ニ關スル書類ノ保存 令第四十三條)

第六 選舉長タル市區長ノ職務

- 一 選舉會場ノ指定(法第五十九條)
- 二 選舉會ノ場所及日時ノ告示(法第六十條)
- 三 臨時選舉立會人ノ選任(法第六十一條)
- 四 選舉會ノ開會、開票管理者ヨリノ報告ノ調査、開票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ノ朗讀、得票總數ノ朗讀(法第六十二條第一項令第四十六條)
- 五 選舉錄ノ作成署名及保存(議員任期間)(法第六十四條、規則第九條)
- 六 選舉關係書類ノ保存(議員任期間)(令第四十七條)
- 七 選舉會場ノ秩序保持ヲ必要トスル場合ニ於テ警察官吏ノ處分請求(法第六十六條)
- 八 選舉會場ノ秩序攪亂者ノ制止及開票所外ニ退出セシムルコト(法第六十六條)

九 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ノ受理及議員候補者辭退届ノ受理(法第六十七條第一項乃至第四項令第四十九條、規則第十條)

一〇 議員第九項届出又ハ議員候補者死亡ノ告示及投票管理者ニ速報(法第六十七條第五項地方局長通牒)

- 一一 議員候補者届出推薦届出アリタルトキニ住居地市町村長ニ通知及候補者ノ氏名、職業、住居、生年月日等ヲ開票管理者ニ通知(令第五十條第一項)
- 一二 議員候補者ノ辭退又ハ死亡ノ旨開票者ニ通知(令第五十條第三項)
- 一三 當選人ノ決定(法第六十九條)
- 一四 議員候補者議員ノ定數ヲ超エサルトキ投票管理者ニ通知告示及地方長官ニ報告及當選人ノ決定(法第七十一條)
- 一五 當選人ニ當選ノ告知、當選人氏名ノ告示及地方長官ニ選舉顛末報告(法第七十二條第一項)
- 一六 當選人ナキトキ及當選人議員定數ニ達セサル場合ニ地方長官ニ報告(法第七十二條第二項)
- 一七 當選人ノ當選諾否ヲ地方長官ニ報告(法第七十三條第三項、令第五十二條)
- 一八 議員關員ニ關シ當選人ノ決定(法第七十九條第四項)
- 一九 選舉事務長カ選舉罰則ニ依リ刑ニ處セラレタル旨地方長官ヨリ通知ヲ受ケタルトキ其ノ旨告示(令第一百十條第二項)
- 二〇 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ選舉會ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ選舉會ヲ開



二ク必要アルトキ地方長官ニ届出(法第六十五條)

### 地方長官ノ職務

#### 第一 選舉ノ區域ニ關スル職務

- 一 特別ノ事情アル市町村ニ數投票區ヲ設ケ又ハ數町村ニ一投票區ヲ設クルコト及之カ告示(法第二條第二項第三項)
- 二 特別ノ事情アル郡市ニ數開票區ヲ設クルコト及之カ告示(法第三條第二項)

#### 第二 選舉人名簿調製ニ關スル職務

- 一 天災事變其ノ他ノ事故ニヨリ名簿再製ニ關スル調製及其ノ期日縱覽ニ關スル期日、期間ノ決定及其ノ告示(法第十七條第四項、規則第二條)

#### 第三 投票ニ關スル職務

- 一 交通不便ノ地ニ於ケル投票期日ノ決定之カ告示投票管理者及開票管理者ニ通知、開票期日迄ニ投票函投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコト(法第三十六條、令第二十四條)
- 二 天災其ノ他避クヘカラサル事故又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキ選舉期日ノ決定及其ノ告示

示並投票管理者、開票管理者及選舉長ニ通知(法第三十七條、令第二十五條)

三 市町村內數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テ各投票管理者ノ決定(令第七條第二號)

四 數町村ニ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於ケル投票管理者ノ決定(令第八條第一號)

五 投票管理者及其ノ代理者故障アルトキ官吏又ハ吏員ヲシテ臨時事務管掌セシムルコト(令第九條)

#### 第四 開票ニ關スル職務

一 開票管理者ト爲ルヘキ官吏ノ指定(法第四十四條)

二 一郡市ニ數開票區ヲ設ケタル場合ニ於テ官吏又ハ吏員中ニ付開票管理者ヲ決定(令第三十七條)

三 開票管理者ト爲ルヘキ官吏指定ノ場合ニ於テ投票、開票録、投票録及開票ニ關スル書類ノ保管(議員任期間)(法第五十三條但書、法、第五十四條但書、令第四十二條第四項、第四十三條但書)

四 開票管理者及其ノ代理者故障アルトキ官吏又ハ吏員ヲシテ臨時ニ事務ヲ管掌セシムルコト(令第三十八條)

五 天災其ノ他避クヘカラサル事故又ハ更ニ開票ヲ行フノ必要アルトキ開票期日ノ決定開票管理者及選舉長ニ通知(法第五十六條、令第四十四條)



### 第五 選舉會ニ關スル職務

- 一 選舉長トナリ又ハ選舉長ノ指定(法第五十八條)
- 二 選舉長タル地方長官ハ市區長ノ職務中第五選舉長タル市區長ノ職務ニ同シ(第十四項乃至第十七項ヲ除ク)(法第五十八條)
- 三 選舉長タル官吏ヲ指定シタル場合ニ於テ選舉錄及開票管理者ヨリ開票ノ結果ニ關スル報告書類其ノ他選舉會ニ關スル書類ノ保存(法第六十四條但書、令第四十七條但書)
- 四 天災其ノ他避クヘカラサル事故又ハ更ニ選舉會ヲ行フ必要アルトキ選舉會期日ノ決定及選舉一長ニ通知(法第六十五條、令第四十八條)
- 五 選舉長及同代理者故障アルトキ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲシテ事務ヲ管掌セシムルコト(令第四十五條)

### 第六 當選人ニ關スル職務

- 一 當選人ニ當選證書ノ付與其ノ氏名ノ告示及内務大臣ニ報告(法第七十六條、規則第十一條)
- 二 選舉若ハ當選無效ト爲リタルトキ又ハ當選人選舉ニ關スル處罰ニ依リ當選無效トナリタルトキ告示スルコト(法第七十七條)

### 第七 再選舉及補闕選舉ニ關スル職務

- 一 再選舉期日ノ決定告示及選舉ヲ行ハシムルコト(法第七十五條)
- 二 内務大臣ヨリ議員關員ノ通知ヲ受ケタルトキ選舉長ニ通知(法第七十九條第三項)
- 三 補闕選舉ヲ行ハシムルコト及其ノ期日ノ告示(法第七十九條第五項第六項)

### 第八 選舉運動及同費用ニ關スル職務(東京府ニ在リテハ警視總監)

- 一 選舉一部無効ニ依リ再選舉ノ場合又ハ天災避クヘカラサル事故及其ノ他必要アルトキ投票ヲ行フ場合ニ選舉事務所選舉委員選舉事務員ノ決定及告示並ニ之カ措置(法第九十條、第九十三條第二項内務次官通牒)
- 二 選舉事務長ノ解任又ハ退任(法第九十四條第一項)
- 三 選舉事務長ニ非ラサル者ノ設置セル選舉事務所又ハ定數ヲ超エタル選舉事務所ノ閉鎖ヲ命スルコト(法第九十四條第二項)
- 四 定數超過又ハ無資格選舉事務員ノ解任ヲ命スルコト(法第九十四條第三項)
- 五 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因ル投票不能又ハ更ニ必要アル投票ニ於ケル選舉運動費用ノ減額(法第一百二條第一項第三號)
- 六 選舉運動費用額ノ告示(法第一百二條第二項内務次官通牒)



- 七 選舉事務長ヨリ届出ニ係ル選舉運動費用ノ告示(法第六六條第二項内務次官通牒)
- 八 選舉事務長選舉ニ關スル罪ニ依リ刑ニ處セラレタル旨ノ裁判所長ノ通知ニ依リ關係選舉長ニ通知(令第一百十條)
- 九 選舉運動ノ費用ノ精算届書ノ保存及閱覽(内務次官通牒)
- 一〇 選舉運動ノ取締統一及連絡(内務次官通牒)
- 一一 選舉事務長選舉委員選舉事務員選任届書ニ添附スヘキ證明書ニ關スルコト(内務次官通牒)
- 一二 選舉運動ニ關スル諸届書受理ニ關スルコト(内務次官通牒)

### 第九 公立學校營造物設備使用ニ關スル職務

- 一 公共團體ノ管理ニ屬スル公會堂議事堂以外ノ營造物ノ設備ノ指定及告示並内務大臣ニ報告(令第七十六條第一項第三號第三項内務次官通牒)
- 二 議事堂ノ使用ノ制限又ハ禁止及之カ告示並内務大臣ニ報告(令第七十六條第二項第三項)
- 三 公立學校營造物設備使用ノ許否決定申請者又ハ其ノ代理人及當該公立學校長其ノ他麻長ニ通知(公立學校其ノ他營造物管理者トシテ)(令第八十條、第八十三條)
- 四 同一公立學校營造物設備使用者ニ對スル使用許可及使用者ノ決定(公立學校其他營造物管理者トシテ)(令第七十九條、第八十三條)
- 五 府縣立公立學校管理者ノ權限委任之カ告示並内務大臣ニ報告(令第八十二條内務次官通牒)

- 六 公立學校又ハ營造物使用許可ノ取消又ハ使用許可ヲ爲スコト及内務大臣ニ報告(令第八十六條内務次官通牒)
- 七 公立學校營造物設備使用ニ關シ必要規定ノ設定並内務大臣ニ報告(令第八十七條内務次官通牒)
- 八 公立學校等ノ設備ノ使用ノ申請書受理簿ニ關スルコト(内務次官通牒)

### 第十 其ノ他ノ職務

- 一 投票立會人開票立會人及選舉立會人職務費用支給額ノ決定(令第七十二條第二項)
- 二 選舉運動費精算届出期間延長及告示並内務大臣ニ報告(北海道長官警視總監沖繩縣知事ノミ)  
(令第七十六條第六項第六項、  
百九條第二項内務次官通牒)
- 三 東京府青ヶ島ニ於ケル選舉人名簿調製縱覽修正ノ申立及修正申立ノ決定ニ關スル期日又ハ期間ノ決定告示(東京府知事ノミ)  
(法第八  
條第五項)
- 四 沖繩縣大東島ニ於ケル選舉人名簿ニ關スル町村長ノ職務投票管理者職務ヲ行フヘキ官吏ノ決定(沖繩縣知事ノミ)(令第九九條)
- 五 大正十五年八月二十五日内務省發警第五九號ニ基キ内規等ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ報告スルコト(内務次官通牒)
- 六 投票函點字器ヲ調製スルコト(令第十四條、第六十九條、規則第五條)
- 七 選舉人名簿用紙投票用紙及假投票不在者投票ニ用ヒル封筒ヲ調製スルコト(令第六十九條規



則第三條)

### 投票立會人(不在投票立會人ヲ含ム)ノ職務

- 一 投票所ニ參會スルコト(法第二十四條)
- 二 投票ノ拒否ニ關シ意見ヲ述フルコト(法第三十一條第一項)
- 三 異議アル選舉人ニ對シ假投票ヲ爲サシムルコト(法第三十一條第四項、令第二十一條第三項)
- 四 投票録ニ署名(法第三十四條)
- 五 投票函投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致(法第三十五條)
- 六 投票函内蓋ノ鑰ノ保管(令第二十二條)
- 七 不在投票用封筒ノ裏面ニ署名スルコト(令第三十二條第一項)
- 八 不在投票ノ受理如何ニ付意見ヲ述フルコト(令第三十四條第一項)

### 開票立會人ノ職務

- 一 開票會ニ參會スルコト(法第四十七條)
- 二 投票函ノ開函投票總數ト投票人總數ヲ計算シ立會フコト(法第四十八條)
- 三 假投票受否ニ付意見ヲ述フルコト(法第四十九條第一項)
- 四 投票ノ點檢(法第四十九條第二項)

五 投票ノ效力ニ付意見ヲ述フルコト(法第五十一條)

六十 投票人ノ封筒ニ封印ヲ施スコト(令第四十二條第一項)

七六 開票録ニ署名スルコト(法第五十四條)

### 選舉立會人ノ職務

- 一 選舉會ニ參會(法第六十一條)
- 二 開票管理者ヨリノ報告調査會ニ立會(法第六十二條)
- 三 選舉録ニ署名(法第六十四條)
- 四 議員候補者議員定數ヲ超エサルトキ當選人決定ニ關シ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ニ付意見ヲ述フルコト(法第七十一條第五項)

### 議員候補者ノ職務

- 一 選舉長ニ届出(選舉期日前七日迄)(法第六十七條第一項、第四十九條第一項、規則第六條)
- 二 辭任ノ届出(法第六十七條第四項、令第四十九條第二項、規則第六條)
- 三 二千圓又ハ同相當額面國債證書ノ供託(法第六十八條第一項)
- 四 當選人トナルコト(法第六十九條、第七十一條)
- 五 當選人ノ諾否ヲ選舉長ニ届出ツルコト(法第七十三條)

第三 選舉ニ關スル職務 選舉立會人ノ職務 議員候補者ノ職務



- 六 選舉事務長一人ヲ選任(法第八十八條第一項)
- 七 選舉事務長ノ解任(法第八十九條第三項)
- 八 選舉事務長選任及異動ヲ警察署ニ届出(法第八十八條第五項第六項、令第五十三條、第五十六條)
- 九 選舉事務長同選任者故障アルトキ其職務ノ代行及警察署ニ届出(法第九十五條、令第五十七條 法第八十八條第七項)
- 一〇 選舉運動ヲ爲スコト(法第九十六條)
- 一一 選舉事務長ノ文書ニ依ル承諾ヲ得テ選舉運動費ノ支出(法第一百一條)
- 一二 演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動費用若クハ立候補準備費用支出ニ付他人ト意思ヲ通スルコト(令第五十九條、第六十條)
- 一三 選舉無料郵便物ノ差出(法第四百四十四條第一項令第七十四條大正十五年二月遞信省令第四號)
- 一四 公立學校又ハ公共團體ノ營造物設備使用ノ申請(令第七十七條、第七十八條)
- 一五 公立學校又ハ公共團體ノ營造物設備使用準備、後片付ノ費用負擔及設備損傷ニ對スル賠償又ハ原狀回復(令第八十五條)
- 一六 法第六十八條第一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコト(令第五十一條)
- 一七 投票開票選舉立會人ノ届出(法第二十四條、第六十一條、令第十條、第三十八條、第四十五條、規則第六條)

### 議員候補者推薦届出者ノ職務

- 一〇 議員候補者ノ職務中第一項、第三項、第六項、第七項、第八項、第九項、第十三項、第十四項、第十五項ノ職務

### 選舉事務長ノ職務

- 一 八 選舉事務長ノ辭任(法第八十八條第四項)
- 二 二 選舉事務長トナリタルコト及其ノ異動ヲ警察署ニ届出(法第八十八條第五項第六項、令第五十三條、第五十六條)
- 三 三 選舉事務所ノ設置又ハ選舉委員若ハ選舉事務員ノ選任(法第八十九條第一項)
- 四 四 選舉委員又ハ選舉事務員ノ解任(法第八十九條第二項)
- 五 五 選舉事務所ノ設置又ハ選舉委員若ハ選舉事務員ノ選任及其ノ異動ヲ警察署ニ届出(法第八十九條第四項)
- 六 六 選舉運動ヲ爲スコト(法第九十六條)
- 七 七 選舉運動ノ爲ニ要スル實費辨償ヲ受クルコト(法第九十七條)
- 八 八 選舉運動費用ノ支出(法第一百一條)
- 九 九 帳簿ヲ備ヘ選舉運動費用ノ記載(法第一百五條、令第六十一條、第六十二條)



- 一〇 選舉運動費用精算届出(法第六六條、令第六十六條、規則第十二條)
- 一一 選舉運動費用ノ帳簿及書類ノ保存(法第七七條、令第六十八條)
- 一二 辭任又ハ解任ノ場合ニ於テ選舉運動費用、選舉事務所選舉委員選舉事務員其ノ他ニ關スル事務ノ引繼(法第九九條、令第六十五條)
- 一三 選舉運動ニ付承諾ヲ與ヘタル費用ノ精算書作成(令第五十八條)
- 一四 演說又ハ推薦狀ニ依ル運動費用ニシテ運動員以外ノ者カ候補者又ハ事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用ノ精算書ノ作成(令第五十九條)
- 一五 立候補準備費用ノ精算書作成(令第六十條)
- 一六 選舉運動費用支出承諾金額、用途、年月日、氏名ヲ承諾簿ニ記載(令第六十二條第一項)
- 一七 選舉運動費用支出承諾簿記載(令第六十二條第二項)
- 一八 第十三項ノ精算書ヲ作成シタルトキハ支出總金額、用途、精算、年月日、氏名ヲ承諾簿ニ記載(令第六十二條第三項)
- 一九 財産上ノ義務金錢以外ノ財産上ノ利益ノ見積金額、用途、支出先、支出年月日、見積根據ヲ評價簿ニ記載(令第六十三條)
- 二〇 支出、金額、用途、支出先、支出年月日ヲ支出簿ニ記載(令第六十四條)
- 二一 選舉運動費用ノ支出領收書、支出ヲ證スル書面ヲ徵スルコト(令第六十七條)

## 第四 選舉判例

### 衆議院議員選舉ニ關スル判例

○判決要旨要領ノ「民」ハ大審院民事部「刑」ハ同刑事部ノ判決ヲ示ス  
 ○判決要旨ノ下ノ數字中、大審院判決ハ判決ノ年及判決録ノ卷頁ヲ示ス

#### ●衆議院議員選舉法 (大正十四年五月五)改(大正十五年六月三十) (日法律第四十七號)正(日法律第八十二號)

#### 第六條 舊第十一條

民 法第十一條ハ選舉ノ時ニ當リ選舉權若クハ被選舉權ヲ有スヘキ者ノ資格ニ關スル規定ナルヲ以テ選舉結了ノ後ニ於テ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ同條第四號ノ規定中ニ包含セラルヘキニ非ス 三五・九・九五

#### 第八條 舊第十四條

民 法第十四條ニ所謂選舉ニ關係アル官吏、吏員トハ各般ノ選舉事物ニ付其ノ當局者トシテ同法ニ規定セラレアルモノヲ指シ市ノ名譽職區長ノ如キ市長指揮命令ノ下ニ當該事務ヲ執ル者ハ之ヲ包含セサルモノトス 一四・二六

#### 第十二條 舊第十八條

第四 選舉判例 衆議院議員選舉判例 法第六、八、十二條



民 衆議院議員選舉人名簿調製ノ當時ニ於テ上告人カ村ニ住所ヲ有セサルコト明ナルトキハ其村ノ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ資格ヲ有セサルヲ以テ上告人ノ該選舉人名簿修正ノ請求ヲ棄却シタル判決ハ正當ナリ ハ・三〇二

民 法第十八條第四項ニ依リ選舉人名簿ニ記載スヘキ選舉人ノ住所トハ民法ニ所謂生活ノ本據タル一定ノ場所ヲ指稱スルモノト解スルヲ相當トス 一〇・四二二

民 如上住所ヲ表示スルニハ最小自治行政區劃タル市區町村ノ外町名又ハ字名及ヒ番地ニ依リ之ヲ特定スルヲ正確トスルヲ以テ選舉人ノ住所トシテ最少自治行政區劃ノミヲ表示スル選舉人名簿ハ正確ナル意義ニ於ケル住所ノ記載ヲ缺クモノト謂ハサルヲ得スト雖モ字名番地ヲ省略シ最小自治行政區劃名ノミヲ表示スルモ之ヲ住所以外ノ他ノ記載事項ト相照應セシムルニ於テハ其選舉區内ニ於ケル選舉資格者ニ限り投票ヲ爲サシメ得ラレサルニ非サルヲ以テ斯ノ如キ住所ノ表示ハ單ニ違式タルニ止マリ當然選舉人名簿ノ無効ヲ惹起スルモノニ非サルモノトス 一〇・四二二

民 選舉人名簿ニ生年月日ノ記載ヲ缺如スルモ他ノ記載ニ依リ選舉人ノ同一ナルコトヲ認識シ得ル以上ハ當然該選舉人ノ登録ノ無効ヲ來スコトナシ 一五・三七六

第十三條 舊第二十條

民 衆議院議員選舉法施行令第七條及ヒ法第二十條ノ規定ハ選舉人名簿ノ正確ヲ期スルカ爲メ該名簿ノ確定前豫メ選舉人ヲシテ該名簿ノ脱漏又ハ誤載ノ有無ヲ檢シ法第二十一條ニ依ル修正申

立ノ機會ヲ得セシムルノ趣意ナリトス 六・二五六

民 郡長市町村長カ如上ノ法令ニ違背シ縦覽場所ノ告示ヲ遲延シ又ハ縦覽期間ヲ短縮シタルトキハ選舉人カ選舉權ヲ有スルニ拘ハラズ名簿ニ脱漏又ハ誤載セラレタル結果之ヲ行使シ得サル場合ニ於テノミ當該選舉人ニ對シ名簿確定ノ效力ヲ有セスト雖モ選舉人トシテ選舉人名簿ニ登録セラレアル者ニ對シテハ該名簿ハ何等確定ノ效力ヲ失フヘキモノニ非ス 六・二五六

第十四條 舊第二十三條

民 法令ニ於テ一定ノ期間内ニ申立ヲ爲スヘキ旨ヲ規定シタルトキハ特別ノ規定アラサル限り其申立ハ期間内ニ當該官憲ニ到達スルコトヲ要ス 四・六三五

民 衆議院議員ノ選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタル選舉人カ町村役場ヲ經由シテ郡長(北海道ニ在リテハ支廳長)ニ其申立書ヲ提出スル場合ニハ必スヤ法定ノ期間内ニ其郡長又ハ支廳長ニ到達スヘキ用意アルコトヲ要ス 四・六三五

民 選舉人カ選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタル當時其申立ヲ爲サス縦覽期間ヲ經過シタリトスルモ苟モ納稅資格ノ如ク其誤載カ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホス場合ニ在リテハ選舉後選舉人ニ於テ選舉訴訟ヲ提起シテ其效力ヲ爭フコトヲ妨クルモノニ非ス 七・一七五九

第十六條 舊第二十五條

行 選舉權アリト主張シ衆議院議員ノ選舉人名簿ニ登録スルコトヲ請求スル事件ニ付行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ 三五・一〇六 一ノ九八



第二十四條第一項 舊第三十二條

民 法第三十二條ニ依リ郡市長ヨリ投票立會人ニ選任セラレタル者ハ解任辭任又ハ死亡等ノ事由ニ依リ其資格ヲ喪失スルハ格別然ラスシテ單ニ指定ノ時刻ニ遲參シタル一事ニ依リ當然立會人タル資格ヲ失フモノト謂フヘカラス 九・一五九〇

第二十四條第二項 舊第一百七條

民 法第一百七條ノ規定ハ畢竟投票立會人カ指定ノ時刻ニ參會セサル爲メ適法ニ投票ヲ開始スルコトヲ得サルヨリ機宜ノ處置トシテ投票管理者ニ臨時ニ選舉人中ヨリ之カ立會人ヲ選任スヘキコトヲ命シタルモノニ外ナラサルモノニ係リ指定ノ時刻ニ參會セサル立會人ハ直ニ其資格ヲ喪失スルカ爲メ叙上ノ如キ規定ヲ設ケタルモノニ非サルヲ以テ同條ハ未タ以テ指定ノ時刻ニ遲參シタル投票立會人ハ當然其資格ヲ失フモノト解釋スルノ根據ト爲スニ足ラス 九・一五九〇

民 法第一百七條ハ立會人カ發病其他ノ事故ニ因リ爾後引續キ立會ヲ爲スコト能ハス若クハ立會ヲ爲ササルカ如キ場合ヲ云フモノニシテ生理上缺クヘカラサル排便又ハ晝食ノ爲メ僅少ノ時間内一時其席ヲ退去スル場合ヲ謂フモノニ非ス 九・一七三三

民 立會人一名關員ノ儘四名ノミノ立會ヲ以テ選舉ヲ施行スルカ如キハ法第一百七條ニ違背シタルモノナルモ右立會人ノ四名ノ員數タルヤ法律カ要求スル最少限度ノ員數ヲ下ルモノニ非ス且四名ノ投票立會人ノ立會ニ依リテ事實上選舉ノ自由公正ヲ害セサル以上ハ該選舉ヲ無効ナリトスルヲ得サルモノトス 一〇・三五〇

第二十五條 舊第三十四條

民 縱令甲地ノ選舉人ヲシテ乙地ノ投票所ニ於テ投票ヲ爲シメタル事實アリトスルモ此事實ハ單ニ其選舉人ノ投票ヲ無効ナラシムル理由タルニ止マリ毫モ他ノ選舉ノ自由公正ヲ害スルモノニ非サレハ其他ノ投票マテモ無効ナラシムルモノニ非ス 六・一九三三

第二十七條 舊第三十六條

民 法第三十六條ニ於テ選舉人ハ自ら被選舉人ノ氏名ヲ記載シト謂ヒ又同第三十八條ニ於テ自ら被選舉人ノ氏名ヲ書スルト謂フハ選舉人カ被選舉人ノ氏名ヲ表彰スヘキ文字ヲ認識シ獨力ヲ以テ之ヲ投票用紙ニ筆記スルノ義ナレハ筆ヲ他ノ器具ノ型内ニ托シテ被選舉人ノ氏名ノ文字ヲ表現セシムル場合ノ如キハ之ニ包含セサルモノトス 五・三七五

民 法第三十六條第一項ニ所謂自ら被選舉人ノ氏名ヲ記載ストハ自筆ニテ書スルノ義ナレハ型ヲ用ヒテ被選舉人ノ氏名ヲ記シタル投票ハ無効ナリ 五・一四八八

民 法第三十六條第一項ハ選舉人ヲシテ自己ノ自由ナル手跡ニ依リ獨力ヲ以テ被選舉人ノ氏名ヲ投票用紙ニ記載セシムルノ趣旨ニシテ此ノ規定ニ依ラサル投票ハ法第五十八條第一項第六號ニ依リ無効ナリトス 九・一六六一

民 型ニ塗墨シ又ハ型ニ筆ヲ托シテ被選舉人ノ氏名ヲ表現セシメタル投票ハ法第三十六條第一項ノ規定ニ適合セサルモノニシテ無効タルヲ免レス 九・一六六一

民 法第三十六條第一項ハ被選舉人ノ氏名ヲ記載スルハ單一ナルヲ以テ足リ重複セシムルヲ要セ



サル趣旨ナリト解スヘキヲ以テ特ニ其記載シタル被選舉人ノ氏名ヲ明瞭ナラシムル爲メ若クハ其記載ノ誤謬アラシクトテ慮リ其氏名ニ假名文字ヲ附スル等ノ場合ニ於テハ之ヲ無効ト爲スヘキニ非サルモ或事柄ヲ暗示スル爲メ其氏名ヲ竝記スルカ如キハ之ヲ禁シタルモノトス 九〇・一九五

民 法第三十六條、第五十八條第三號等ノ規定ハ被選舉人ノ氏名即チ氏及名ヲ併記スルニ非サレハ當然被選舉人ノ何人ナルヲ確認シ難キモノトシテ斯ル投票ヲ無効ト爲スノ趣旨ナリト解スヘク又其氏名ノ記載アリト認ムヘキ場合ハ之ヲ無効投票ト爲スヘキニ非スト雖モ其投票記載ノ氏名カ之ヲ表ハス爲メニ用ヒタル文字ノ記載又ハ其發音ニ於テ之ヲ特定ノ被選舉人ヲ表ハサントシテ誤用セラレタルモノト認メ得ヘキ事情ノ存スル場合ノ外之ヲ特定被選舉人ニ對スル投票ト爲スヘキニ非スシテ其投票ニ記載ノ文字ヲ以テ表ハサレタル氏名ノ者ヲ以テ被選舉人ト爲シタルモノト解スヘキモノトス 一〇・二八一

民 法第三十六條ハ選舉人ハ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載スヘキ旨規定スルヲ以テ投票用紙ニ氏及名ヲ記載スルコトナク單ニ氏又ハ名ノ一方ノミヲ記載シタルトキハ其投票ニ因リテハ被選舉人ノ何人タルヤヲ確認シ得サル無効ノ投票ナリトス 一〇・二八一

民 被選舉人ノ氏及名ヲ記載セサル投票ハ當然無効ニアラス 一四〇・三七三(判例變更)

第二十九條 舊第三十七條

民 衆議院議員ノ選舉人名簿ニ選舉人ノ氏名ヲ誤記シタル場合ト雖モ該選舉人ハ名簿ニ登録セラレサル者ニ非サルヲ以テ其投票ハ有效ナリトス 三九〇・二八六

第三十條 舊第三十八條

民 法第三十八條ノ自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルノ意義(第二十七條下參照)

民 選舉人カ筆ヲ紙型切抜ノ輪廓内ニ托シテ被選舉人ノ氏名ノ文字ヲ表現セシメタル投票ハ法第三十八條第二項ニ依リ投票ヲ爲スコトヲ得サル者ノ爲シタル投票ニシテ有效ナルヘキ理由ナケレハ縱令法第五十八條ニ規定セル無効ノ場合ニ該當セスト雖モ亦之ヲ無効ト爲スヘキモノトス 五〇・三七五

民 選舉人カ型ヲ用ヒテ被選舉人ノ氏名ヲ投票ニ記シタレハトテ直ニ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ト速斷スルヲ得ス 五〇・二四九

民 法第三十八條第二項ハ秘密選舉ノ主義ヲ貫徹スルカ爲メ選舉人自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書シテ投票ス可ク他人ノ代書ヲ許ササル趣旨ニ出テタルニ過キサレハ如上ノ行爲アリタルカ爲メ偶々模寫ニ依リ被選舉人ノ氏名ヲ自書スルコトヲ得ル者ヲ生スル虞アレハトテ該條ニ違背スルモノニ非ス(第八十二條參照) 六〇・二三七

刑 衆議院議員ノ選舉有権者ニシテ選舉人名簿ニ登録セラレタル以上ハ縱シヤ法第三十八條第二項ノ規定ニ違反セル行爲アリトスルモ法第九十八條ノ罪ヲ構成スヘキモノニ非ス 四三〇・一〇九五

第三十一條 舊第三十九條

行 選舉人名簿ニ登録セラレタル者カ法第三十八條ニ該當スル無資格者タル場合ニ其投票ヲ拒否スルニハ法第三十九條ニ依據スヘキモノナリ 四三〇・五〇四・二一〇七



第三十四條 舊第四十一條

民 投票録ハ法第四十一條ニ依リ投票管理者之ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票ノ適法ニ行ハレタルヤ否ヤヲ明確ニスルモノナレハ投票函ノ内蓋ヲ鑰ヲ以テ鎖スコトナク紙片ノ封緘ヲ以テ之ニ代ヘ選舉人ヲシテ投票セシメタルノ事實アルニ拘ハラス當初ヨリ成規ニ從ヒ鑰ヲ以テ内蓋ヲ鎖シタルモノノ如ク記載シタルハ該規定ニ違背スルモ投票カ適式ニ行ハレ選舉ノ自由公正ヲ害セサルヤ否ヤハ其當時實現シタル事實ニ依リテ決セラルヘク投票録ノ記載カ眞實ニ適合セサルモノアルカ爲メ其一事ニ因リテ投票カ適式ニ行ハレス又ハ選舉ノ自由公正ヲ害シタルモノト謂フヲ得サルモノトス 一〇・二五

民 投票及選舉録ハ投票又ハ選舉會ニ關スル事實ヲ證明スル爲メ作成スル記録ニ過キササルヲ以テ之カ法定ノ形式ヲ具備セサルモ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノニ非ス 二・三五

民 投票録ニ於ケル投票管理者及投票立會人ノ氏名又ハ選舉録ニ於ケル選舉長ノ氏名カ自署ニアラサルモ選舉ハ無効トナルモノニ非ス 二・二五

民 投票及選舉會カ適法ニ行ハレタルコトハ投票録及選舉録以外ノ證據方法ニ依リテモ之ヲ證明スルコトヲ得 二・二五

刑 衆議院議員選舉ノ投票立會人ハ衆議院議員選舉法ノ規定ニ依リ投票管理者ト共ニ投票録ニ署名シテ之ヲ開票管理者ニ送致スヘキ職責ヲ有シ其署名ハ投票録作成ノ一要件ニシテ俱ニ投票ノ結局ヲ報告スルモノトス故ニ其刑法上ノ責任ニ於テ投票管理者ト異ル所ナシ 四三・三〇

第三十五條 舊第四十二條

民 法第四十二條ハ閉鎖シタル投票函及ヒ其内容ニ送致ノ途中異變ヲ生スルカ如キ事故ノ發生ヲ豫防センカ爲メニ特ニ送致ノ方法ヲ鄭重ニシタルモノニ外ナラサレハ其規定ニ違背シ送致ノ途中一時投票管理者及ヒ立會人ノ管理ヲ離脱シタルノ一事ヲ以テ當然其投票函在中ノ投票ヲ無効トシ又ハ之ニ異變ヲ生シタルモノト看做スヘキ法意ニ非ス 七・七

民 投票函送致ノ途中一時管理ヲ離脱シタルモ之カ爲メニ其投票函ノ外部及ヒ内部ニ何等ノ異變ヲ生シタルコトナキ事實明白ナル場合ニ於テハ其投票函在中ノ投票全部ニ異變ナキモノト認ムルヲ相當トス從テ其投票ノ計算點檢ハ投票函ノ送致方法ニ如上ノ違法ナキ場合ト同一ニ爲スヘキモノトス 七・七

刑 投票立會人ノ刑法上ノ責任(第三十四條下參照)

第三十七條 舊第四十四條

民 法第四十四條ハ不可抗力ノ爲メ投票ヲ爲スコト能ハサルカ若クハ投票函ノ紛失其他ノ理由ニ因リ開票管理者ニ於テ投票ノ點檢ヲ爲シ其結果ヲ選舉長ニ報告スルノ不可能ナル場合ニ關シ事實上全然投票ヲ爲スコトヲ得ヌ又ハ之ヲ爲スモ結局之ヲ爲ササルト等シキ結果ヲ生スル場合ヲ規定シタルモノニシテ(第六十四條第二項ニ規定セル場合ト區別スヘキモノトス) 七・二五

民 投票區内ノ一部ト投票所トノ交通カ出水ノ爲メニ斷絶シテ一部ノ有權者カ投票期日ニ投票ヲ行フコトヲ得サル場合モ法第四十四條ニ所謂天災ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サル場合ナリトス



101121

第三十九條 舊第四十六條

民 法第四十六條ハ公ノ秩序ニ關スル規定ニシテ何人カ隨意ニ被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルモ其效ヲ有セサレハ裁判所モ亦其陳述ヲ取捨スヘキ限ニ在ラス 四三・九四二

民 法第四十六條ノ規定ハ選舉人トシテ投票ヲ行ヒタル者カ實際選舉權ヲ有スルト否トヲ分タス之ヲ適用スヘキモノナリ 四三・九四二

民 法第四十六條ハ何人ヲ選舉シタルヤノ事實ノ公表ヲ防遏シテ選舉權ノ行使ヲ確保シ以テ無記名投票ノ精神ヲ貫徹スルコトヲ期シタルモノナレハ選舉訴訟ヲ審判スルニ當リ人證檢證又ハ鑑定等ノ方法ニ依リテ該規定ノ適用ヲ免レ被選舉人ノ氏名ノ公表ヲ強ユルコトヲ得サルモノトス 七一七五九

第四十條 舊第四十七條

民 法第四十七條ハ投票管理者カ投票所ノ秩序ヲ保持スヘキ職責ヲ規定シ法第四十九條ハ投票所ノ秩序ヲ紊ル者アル場合ニ於テ投票管理者ノ處置方法ヲ規定シタルモノニシテ孰レモ選舉人ヲシテ安全ニ選舉權ヲ行使スルコトヲ得セシメ以テ選舉ノ自由公正ヲ確保スル精神ニ出テタルモノトス 六〇二三七

第四十二條 舊第四十九條

民 法第四十九條所定ノ紊亂行爲アリタルトキト雖モ其紊亂ノ程度カ選舉ノ自由公正ヲ阻害スル

ノ著シキ場合ニ非サレハ選舉ノ無效ヲ來ササルモノトス 六〇二三七

第五十一條 舊第五十七條

民 衆議院議員ノ選舉ニ付キ其投票面ニ記載シタル被選舉人ノ氏名カ何人ヲ指示スルモノナリヤハ投票面ノ記載ト選舉當時ニ於ケル諸般ノ事情トヲ參酌シテ之ヲ決スルコトヲ妨ケサルモノトス 九〇一八〇〇

民 選舉當時高橋金治郎ハ其選舉區ニ於テ候補者トシテ運動ヲ爲シタルニ反シ高橋金次郎ハ毫モ此事ナカリシ事情ヲ參酌シ高橋金次郎ト書記シタル投票ハ畢竟高橋金治郎ノ誤記ニ外ナラサルモノト認め之ヲ同人ノ得票中ニ算入スヘキモノト爲シタルハ至當ナリトス 九〇一八〇〇

第五十二條 舊第五十八條

民 法第五十八條ハ單ニ投票用紙及ヒ投票ノ記載方法ニ關シ投票自體ニ依リ無効タルコトヲ知り得ヘキモノヲ列舉シタルニ止マリ此等投票以外ニ選舉ノ規定ニ違背シタル投票ヲ以テ無効ト爲スコトナシト規定シタルモノニ非ス 六〇一九二

民 投票用紙ノ指定欄外ニ其氏名ヲ記載シタル投票ヲ無効トスヘキ旨ノ法規ナケレハ縱令選舉人カ用紙ノ裏面ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載スルモ選舉ノ自由公正ヲ害セサル限り其投票ハ有效ナリトス 六〇一九三

民 衆議院議員選舉ノ投票用紙ノ印影ハ或ハ鮮明ヲ缺キ或ハ完全ナラスシテ一見直ニ當該廳府縣ノ印章タルコトヲ認識シ得サルモ之ヲ熟視シテ其印章ノ押捺シアルコトヲ認識スルコトヲ得ル



以上ハ違式ノモノニ非ス 四・一八三

民 如上内務省令ノ規定スル要件ヲ具備セサル用紙ヲ用ヒテ爲シタル投票ハ縱令選舉人カ特別ノ手段ヲ施スニ於テハ容易ニ他人ノ爲メ被選舉人ノ氏名ヲ透視セラルルコトヲ防止シ得ヘカリシトスルモ法第五十八條第一號ニ所謂成規ノ用紙ヲ用ヒサル投票ニ外ナラサレハ當然無効ニ屬スヘキモノトス(明治三十四年内務省令第二十九號參照) 五・三三三

民 普通ノ民人ヲ指シテ何將軍ト稱スルカ如キハ其文字自體ニ徵シテ或ハ嘲弄ノ義ヲ寓シ或ハ侮蔑ノ意ヲ含ムコトアリ從テ如上ノ文字ハ法第五十八條第五號但書ノ所謂敬稱ニ非ス 四・三三三

民 法第五十八條第五號ニ所謂他事ヲ記載シタルモノトハ選舉人自ラ他事ヲ記載シタル投票ヲ指稱スルモノトス從テ被選舉人ノ氏名ノ外ニ數字ヲ記シアル投票ト雖モ其數字カ選舉人ノ記載シタルモノニ非サルトキハ他事ヲ記載シタルモノト謂フヲ得ス 五・四八九

民 投票ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載シ之ニ振假名ヲ附スルハ被選舉人ノ何人ナルヤヲ明瞭ナラシムル爲メニスルコト通常ナレハ斯ル振假名ハ法第五十八條第五號ニ所謂他事ノ記載ニ非ス 六・二七〇

民 投票ニ記載シアル殿閣下ノ文字ハ殿及ヒ閣下ノ文字ヲ重ネテ一箇ノ敬稱トシテ使用シタルモノナレハ法第五十八條第五號但書ニ該當スルモノトス 六・二七〇

民 法第三十六條第一項ハ選舉人ヲシテ自己ノ自由ナル手跡ニ依リ獨力ヲ以テ被選舉人ノ氏名ヲ投票用紙ニ記載セシムルノ趣旨ニシテ此規定ニ依ラサル投票ハ法第五十八條第一項第六號ニ依

リ無効ナリトス 九・一六六

民 衆議院議員選舉法並ニ其附屬法令中被選舉人ノ氏名ヲ表示スル文字ノ種類ニ付キ何等制限シタル規定ナキヲ以テ選舉人カ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ表示スルニ必スシモ本邦固有ノ文字ニ制限セサルヘカラサルモノト解スルコトヲ得ス而シテ輒近羅馬字ヲ用ヒテ自他ノ氏名ヲ記載スル者寡カラサルコトハ顯著ナル事實ニ屬スルヲ以テ衆議院議員ヲ選舉投票スルニ當リテモ羅馬字ヲ用ヒテ被選舉人ノ氏名ヲ記載スルヲ得サルモノニ非ス從テ羅馬字ヲ以テ記載シタル投票ハ法第五十八條第一項第六號ニ該當セスシテ有效ナリトス 九・一六六

民 被選舉人ノ氏名ヲ記載スルニ當リ書損シタルヲ訂正スルハ法第五十八條第一項第五號ニ所謂他事ノ記載ニ非ス 九・一六六

民 選舉人ノ投票ハ箇箇特別ノモノニシテ其間ニ不可分ノ關係アルモノニ非サルヲ以テ縱令其投票中二三ノ投票カ特別ノ理由ニ依リテ無効ニ歸スルコトアルモ其他ノ適法ナル投票ハ之カ影響ヲ受ケ無効ト爲ルヘキモノニ非ス 九・一七三

民 明治三十四年内務省令第二十九號ヲ以テ定メタル投票用紙ノ指定欄内ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載セス其表面ニ之ヲ記載シ其用紙ヲ同省令所定ノ如ク五折シ其一端ヲ切目ニ差込ミテ外面ヨリ被選舉人ノ氏名ヲ窺知スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ其記載方法ハ同省令ノ趣旨ニ違背シタルモノトナレトモ法第五十八條ニ揚ケタル投票ノ無効ト爲ルヘキ場合ノ何レニモ該當セサルヲ以テ斯ル投票ハ之カ爲メ當然無効ト爲ルヘキモノニ非ス 九・一九五



民 選舉人カ如上ノ方法ニテ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタル爲メ他人ニ其投票ヲ窺視セラレ選舉ノ祕密ヲ暴露セラレタリト認ムヘキ事實アル場合ニ於テハ選舉手續ヲ無効ト爲ササルヘカラサル結果其投票ハ無効ト爲ルヘキモ選舉人カ相當ノ隱蔽手段ヲ行ヒテ其折疊ミタル投票用紙ヲ投票函ニ投入シ何人ニモ選舉ノ祕密ヲ破ラレサリシトキハ其選舉手續ヲ無効ト爲スヘキモノニ非サレハ其投票ハ完全ニ效力ヲ生スルモノトス 九・九五五

民 法第五十八條第一項第五號ニ於テ被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタル投票ヲ無効ト爲シタルハ如上ノ目的ヲ以テ選舉人ノ氏名ヲ竝記シタル投票ヲモ包含セシムル趣旨ナリト解スルコトヲ相當ナリトス(第二十七條下參照) 九・九五五

民 郡會議長ナルモノハ法第五十八條第五號但書中ノ所謂職業ニ該當スルモノト解スルヲ相當トス 一〇・二

民 被選舉人ノ氏名ノ外現郡會議長ナル文字ヲ記載シタル投票ハ選舉人ニ於テ選舉當時其被選舉人カ右ノ職ニ在ル者ナルコトヲ指示セムカ爲メニ記載シタルモノナルニ依リ斯ル投票ヲ目シテ被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタル無効ノモノト謂フヲ得サルモノトス 一〇・三

民 法第五十八條第五號ニ所謂他事ノ記載トハ其但書ニ規定セル以外ノ總テノ事項ヲ包含スルモノニシテ之ヲ記載シタル選舉人ノ意思如何ニ拘ハラサルモノト解スルヲ相當トスルヲ以テ投票ニ「池田龜治君」又ハ「池田龜治」トアル「ハ」ナル文字ハ選舉人ニ於テ同人ヲ選舉スル意思ニテ記載シタルモノナルコトヲ認メナカラ他事ノ記載ナリトシ該投票ヲ無効ト爲シタルハ相當

ナリトス 一〇・三

民 同條同號ニ所謂他事ノ記載トハ被選舉人ノ氏名以外ニ別箇ノ文字ヲ記載シタル場合ノミヲ指シスルモノニ非スシテ圖形又ハ點ノ如キモノヲ記載シタルトキト雖モ之ヲ以テ他事ノ記載ト爲スニ妨ケナキモノトス 一〇・三

民 文字ヲ抹消スルニ當リ其周圍ニ圓輪ヲ畫クカ如キハ普通ノ事例ニ非サルヲ以テ投票ノ被選舉人氏名ノ上部ニ於ケル●ナル記載ヲ以テ選舉人ニ於テ或意義ヲ表示セムカ爲メ記入シタル符號ナリトシ同條同號ニ所謂他事ノ記載ニ該當スルモノト認メタルハ至當ナリトス 一〇・三

民 選舉人ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ投票面ニ記載スルニ當リ其中ノ或文字ニ疑ヲ起シ其正確ヲ期スル爲メ更ニ其文字ヲ記載シタル場合ノ如キハ同條同號ニ所謂他事ノ記載ニ該當セサルモノトス 一〇・三

民 法第五十八條第五號ノ趣旨ハ被選舉人ノ氏名及ヒ之ヲ明確ナラシムル文字若クハ敬稱以外ノ他事ノ記載ハ縱令選舉人ニ於テ之ニ依リ投票以外ニ何事カヲ表示セントスル意思ニ出テサリシモノトスルモ其記入アルコトニ依リ選舉人ノ何人ナルヤヲ探知スルコトヲ得テ選舉法ヲ採用シタル無記名投票ノ精神ヲ破壞スルト共ニ選舉ノ自由公ヲ害スルニ至ルヘキヲ慮リタルニ在リ從テ投票用紙ニ於ケル記載ニシテ苟モ如上法ノ許容セル事項ニ該當セサルモノハ總テ之ヲ他事ノ記載トシテ其投票ヲ無効ト解スルヲ相當トス從テベナル符號ハ縱令封緘ノ意味ニ於テ之ヲ記載シタリトスルモ如上法ノ許容セル事項ニ該當セサルコト明カナルヲ以テ所謂他事ノ記載ヲ爲



シタル無効ノ投票ナリトス 一〇・一一

民 投票用紙ニ記載セラレタル「呈」ノ文字ハ被選舉人ノ氏名又ハ之ヲ明瞭ナラシムヘキ文字ニモ非ス又敬稱ノ類ニモ非サルコト明カナルヲ以テ法第五十八條第五號ニ所謂他事ノ記載ニ該當シ該投票ハ無効ナリトス 一〇・一二

民 法第三十六條、第五十八條第三號等ノ規定ハ被選舉人ノ氏名即チ氏及ヒ名ヲ併記スルニ非サレハ當然被選舉人ノ何人ナルヲ確認シ難キモノトシテ斯ル投票ヲ無効ト爲スノ趣旨ナリト解スヘク又其氏名ノ記載アリト認ムヘキ場合ハ之ヲ無効投票ト爲スヘキニ非スト雖モ其投票記載ノ氏名カ之ヲ表ハス爲メニ用ヒタル文字ノ記載又ハ其發音ニ於テ之ヲ特定ノ被選舉人ヲ表ハサントシテ誤用セラレタルモノト認メ得ヘキ事情ノ存スル場合ノ外之ヲ特定被選舉人ニ對スル投票ト爲スヘキニ非スシテ其投票ニ記載ノ文字ヲ以テ表ハサレタル氏名ノ者ヲ以テ被選舉人ト爲シタルモノト解スヘキモノトス 一〇・一八

民 被選舉人ノ氏及名ヲ記載セサル投票ハ當然無効ニアラス 一四・三七三(例判變更)

民 投票用紙中被選舉人ノ氏名ニ附記シタル記載カ住所ヲ表示シタルモノト認メラルル限リハ假令實際ノ住所ト異ルモ該投票ハ無効トスヘキモノニ非ス 一五・三三

第五十五條 舊第六十一條

民 選舉ノ一部無効トナリタル場合ニ於テ再選舉ヲ爲スニハ其ノ無効トナリタル部分ニ付之ヲ行フヘキモノニシテ選舉ノ全部ニ涉リテ之ヲ行フヘキモノニアラス 二・五四四

第六十二條 舊第六十四條

民 選舉手續ノ違法ト投票ノ瑕疵ハ有權者ノ投票ヲ無効ナラシメ當選人ノ確定ニ付キ之ヲ計算スルコトヲ得サラシムルノ點ニ於テハ其結果ヲ同フスト雖モ投票ノ瑕疵ハ單ニ其投票ノ無効ヲ惹起スルニ止マリ其投票ヲ爲シタル有權者ヲシテ更ニ再ヒ投票ヲ爲サシムルノ問題ヲ生セサルニ反シ選舉手續カ違法ナルトキハ所謂選舉ノ全部又ハ一部ノ無効ヲ惹起スヘク無効ト爲リタル選舉ノ部分ニ付キ更ニ選舉ヲ行ヒ有權者ヲシテ投票ヲ行ハシムルノ必要ヲ生スルモノトス 七・二一

民 法第六十四條第二項ハ選舉ノ全部又ハ一部無効ト爲リタル場合ニ於ケル效果如何ノ問題ニ關スルモノニシテ選舉法ニ定ムル手續違背ノ爲メ選舉ノ一部カ無効ト爲リタル場合殊ニ司法裁判所ノ判決ノ結果無効ト爲リタル場合ニ於テ其無効ト爲リタル部分ニ付キ更ニ選舉ヲ行ヒ有權者ヲシテ投票ヲ爲サシメ他ノ投票ト相俟テ當選人ヲ確定スルコトヲ要スルモノト解釋スルヲ相當トス 七・二二五

民 選舉ノ一部無効カ總選舉ニ際シテ生シタルトキハ來ルヘキ一部ノ選舉ハ總選舉ノ一部トシテ行ハルヘク又其無効カ補關選舉ノ際ニ生シタルトキハ之カ爲メニ爲ス選舉ハ補關選舉ノ一部ニシテ總選舉又ハ補關選舉以外ノ特種ノ選舉ニ屬スルモノニ非ス 七・三二五

民 地方長官カ再選舉ヲ命スルノ時期ニ付テハ選舉會カ法第六十四條ニ依リ報告書ヲ調査スルニ當リ選舉ノ無効ヲ發見シタル場合ニ於テハ直ニ其手續ヲ爲スヘク當選人確定後ニ於テハ司法裁



判所ノ無効ヲ宣告スル判決ノ確定シタルトキ地方長官ハ法第七十六條ニ依リ當選證書ノ全部ヲ取消シタル上再選舉ノ手續ヲ爲スヘキモノトス 七〇三五

民 選舉ノ一部無効ト爲リタル場合ニ於テ再選舉ヲ行フヘキ範圍ハ其一部無効カ判決ヲ以テ宣告セラレタルトキハ其部分ニ付キ再選舉ヲ行フコトヲ要シ一投票區ノ選舉手續カ違法ニシテ其全部ヲ無効トスルトキノ外其範圍ノ大小廣狹ヲ問フヘキモノニ非ス 七〇三五

民 選舉手續ノ違法ニ因ル選舉一部ノ無効判決ニ依リ或開票區ノ投票全部ノ無効ヲ伴フ場合ニ於テハ當選人全部ニ對シ當選證書ヲ取消シタル上再ヒ同開票區一圓ニ選舉ヲ行ハシメ更ニ選舉會ヲ開キテ當選人ヲ定ムヘキモノニシテ無効投票ヲ控除シ選舉區ニ於ケル他ノ有効投票ノミニ付キ當選人ヲ定ムヘキモノニ非ス又同選舉區全部ニ涉リ再選舉ヲ行ヒ更ニ當選人ヲ定ムヘキモノニ非ス 七〇三五

第六十四條 舊第六十條

民 選舉錄ハ選舉會ニ關スル事實ヲ證明スル爲メ作成スル記錄ニ過キサルヲ以テ之カ法定ノ形式ヲ具備セサルモ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノニ非ス 二〇三五

民 選舉錄ニ於ケル選舉長ノ氏名カ自署ニアラサルモ選舉ハ無効トナルモノニ非ス 二〇三五

民 選舉會カ適法ニ行ハレタルコトハ選舉錄以外ノ證據方法ニ依リテモ之ヲ證明スルコトヲ得 二〇三五

第六十九條 舊第七十條

民 當選ノ有無ヲ確定スルニハ特定ノ投票カ特定候補者ノ得票ニ歸シタルコトヲ確定スルモノナレハ一定ノ投票カ何人ノ得票ニ歸シタルヤ不明ナル場合ニ於テハ到底當選ノ有無ヲ確定シ得ヘキモノニ非ス 六〇八九

民 衆議院議員ノ選舉ニ關シ選舉有權者ノ爲シタル投票カ有效ニシテ當選人ヲ定ムルニ付キ之ヲ計算スルコトヲ得ルカ爲メニハ選舉有權者カ選舉法ニ定ムル手續ニ從ヒ適式ニ投票ヲ爲シタルコトト選舉有權者ノ爲シタル投票ニ選舉法上其無効ヲ惹起スヘキ瑕疵ノ存在セサルコトヲ必要トス 七〇三五

民 法第七十條第三項ノ場合ニ於テ選舉訴訟若クハ當選訴訟ノ結果當選無効ノ判決アリタルトキハ其效力カ單ニ投票ノ無効ニ因由スルニ於テハ直ニ同條ノ規定ヲ適用シ當選人ヲ定ムヘク當選ノ無効カ選舉ノ一部無効ニ因由スルトキハ其部分ニ付キ更ニ選舉ヲ爲シ開票管理者ノ報告ヲ待テ同條ノ規定ヲ適用シ當選人ヲ定ムヘキモノトス 七〇三五

民 如上(第七十三條ノ下判例末項)ノ場合ニ於テハ法第七十四條ヲ準用シ地方長官ハ選舉期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムルコトヲ得ルモノト解スルヲ相當トス 七〇三五

民 衆議院議員總選舉ノ際或選舉區ヨリ選出セラレタル議員ノ一人ニ付同議員選舉法第七十四條第一項第四號ニ規定セル事由生シタル爲更ニ行フ選舉ハ選舉區ノ境界ニ變更ヲ生シタルトキト雖、從前ノ選舉區域ニ依ルヘキモノトス 一五〇二〇



第七十七條 舊第七十六條

民 當選者ハ選舉訴訟若クハ當選訴訟ノ判決其他選舉ニ關スル處罰ノ結果當選ノ無効ニ歸スルニ依テ始メテ其議員タル資格ヲ失ヒ從テ之ニ屬スル權利ヲ失フニ止マリ選舉訴訟ノ提起アリタルカ爲メ直ニ其資格ニ屬スル權利ヲ失フモノニ非ス 三〇・二〇ノ一ニ

民 選舉訴訟ノ判決ニ依リ選舉無効ト爲リタルトキハ地方長官ハ當選證書ヲ取消スヘキモノナレハ其判決ノ結果カ當選者ニ法律上直接ノ效力ヲ及ホスコト明確ナルヲ以テ該訴訟ニ於ケル當選者ハ民事訴訟法第五十三條ニ所謂權利上利害ノ關係ヲ有スルモノニ該當ス 三六・六六七

第八十一條 舊第八十條

民 法第八十條ニ所謂選舉ノ效力ニ關シ異議アル場合トハ選舉ニ瑕疵アルコトヲ爭フ場合ヲ指稱ス從テ補關選舉ニ依リ選舉セラレタル者カ總選舉ノ際選舉セラレタル議員ノ補關ヲ爲スコトヲ得ルヤ否ヤノ如キ爭訟ハ之ニ包含セス 四〇・一

民 選舉訴訟ハ其目的選舉ノ效力ヲ爭フニ在ルヲ以テ原告カ其訴ノ原因トシテ選舉權ナキ者ノ無効投票及ヒ被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キ無効投票ヲ以テ有效ナリトシ當選人ト爲スヘカラサル者ヲ當選人ト爲シタルコトヲ主張シ以テ選舉ノ效力ヲ爭フハ不適法ニ非ス 四三・二七

民 選舉訴訟ニ於ケル訴ノ原因タル事實ノ提出ニ付テハ何等ノ制限ナキヲ以テ最初提出シタル原因ニ代フルニ他ノ原因ヲ以テスルモ或ハ更ニ新ナル原因ヲ加フルモ自由ナリトス從テ一旦三十日ノ法定期間内ニ訴ヲ提起シタルトキハ其進行中ハ縱令法定期間經過後ト雖モ訴ノ原因ヲ變更

シ又ハ新ナル原因ヲ追加スルコトヲ得ルモノトス 三三・三三

民 法第八十條第一項ニ依リ選舉人ノ提起スル選舉訴訟ハ選舉ノ一部又ハ全部ノ無効宣言ヲ求ムルモノニシテ選舉ノ規定ニ違背シタルコトカ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合ニ限ルモノトス 四二・三〇

民 衆議院議員選舉ノ效力ニ關スル異議ノ訴ハ選舉人ニ非サレハ之ヲ提起スルコトヲ得ス從テ當該選舉ニ於ケル選舉人タル事實ハ同訴訟ヲ理由アラシムルニ缺クヘカラサルモノナルヲ以テ原告ヨリ之ヲ主張シ且立證スヘキモノトス 五二・七

民 法第八十條第一項ニ所謂選舉ノ日ハ法第二十八條第七十四條第一項若クハ第七十八條第三項等ノ規定ニ依リ定メラレタル選舉ノ期日即チ選舉ノ行ハルヘキ日ヲ指稱スルモノトス 五二・四六

民 法第八十條ニ依リ選舉長ニ對シ選舉訴訟ヲ提起スルニハ單ニ當該選舉區ニ於テ選舉人トシテ選舉權ヲ有スルヲ以テ足り現ニ投票ヲ爲シタルコトヲ必要トセス 五三・三三

民 選舉ニ關スル訴訟ニ於テ當事者雙方ノ主張シタル事實ニ依リ其請求ノ當否ヲ決スルコトヲ得ヘキトキハ投票其物ヲ實驗スルノ必要ナキモノトス 九二・八〇

民 被選舉人ノ氏名ヲ高橋金次郎又ハ「たかはしきんじろう」若クハ「タカハシキンジロウ」ト書記シタル投票ハ高橋金治郎ヲ指示シタルモノト認メ斯ノ如キ投票者于同入ノ得票中ニ算入シタルコトヲ選舉長タル相手方カ認ムルトキハ之カ當否ハ投票其物ヲ實驗セスシテ決シ得ヘキモノトス 九二・八〇



第八十二條 舊第八十一條

民 衆議院議員選舉ニ於テ投票人員百四名ニ對シ投票ノ數百五票アリタル場合ト雖モ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホササルコトノ明確ナル限ハ其選舉ヲ無効ト爲スヘキモノニ非ス 三〇・二六七

民 法第八十一條第一項ニ所謂當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合トハ當選人ト定メラレタル者ノ當選ニ付キ立言シタルモノナレハ法第七十八條第一項ニ依ル補充當選ニ影響ヲ及ホスノ虞アル場合ヲ包含セサルモノトス 四〇・三〇二

民 衆議院議員選舉カ投票記載所ナル卓子ノ目隠枱板ニ選舉候補者ノ氏名ヲ記載セルモノヲ發見シ管理者ハ直ニ之ヲ取替ヘ又之ト前後シテ投票所内ニ選舉候補者用名刺ヲ散布シアルヲ發見シテ收去シタルモ入場選舉人多數ノ目撃スル所ト爲リタルカ如キ事實ノ下ニ行ハレタル場合ニ於テモ直接法令ノ規定ニ違背セサルハ勿論之ヲ有效トスルモ選舉法規ノ精神ニ背戾スル所ナキモノトス 六〇・二三七

民 選舉ノ規定ニ違背シテ爲シタル投票カ如何ナル場合ニ無効タルヘキヤハ選舉法及ヒ附屬法令ノ規定ニ照シ選舉ノ自由公正ヲ害スルヤ否ヤニ依リ之ヲ判定スヘキモノトス 六〇・八九二

民 施行令第十一條ニ違背シ投票記載場所ノ設備ニ多少不完全ノ點アリトスルモ必スシモ其投票ノ無効ヲ來スモノニ非スト雖モ其設備極メテ不完全ニシテ選舉法ノ採リタル秘密選舉ノ主義ニ反シ選舉ノ自由公正ヲ害スル程度ニ達スルトキハ其投票ハ何等ノ設備ナキ公ノ場所ニ於テ爲サレタル投票ト同シク全然無効ニ歸スルモノト認ムルヲ相當トス 六〇・八九一

民 法第八十一條第一項ニ所謂當選ノ結果ニ異動ヲ及ホス虞アル場合トハ選舉ノ規定ニ違背シテ爲シタル無効投票ヲ控除スルノ結果當選者タル資格ヲ失フヘキ者ヲ生スル虞アルカ如キ場合ヲモ指稱スルモノトス 六〇・八九二

民 如上ノ事實アルトキハ當然選舉ノ全部又ハ一部ノ無効ヲ宣言スヘキモノニシテ特定ノ當選者ニ對スル無効ヲ宣言スヘキモノニ非サレハ當選者中當選ノ結果ニ影響ヲ及ホス虞ナキ者ト然ラサル者トヲ區別シ其影響ヲ受クヘキ當選者ニ對スル關係ニ於テノミ無効ヲ宣言スヘキモノニ非ス 六〇・八九三

民 選舉訴訟ニ於テ法第八十一條第一項ニ該當スルモノト認メタルトキハ縱令當選訴訟ノ提起セラレサル場合ト雖モ裁判所ハ選舉ノ全部又ハ一部ノ無効ヲ判決スルコトヲ得ルモノトス 六〇・八九四

民 法第八十一條第一項ノ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アルヤ否ヲ判定スルニハ或選舉區ニ於ケル各當選者及落選者ノ得票數ヨリ無効投票數ヲ控除シ其殘餘ノ得票數ヲ比較シ當選者カ落選シ又ハ落選者カ當選者ト爲ルヘキ事情ナキヤヲ判定シテ之ヲ決スヘキモノトス 六〇・八九三

民 法第八十一條第一項ニ所謂「當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合」トハ「異動ヲ及ホスヘシト思料セラルル場合」ヲ意味スルモノニシテ具體的ニ當選者カ當選者タラス落選者カ當選者ト爲ルノ結果ヲ惹起スヘキ事情ノ存在ヲ必要トスルハ勿論ナリトス 六〇・八九二

民 施行令第十一條ニ違背シ不完全ナル設備ヲ爲シタル場所ニ於テ投票ヲ爲サシメタル選舉ハ違



法エシテ法第八十一條第一項ニ所謂選舉ノ規定ニ違背シタルモノトス 六・三五二

民 然レトモ法第八十一條第一項ハ選舉ノ規定ニ違背シタル選舉ト雖モ事實上選舉ノ自由公正ヲ害スル程度ニ至ラサルトキハ之ヲ無効ト爲ササル法意ナリトス 六・三五二

民 選舉人ノ投票ヲ爲スニ當リ現ニ其投票ヲ窺視スル者アリテ投票ノ秘密カ破レタリト認ムヘキ事實ナキ以上ハ其選舉ハ之ヲ無効ト爲スヘキモノニ非ス 六・三五二

民 施行令第十二條、第十三條、第二十條ハ投票函ヲ開閉スルニハ其外蓋内蓋及ヒ投票口共鎖鑰

ニ依ルヘキ趣旨ヲ宣明シ以テ投票ノ安全ト選舉ノ自由公正トヲ確保セントスルモノナルヲ以テ投票函ノ内蓋ヲ鑰ヲ以テ鎖スコトナク紙片ノ封緘ヲ以テ之ニ代ヘ選舉人ヲシテ投票セシムル如キハ該規定ニ違背スルモ事實上選舉ノ自由公正ヲ害スル程度ニ至ラサルトキハ法第八十一條第一項ニ依リ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホス虞アルモノトシテ該選舉ヲ無効ト爲スヘキモノニ非ス 一〇・三五

民 施行令第十一條ノ規定ニ違背シ投票記載場所ノ設備ニ多少缺クル所アルモ其設備極メテ不完

全ニシテ何等ノ設備ナキ公ノ場所ニ於テ爲サレタル投票ト同シク秘密選舉ノ主義ニ反シ選舉ノ自由公正ヲ害スル程度ニ達セサル限り其投票ヲ無効ト爲スヘキモノニ非ス 一〇・一五

民 投票立會人及投票管理者カ選舉ノ規定ニ違背シタル行爲ヲ爲シタルトキト雖選舉ノ全體ノ自由公正ヲ阻害スル程度ニ達セサル限り選舉ハ無効ニ非ス 一四・三六

第八十三條 舊第八十二條

民 衆議院議員ノ當選訴訟ノ原、被告ニ對スル主參加ノ訴ハ之ヲ許ササルモノトス 一五・一五

第八十五條 舊第八十三條

民 檢事ハ當選訴訟ノ口頭辯論ニ立會フニ止マリ其裁判ニ與カルモノニ非サレハ裁判所ヲ構成スル一員ナリト謂フヲ得ス 五・二四九

第八十七條 舊第八十五條

民 法第八十五條第一項、供託法第一條ニ依リ供託ヲ爲シタル場合ニ於ケル供託者ト金庫トノ關係ハ所謂供託契約ニ基ク私法的法律關係ナルヲ以テ供託法第八條第二項ニ依リ供託原因ノ消滅

シタルコトヲ理由トシテ供託物ノ取戻ヲ請求スル權利ハ一種ノ債權ナリトス 四・一〇六

民 衆議院議員選舉人カ民事訴訟法第四十八條第三號ニ依リ共同シテ一箇ノ訴ヲ以テ選舉訴訟ヲ爲ス場合ニ於テハ法第八十五條第一項ニ依ル保證金ハ一箇ノ訴ニ對スルモノヲ供託スルヲ以テ足レリトス 五・二四三

第一百十二條 第一百十三條 第一百十四條 舊第八十七條

刑 法第八十七條ノ罰則ハ選舉權ノ行使ヲ安全公平ナラシメンカ爲ニ設ケラレタルモノトス從テ議員候補者ニ被選舉權ノ有無ハ犯罪ノ構成ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ 三〇・二五七

刑 法第八十七條ハ衆議院議員ノ候補者ノミニ限ラス何人ト雖モ選舉ニ關シ同條列記ノ各行爲ヲ爲シタル者ハ總テ之ヲ處罰スルノ趣旨ナリトス 四三・二八七

刑 法第八十七條各號ノ行爲カ選舉後ニ在リタル場合ニ於テハ當事者間ニ其行爲ニ關シテ選舉前



ノ豫約アリタルト否トヲ論セス苟モ選舉ニ關シテ行ハレタル以上ハ同條所定ノ犯罪ヲ構成スルモノトス 二・二五二

刑 直接又ハ間接ニ一箇ノ行為ヲ以テ同時ニ數人ニ對シ法第八十七條第一項各號ノ罪ヲ犯シタル所爲ハ一箇ノ行為ニシテ數箇ノ罪名ニ觸ルルモノトス 四・九六三

刑 法第八十七條第一項所定ノ各行爲ハ犯罪ノ態様ヲ異ニスルモ同一罪名ニ觸ルルモノト謂フヘキヲ以テ同一ノ意思發動ニ因リテ之ヲ連續實行スルニ於テハ連續犯ヲ以テ論スヘキモノトス 四・一四九九

刑 法第八十七條ニ所謂選舉ニ關シトハ選舉權ノ行使ニ影響ヲ及ホスヘキコトヲ目的トシタル事 項ニ關ストノ趣旨ナリトス 四・一九五四

刑 人ヲ介シテ選舉有權者ニ金錢ノ供與ヲ申込ミタル事實アル以上ハ其申込ノ媒介ヲ爲シタル者カ選舉人若クハ選舉運動者ナルト否トニ拘ハラヌ法第八十七條第一項第一號ノ犯罪ヲ構成ス 三六・三五〇

刑 他人ニ委託シテ選舉人ニ對シ現ニ利益ノ供與又ハ供與ノ申込ヲ實行セシメタル以上ハ法第八十七條第一項第一號ノ犯罪ヲ構成ス而シテ受託者カ委託者ノ名義ヲ以テ其ノ申込ヲ爲シタルト自己ノ名義ヲ以テ之ヲ爲シタルトハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ナシ 同上

刑 法第八十七條第一號ニ所謂供與トハ金錢物品等ヲ提供贈與スルコトヲ意味シ其申込トハ他人ニ對シ供與ノ意思表ヲ示シタルコトヲ云ヒ其申込ヲ承諾シトハ供與ヲ受クヘキコトノ意思ヲ表

示シタルヲ云ヒ其周旋勸誘トハ當事者ノ間ニ介シテ供與ヲ受ケンコトヲ斡旋盡力シテ之ヲ承諾スルニ至ラシムヘキ行為ヲ指稱ス而シテ此等ノ意味ヲ顯ス爲メ右等ノ語辭ヲ使用スレハ一般ニ行ハルル所ナリトス 三六・一四〇四

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂選舉運動者ニ對スル金錢ノ供與トハ報酬ノ意味ヲ以テスル供與ヲ指稱セルモノトス從テ車馬賃飲食宿泊料ノ如キ選舉運動ノ爲メ必要ナル實費ノ供與ハ之ニ包含セス 三七・四六六

刑 法第八十七條第一項第一號ニハ選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢物品手形其他ノ利益若クハ公私ノ職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與センコトヲ申込ミタル者云々トノミアリテ供與若クハ供與ノ申込ヲ爲ス主格ニ付キ何等ノ制限ナケレハ特ニ議員候補者ノミニ限ラス何人ト雖モ選舉ニ關シ金錢物品等ヲ提供贈與シ又ハ提供贈與スル意思ヲ表示シタル者ハ總テ同條項ノ制裁ヲ受クヘキモノトス 四・六六一

刑 何人ト雖モ選舉ニ關シ法第八十七條第一項第一號ニ規定シタル所爲アリタルトキハ同條ヲ適用シ處罰スヘキモノトス從テ衆議院議員候補者ノミニ限ルモノニ非ス 三五・一〇ノ二〇

刑 法第八十七條第一項第一號ニハ選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢物品手形其他ノ利益若クハ公私ノ職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又供與センコトヲ申込ミタル者云々トノミアリテ供與若クハ供與ノ申込ヲ爲ス人ニ付キ何等制限アルコトナシ從テ特ニ議員候補者ニ限ラス何人ト雖モ選舉ニ關シ供與若クハ供與ノ申込ヲ爲シタル者ハ總テ同條項ノ制裁ヲ受クヘキモノトス



三六・二八一

刑 法ニ所謂選舉運動者トハ議員候補者ノ爲メニ投票ヲ得セシムル目的ヲ以テ選舉有權者ヲ勸誘スル諸般ノ行爲ヲ爲ス者ヲ指稱スルモノトス 元・二九一

刑 商人カ營業ノ範圍内ニ於テ取引ノ申込ヲ受クルハ其欲求ヲ満足セシムル所以ニシテ顧客ハ一種ノ利源タルヲ失ハサレハ之ヲ目シテ財産的利益ト稱スルモ不當ニ非ス 三・三六六

刑 議員候補者ト通謀シ吳服商タル選舉人ニ吳服類ノ取引ヲ爲スヘキ旨申入レ之ヲ誘ヒテ該候補者ノ利益ノ爲メ投票セシメタル所爲ハ法第八十七條第一項第一號ノ所謂利益ヲ供與シタルモノニ該當ス 三・三六五

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂選舉ニ關シ金錢ヲ選舉運動者ニ供與センコトヲ申込みタル者又ハ其申込ヲ承諾シタル者トハ選舉ニ關シ選舉運動者ニ對シ該運動ノ爲メ直接ニ必要ナル金錢又ハ物ノ對價以外ノ金錢ヲ供與センコトヲ申込み又ハ申込み承諾シタル者ヲ指稱スル法意ナリトス 四・六九七

刑 選舉ニ際シ運動者ニ日當又ハ辨當料ノ如キ相當ノ實費ヲ供給スルハ法ノ禁止スル所ニ非ス 四・七六八

刑 衆議院議員選舉法罰則ニ所謂金錢ノ供與トハ事實上金錢ヲ交付スル總テノ行爲ヲ包含スルモノニシテ實際出金者ノ何人タルヤヲ問ハサルモノトス 四・七九八

刑 法第八十七條第一項第一號ハ同號所定ノ利益ノ供與又ハ申込み直接ナルト間接ナルトヲ問ハ

ス之ヲ處罰スル法意ナリトス 四・八四〇

刑 法第八十七條第一項第一號ハ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ自身ニ金錢其他ノ利益ヲ供與シ若クハ供與ノ申込ヲ爲シタル者ハ勿論他人ヲ介シテ間接ニ其供與又ハ供與ノ申込ヲ爲シタル者ヲモ包含ス 三六・二五〇

刑 衆議院議員選舉ニ關シ間接ニ金錢ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ又ハ供與センコトヲ申込みタル罪ノ行爲ノ箇數ヲ定ムルニハ其間接ノ地位ニ立ツ者ノ動作ノ箇數ニ依ルヘキモノニシテ直接ノ地位ニ立ツ者ノ員數又ハ其行爲ノ箇數ニ依ルヘキモノニ非ス 四・八五一

刑 法第八十七條第一項第一號ノ規定ハ他人ヲ介シテ間接ニ同條所定ノ申込み爲シタル者ヲモ罰スルモノナレハ其性質上當然間接ノ地位ニ立ツ者ハ直接ノ地位ニ立ツ者ノ爲シタル申込み事實ニ付キ罪責ヲ負フヘキモノトス 同上

刑 甲乙丙ノ三人選舉ニ關シ選舉人ニ利益供與ヲ申込みヨトコトヲ共謀シ甲其旨ヲ含ミテ現實申込み爲シタルトキハ乙丙モ亦實行正犯ノ責ニ任スヘキモノトス 四・九〇七

刑 法第八十七條第一項第一號違反罪ノ如キ罪種ニ付テハ投票買収ノ謀議ニ參與シタル者ハ自ら金錢供與ノ申込み爲シタル事實ナシトスルモ仍ホ共同實行者ト認ムヘキモノトス 四・三二二

刑 選舉運動ノ方法順序等ニ付キ協議スル行爲モ亦選舉運動ノ實行行爲ノ端緒ニシテ選舉運動ト謂フニ妨ナキモノトス 四・九六二

刑 選舉運動者ニ對シ選舉人買收費トシテ金圓ヲ寄託シタル所爲ハ法第八十七條第一項第一號ノ



犯罪ヲ構成スルモノニ非ス 四・九七〇

刑 法第八十七條第一項第一號ニ選舉運動者ニ對スル金錢ノ供與トハ選舉運動ノ報酬トシテ選舉運動者ニ金錢ヲ供與スルヲ謂フモノナルヲ以テ選舉運動者ハ投票買收費ヲ寄託スルカ如キハ選舉運動ノ報酬トシテ選舉運動者ニ金錢ヲ供與シタルモノト云フヘカラス 元・二三〇 四・二二

刑 法第八十七條第一項第一號ニ於テ間接ノ行爲ヲ罰スヘキ旨明規シタルハ同法制定當時ニ施行セラレタル舊刑法ニ在リテハ教唆事項カ數人ヲ介シテ實行セラレタル場合ニ付キ教唆犯ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ルヤ否ヤノ疑アリタルヲ以テ此ノ如キ場合ニ付テモ皆之ヲ間接ノ犯罪トシテ處罰セントスルノ趣旨ニ出テタルモノトス 四・九六三

刑 人ヲ介シテ順次ニ數名ノ選舉人ニ對シテ法第八十七條第一項第一號ノ申込ヲ爲サシメタル所爲ハ同條項ノ罪ノ連續犯ヲ構成スルモノトス 同上

刑 選舉運動者ニ對シテ月手當ノ名目ヲ以テ支給シタル金錢ハ別段ノ事由ナキ限ハ選舉運動者ノ一月間ノ役務ニ對スル概括的ノ報酬ト認ムヘキヲ以テ縱令運動者ニ於テ其一部ヲ選舉運動ノ實費ニ充當シタルトスルモ之カ爲メ其全部ヲ選舉運動ニ對スル報酬ト認ムルノ妨ト爲ルヘキモノニ非ス 四・一〇九八

刑 一箇ノ行爲ヲ以テ同時ニ二人ニ對シテ選舉ニ關シテ金圓ヲ供與シタル所爲ハ刑法第五十四條第一項前段ニ依リ一罪トシテ處斷スヘキモノトス 四・二二六  
刑 金借ノ周旋ヲ爲スヘシトシテ申出ハ相手方ヲシテ自己ノ勞務ヲ利用セシムヘキ旨ノ申出ナレハ

法第八十七條第一項第一號ニ所謂利益ノ供與ニ該當スルモノトス 四・二三五

刑 選舉運動者カ選舉ニ關シ他人ヲ養應シタル費用ハ選舉運動ノ爲メ必要ナル費用ニ非サルヲ以テ議員候補者ニ對シ之カ辨償ヲ求ムルヲ得サルモノナレハ之カ辨償ノ爲メ金錢ヲ供與シタル行爲ハ法第八十七條第一項第一號ニ該當スルモノトス 四・二三三

刑 苟モ選舉ニ關シ選舉運動者ニ公私ノ職務ヲ供與センコトヲ申込ミタル以上ハ其職務ノ特定セラルト否ト問ハス法第八十七條第一項第一號ノ違反罪ヲ構成スルモノトス 四・二五四  
刑 選舉ニ關シ金錢供與ノ申込ヲ承諾シ次テ其供與ヲ受ケタル行爲ハ之ヲ選舉ニ關シ金錢ノ供與ヲ受ケタル一箇ノ犯罪トシテ處斷スヘキモノトス 四・二三三

刑 選舉有權者ニ金圓ヲ交付スル目的ヲ以テ其不在ノ際之ヲ其妻ニ交付シタルハ別段ノ事情ナキ限り法律上之ヲ選舉有權者ニ交付シタルト同視シ得ヘキモノトス 四・二三九

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂利益トハ選舉有權者ヲ誘惑シテ選舉ノ公正ヲ害シ得ヘキ性質ノモノナルヲ以テ足り被申込者ニ於テ確實ニ之ヲ享受シ得ヘキモノナルコトヲ要セサルモノトス 四・二四六

刑 選舉運動者中ニハ公衆ニ對シテ言論文章ヲ以テ一定ノ議員候補者ヲ賞揚推薦シ之ニ投票スヘキ旨ヲ力説スル如キ行爲ヲ爲ス者ヲモ包含スルモノトス 四・二四五

刑 甲者カ選舉運動者ニ對スル報酬トシテ供與スヘキ金圓ヲ乙者ニ寄託シ乙者ヲシテ更ニ丙者ヲ介シテ選舉運動者ニ對シ之ヲ供與セシメタル行爲ハ法第八十七條第一項第一號ニ所謂間接供與



ニ該當スルモノトス 同上

刑 法第八十七條ノ選舉ニ關シ間接ニ金錢物件其他ノ利益ヲ供與スル罪ノ成立スルニハ本人ニ於テ仲介者タル他人カ選舉ニ關シ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與スル金錢其他ノ利益ナルコトヲ認識シ之カ資源ヲ供給スル以上必スシモ各特定の選舉人又ハ選舉運動者ニ供與セラルヘキ具體的事實ノ認識アルコトヲ要セサルモノトス 同上

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂金錢ノ供與トハ選舉ニ關シ選舉運動ニ必要ナル實費以外ノ金錢ヲ供與シタル總テノ場合ヲ指稱スルモノナレハ選舉運動者ノ勞務ニ對スル報酬ノ如キヲモ包含スルモノトス 四・一六三〇

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂利益ノ供與トハ選舉ニ關シ選舉人又ハ選舉運動者ニ事實上不法ノ利益ヲ取得セシムルコトヲ謂フモノニシテ法律上有效ニ之ヲ取得セシムルコトヲ要スルモノニ非ス 四・一八四六

刑 選舉ニ關シ投票ノ買收ヲ請負ヒ其對價トシテ或金額ヲ收受シタル場合ニ於テ該金額中ニハ實費ニ充當スヘキモノヲ包含セシメタリトスルモ其全額ヲ以テ投票買收ノ報酬ト看做スヘキモノトス 四・一八七三

刑 新聞記者カ議員候補者ノ爲メ自ラ選舉運動ニ不利益ナル記事ノ掲載ヲ中止スルハ選舉運動行爲ト謂フヲ得サルモ他人ニ對シ叙上ノ中止ヲ求ムル行爲ハ之ヲ選舉運動行爲ト稱スヘキモノトス 四・一九五五

刑 公私ノ職務ニ就カシムル爲メ推薦又ハ盡力スルコトヲ申込ミ選舉運動ヲ依頼スル行爲ハ推薦又ハ盡力ナル一種ノ利益ヲ以テ選舉運動ノ報酬ト爲スモノナレハ法第八十七條第一號ノ犯罪ヲ構成ス而シテ申込者ニ推薦スル權限又ハ權利アルト否トハ本罪ノ成否ニ消長ナキモノトス 五・一六三

刑 選舉ニ關シ運動者募集ノ目的ヲ以テ特定人ニ對シ利益ヲ供與シ又ハ供與センコトヲ申込ミ之ニ選舉運動ヲ依頼スル場合ニ於テ其者カ依頼ニ應シテ承諾シタルトキハ勿論承諾セザルトキト雖モ承諾以前ノ申込行爲ヲ以テ法第八十七條第一項第一號ニ所謂選舉運動者ニ申込ヲ爲シタルモノト解スルヲ相當トス 六・二〇三

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂選舉運動者トハ現ニ選舉運動ニ從事シ若クハ選舉運動者タルヘキコトヲ承諾シタル者ハ勿論選舉運動者タルコトノ承諾ヲ求メラレタル者ヲモ包含スルモノトス 四・七七二

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂選舉運動者タルニハ報酬供與當時現ニ選舉運動ニ從事シ居ル者タルコトヲ要セス將來ニ於テ選舉運動ニ從事センコトノ請託ヲ受ケ之ヲ拒絕シタル場合ト雖モ請託者ノ方面ヨリ觀察スレハ仍ホ選舉運動者ナリトス 六・六七九

刑 苟モ選舉ニ關シ選舉人ニ對シ禮金ヲ供與スヘキコトヲ申込ミタル以上ハ其金額ヲ確定シタルト否トヲ問ハス法第八十七條第一項第一號ニ該當スルモノトス 六・二八九

刑 滯納處分ニ因リ選舉權ノ行使ヲ停止セラレ居ル者ニ對シ滯納處分ノ解除ニ依リテ自己ニ投票



刑 七シメンカ爲メ金錢供與ノ申込ヲ爲シタルトキハ即チ選舉ニ關シ選舉人ニ對シ利益供與ノ申込ヲ爲シタルモノトス 六・一三八

刑 選舉運動ニ關シ援助ヲ求メラレ之ヲ承諾シタル者ハ法ニ所謂選舉運動者ト認ムヘキモノトス 六・一四〇

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂選舉運動者トハ金品手形其他ノ利益若クハ公私ノ職務ノ供與又ハ其供與ノ申込當時ノ現ニ運動行爲ヲ行フ者ノミニ限ラス未タ其實行前ト雖モ既ニ他人ノ依頼ニ應シ運動ニ從事センコトヲ承諾シタル者ヲモ指稱スルモノトス 四二・二九

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂「其他ノ利益」トハ同條項中特ニ明示セルモノヲ除ク外一般ニ人ノ需要又ハ慾望ヲ充タスニ足ルヘキ一切ノ事物ヲ指稱スルモノニシテ財産上ノ價值アル事物ノミニ限定シタル趣旨ニ非ス 六・一四〇

刑 被告カ或者ニ對シ縣會議員ナル公職ニ就カシムル爲メ推薦盡力スヘキコトヲ申込ミ衆議院議員選舉ノ運動ヲ依頼シタル以上ハ縱令其者カ縣會議員タルコトヲ希望セス其申込ヲ拒絕シタル事實アリトスルモ被告ノ所爲ハ法第八十七條第一項第一號ノ罪ヲ構成スルモノトス 六・一四〇

刑 同數乗車券ハ有價證券タル物品ナルカ故ニ選舉報酬トシテ之ヲ授受スル行爲ハ法第八十七條第一項第一號ニ該當スルモノトス 七・二〇九

刑 選舉運動者ニ對スル金錢ノ供與カ直接ニ行ハルルト將タ間接ニ行ハルルトハ供與ノ方法ヲ異ニスルニ止マリ等シク法第八十七條第一項第一號ニ所謂選舉運動者ニ對スル金錢供與罪ヲ構成

シ其罪責及ヒ犯情ニ付キ異同ヲ生セサルモノトス 七・二七九

刑 被告カ選舉運動ヲ請負ヒタルニ對スル報酬トシテ金錢ヲ受取リタル行爲ト同人カ選舉運動者ニ對シ報酬トシテ金錢ヲ供與シタル行爲トハ相關涉スル所ナケレハ後者ハ前者ノ結果トシテ不問ニ付スヘキモノニ非ス 七・二七九

刑 債務者カ債權者ニ對シテ債務ノ本旨ニ從テ其辨濟ヲ爲シ債權者之ヲ受領スルハ何レモ適法行爲ニシテ毫モ違法性ヲ有スルモノニ非サレハ之ヲ以テ不法ナル利益ノ供與又ハ受領ト爲シ衆議院議員選舉法違反罪ニ問擬スヘキモノニ非ス 七・四四六

刑 甲ニ對シ立替金辨濟ノ義務ヲ負擔セル乙カ選舉ニ際シ該債務ノ本旨ニ從ヒ之カ辨濟ヲ爲シ由テ甲及ヒ其妻丙ノ歡心ヲ得テ選舉運動ニ從事セシメント欲シ其辨濟ヲ爲シタルハ義務ニ屬セサル辨濟ヲ爲シ利益ヲ供與シタルモノト謂フヲ得ス 同上

刑 應援演說又ハ推薦演說ハ一種ノ選舉運動ニ外ナラサレハ其勞務ニ對シテ金錢其ノ他ノ報酬ヲ供與スルハ法第八十七條第一項第一號ニ該當スルモノトス 七・六九三

刑 一定ノ議員候補者ヲ推薦スル爲メノ應援演說ハ之ヲ選舉運動ト稱スルヲ妨ケサルモノトス 四・一四五

刑 苟モ應援演說タル選舉運動ニ關シ報酬トシテ金圓ヲ供與シタル以上ハ其金圓カ運動者ノ家族ノ生活費ニ必要ナル費用ニ供セラルル場合ト雖モ之ヲ違法ノ供與トシテ處罰スヘキモノトス 七・六九三



刑 選舉運動者カ收受シタル金員ノ使用ニ付キ供與者ノ制限ヲ受クルコトナク自由處分ニ委ネラレタルトキハ其一又ハ全部ヲ舉ケテ他ノ選舉運動者ニ對スル報酬ニ供與シタリトスルモ自己ノ用途ニ費消シタルト等シク自己ノ處分權ノ行使ニ外ナラサレハ之ヲ以テ選舉ノ實費ニ充當シタルモノト謂フヲ得ス 七・六三

刑 甲事實ト乙事實トハ犯罪ノ態様ニ受働的ト働的トノ差異アル場合ニ於テモ其行為カ等シク法第八十七條第一項第一號ニ依リ處分スヘキモノニ屬スル以上ハ之ヲ同一罪名ニ該當スル行為ナリト謂フヲ妨ケサルモノトス 七・七三

刑 選舉運動ヲ請負ハシメタル者カ其請負者ニ對シ請負ノ報酬トシテ金錢其他ノ利益ヲ供與スル場合ニ於テ請負ヲ爲サシメタル者ハ右利益供與ニ關シテノミ罪責ヲ負フモノニシテ請負者カ因テ得タル金錢其他ノ利益ヲ他ノ運動者又ハ選舉人ニ供與スルモノ之ニ付キ別ニ責任ヲ負フモノニ非ス 七・一五九C

刑 法第八十七條第一項第二號ニハ選舉ニ關シ酒食遊覽等其方法及ヒ名義ノ何タルヤヲ問ハス人ヲ應接待シタル者トノミアリテ應接待ヲ受ケタル人ノ誰タルヤハ應接者ノ罪ト爲ルヘキ事實ニ何等ノ影響ヲ及ホササルヲ以テ其氏名ヲ一一判文ニ明示セサルモ不法ニ非ス 四〇・二三七二

刑 法第八十七條第一項第二號ニ「人」トアルハ選舉有權者又ハ運動者ノミニ限局スルコトナク汎ク其他ノ人ヲモ包含指稱スルモノト解スルヲ相當トス 元・一九一

刑 法第八十七條第一項第二號ニハ選舉ニ關シ酒食遊覽等其方法及ヒ名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ

應接待シ又ハ應接待ヲ受ケタル者トノミアリテ人ニ付キ別ニ何等ノ制限ナシ從テ何人ト雖選舉ニ關シ右等ノ所爲アリタルトキハ同條項ニ該當スヘキモノニシテ單ニ選舉人ノミニ限ルニ非ス 三三・二一三

刑 法第八十七條第一項第二號ニ所謂應接トハ選舉ニ關シテ飲食物ノ供與ニ因リ他人ヲ歡待スル謂ナレハ選舉運動者ニ對シ其選舉運動ニ付キ必要ナル飲食物ヲ供與スルコトハ同號ノ所謂應接ナル觀念中ニ包含セサルモノトス 元・一九一

刑 衆議院議員候補者タル人ノ依頼ニ因リ選舉有權者等ノ集會ニ於テ之ヲ推選スヘキ旨ヲ演述シ其勞ニ對シテ候補者一派ノ有志者カ供與シタル酒食ノ應接ヲ受ケタルトキハ法第八十七條第一項第二號ニ所謂選舉ニ關シテ應接ヲ受ケタルモノニ該當スルモノトス 同上

刑 選舉運動ノ慰勞ト自己ノ當選ノ祝賀ヲ兼ネ酒宴ヲ設ケ酒食ノ應接ヲ爲シ又其應接ヲ受クルコトハ法第八十七條第一項第二號ニ所謂選舉ニ關シ酒食ヲ以テ人ヲ應接シ又其應接ヲ受クルモノニ外ナラス 二・二六

刑 選舉ニ關シ應接ノ約束ヲ爲シ其實行トシテ應接ヲ爲シタルトキハ之ヲ包括的ニ觀察シ單純ナル應接ノ一罪トシテ處斷スヘキモノニシテ應接ノ約束ト實行トヲ區別シ刑法第五十四條第一項後段ヲ適用スヘキモノニ非ス 二・二四二六

刑 選舉後ニ於テ當選者カ祝意ヲ表スルカ爲メニ選舉人選舉運動者等ニ非サル選舉ニ關係ナキ親族故舊ヲ招請シテ賀筵ヲ張ルカ如キハ選舉ニ關シ人ヲ應接スルモノニ非サレハ犯罪ヲ構成スル



コトナシ 二〇二二

刑 報酬又ハ謝禮ノ意味ヲ有セス單ニ一般社交上ノ禮義ニ從ヒ常食ノ時期ニ相當ノ飲食物ヲ供給スルカ如キハ縱令其被供給者カ選舉運動者ナル場合ト雖モ衆議院議員選舉法違反罪ヲ構成スルモノニ非ス 四〇七六

刑 一家ノ慣例上年年催スヘキ年始ノ祝宴ニ於テ偶々選舉有權者ニ對シ或候補者ヲ選舉センコトヲ勸誘スルカ如キハ衆議院議員選舉法違反罪ヲ構成スルモノニ非ス 四〇八七

刑 法第八十七條第一項第二號第三號ニ直接間接ノ辭句ヲ省略セルハ冒頭第一號ニ之アルカ爲ニ過キサレハ人ヲ介シテ間接ニ同第二號第三號ノ罪ヲ犯ス者ト雖モ直接ニ之ヲ實行スル者ト等シク同法條ノ適用ヲ受クヘキモノトス 四〇九三

刑 選舉運動承諾ノ報酬トシテ故ラニ爲シタル饗應ハ其價額ノ如何ヲ問ハス法第八十七條第一項第二號ニ所謂饗應ニ該當スルモノトス 四一〇七

刑 法第八十七條第一項第二號ニハ選舉ニ關スルコトニ對シテ何等制限ヲ設ケサルヲ以テ同規定中ニハ議員選舉應援ニ關シ饗應ヲケタル場合ヲモ包含スルモノトス 四一〇七

刑 選舉ノ目的ヲ達センカ爲メ人ヲ特ニ招待シ酒食ヲ供與スルカ如キハ膳羞ノ豐菲供與時刻ノ如何ニ拘ハラス法第八十七條第一項第二號ニ所謂饗應ニ該當スルモノトス 四一〇五

刑 投票ヲ勸誘スル目的ヲ以テ選舉人ヲ招請シ之ニ酒食ヲ供スルハ法第八十七條第一項第二號ニ所謂選舉ニ關シテ他人ヲ饗應スルモノニ外ナラス其供與シタル酒食ノ價額ノ多少又ハ其時刻ノ

常食時ナルト否等ノ事實ハ饗應ノ意義ニ變更ヲ來スコトナシ 四一〇九

刑 選舉運動者カ自己ノ推薦スル議員候補者ヲ援助スル意思アル者ニ對シ一層其意思ヲ鞏固ナラシムル爲メ候補者ヲ紹介シテ酒食ヲ饗應シ相手方ニ於テ情ヲ知テ之ヲ受ケタルトキハ其受養者

ハ同法ノ選舉運動者ニ該當シ其饗應ハ選舉運動ノ報酬タル性質ヲ有スルヲ以テ受養者ノ行爲ハ法第八十七條第一項第二號ノ犯罪ヲ構成スルモノトス 四一三六

刑 食事ノ供與カ選舉ニ關スル報酬謝禮ノ意ニ出テタルモノナリヤ將タ社交上ノ禮義ニ屬スルヤハ其被供與者カ選舉有權者タルト選舉運動者タルトヲ問ハス專ラ食事ノ價額供與ノ時刻其他ノ

事情ニ依リテ判定スヘキモノトス 四一五五

刑 選舉運動者ニ供シタル飲食物若クハ其相當代金カ適度ナルトキハ選舉法違反タラスト雖モ其適度ナルヤ否ヤハ運動者各自固有ノ地位境遇ノミニ著眼シテ之ヲ決スヘキモノニ非ス特別ノ事

情ナキ限リ其地方ニ於ケル普通一般人ニ適度ナリト謂フヘキ程度ノモノナリヤ否ヤニ依リテ之ヲ決スヘキモノトス 四一六四

刑 議員候補者ノ信用ヲ維持シ投票ノ減少ヲ免ルル目的ヲ以テ不利益ナル新聞記事ノ掲載ヲ中止セシムル爲メ饗應ヲ爲スカ如キハ法第八十七條第一項第二號ノ罪ヲ構成スルモノトス 四一九四

刑 苟モ議員ノ當選ヲ期待スル目的ヲ以テ有權者ニ食膳ノ供與ヲ爲スニ於テ其ノ代金額ノ多寡如何ニ拘ハラス之ヲ以テ饗應ト云フニ妨ナキモノトス 六一〇七

刑 社交上ノ禮義ニ非スシテ衆議院議員候補者ニ投票セシムルノ目的ヲ以テ爲シタル酒食ノ饗應



ハ其價額ノ如何ニ關セス法第八十七條第一項第二號ニ所謂養應ニ該當スルモノトス 四〇九七五  
刑 苟モ選舉ニ關シ選舉運動者ニ於テ養應行為アリタル以上ハ之カ供與ヲ受ケタル者ニ於テ其事  
實ヲ知リタルト否トヲ問ハス選舉運動者ニ對シ其犯罪ヲ構成スルモノトス 六〇一〇〇七

刑 法第八十七條第一項第二號ノ罪ハ選舉ニ關シ投票又ハ運動ノ勞ニ酬ユル趣旨ヲ以テ選舉會場  
等ニ往復スル爲メニ船車馬ノ類ヲ供給シ又ハ之ヲ受クルニ因リテ成立スルモノニシテ選舉ニ關  
スル報酬、謝禮ノ關係ナキトキハ縱令選舉會場ニ往復スル爲メニ如上ノ供給ヲ爲スモ該犯罪ヲ  
構成スヘキモノニ非ス 六〇二二六

刑 法第八十七條第一項第三號ニ所謂利害關係ニ付テハ何等ノ制限ナケレハ苟モ選舉ニ關シ選舉  
人又ハ其關係アル市町村等ニ對スル利害關係ヲ利用シ以テ選舉人ヲ誘導シ又ハ其誘導ニ應ジタ  
ル事實アル以上ハ其利害關係ノ何タルヲ問ハス同條同號ノ罪ヲ構成スルモノトス 四〇九六六

刑 法第八十七條第一項第三號末文ニハ單ニ其他利害ノ關係トノミ規定シアリテ其利害ノ關係ニ  
付キ何等ノ制限ヲ設ケザルヲ以テ苟モ選舉ニ關シ選舉人ノ利害ニ關スルモノハ其何タルヲ問ハ  
ス總テ之ヲ包含スルモノト解スルヲ相當トス 元〇三三一

刑 債務者カ任意ノ履行ヲ爲スト否トハ債權者ノ利害ニ關スルコト尠ナカラサルカ故ニスル關係  
ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル行為ハ法第八十七條第一項第三號ニ該當スルモノトス 四〇三四五  
刑 單一ノ行為ヲ以テ數人ノ有選舉權者ヲ誘導シタル場合ニ在リテハ單一罪ヲ構成スルモノニア  
ラスシテ一ノ行為ニシテ數箇ノ罪名ニ觸ルルモノトス 四〇三四五

刑 法第八十七條第一項第三號ノ規定ニ違背シ單一ノ行為ヲ以テ同時同所ニ於テ二名ノ選舉權ヲ  
有スル者ヲ誘導シタル場合ハ單一ノ犯罪ヲ構成スルモノニ非ス一行爲ニシテ數箇ノ罪名ニ觸ル  
ルモノナリトス 元〇三三一

刑 法第八十七條第三號及ヒ第八十八條第三號ニ所謂利害關係トハ一般的ニアラスシテ特殊ナル  
利害關係ヲ指稱セルモノトス而シテ其關係カ特殊ナル以上ハ現ニ存在スルモノニ限ラス確實  
ニ其發生ヲ豫見シ得ヘキ將來ノ利害關係ヲモ包含セルモノト解スルヲ相當トス 五〇八

刑 選舉ニ關シ一般ノ交通問題ニ付キ意見ヲ發表スルハ格別主トシテ特定ノ市町村ニ關係アル特  
定ノ里道ヲ郡道ト爲スコトニ付キ從來其意見ニ依リ事實上盡力シタル結果該道路ノ開通遂行セ  
ラレントスル狀況ニ在リトスルモ選舉ノ際其市町村ニ於ケル選舉人ニ對シ同問題ニ關シテ尙ホ  
盡力スヘキニ付キ自己ニ投票アリタキ旨ヲ以テ其贊同ヲ求ムルハ法第八十七條第一項第三號ノ  
誘導行為ニ外ナラス 五〇一四〇

刑 法第八十七條第一項第三號ハ他人ヲ介シテ間接ニ選舉ニ關シ同號所定ノ手段ニ依リ選舉人ヲ  
誘導シタル場合ヲモ包含スルモノトス 五〇七五

刑 苟モ選舉人ノ關係アル市町村等ノ爲メ既ニ生シ又ハ生シ得ヘキ特殊ノ利害關係ヲ利用シテ選  
舉人ヲ誘導シタルトキハ法第八十七條第一項第三號ノ違犯者トシテ之ヲ處罰スヘタ其利害問題  
カ市町村等ノミノ利害ニ止マラス延テ公共ノ利益ニ影響ヲ及ホスノ故ヲ以テ之ヲ不問ニ付スヘ  
キモノニ非ス 六〇七六五



刑 苟モ選舉ニ關シ選舉人ノ利害關係ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導シタル以上ハ誘導ノ際既ニ候補者ノ確定シタルト否トヲ問ハス法第八十七條第一項第三號ノ犯罪ヲ構成スルモノトス 六・八五二

刑 法第八十七條ノ罪ノ成立スルニハ選舉ニ關シ利害關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル事實アルヲ以テ足り特定ノ候補者ヲ選舉スヘキ旨ノ誘導ヲ爲シタルコトヲ必要トセス 四・六九〇

刑 道路築港鐵道問題ノ解決カ一定ノ選舉人又ハ其關係アル市町村等ニ一般利害ノ外尙ホ特別ノ利害ヲ及ホスヘキ場合ニ於テ之ヲ利用シ選舉人ヲ誘導スルハ法第八十七條第一項第三號ノ罪ヲ構成スルモノトス 六・八九八

刑 既往ノ利害關係ハ法第八十七條第三號ニ該當セサルハ勿論單ニ既往ニ於テ表示シタル好意ヲ利用シ選舉ニ關シ選舉人ヲ誘導スルコトアルモ之ニ依リ現在若クハ將來ノ利害關係ニ何等交渉ヲ生セサル場合ニ於テハ同條ニ所謂利害關係ヲ利用シタルモノト云フヲ得ス 六・二〇四六

刑 法第八十七條第二項ノ追徴ハ本刑ニ附隨セル一種ノ懲罰ナルヲ以テ苟モ同條ノ罪ヲ犯シ給與ノ金圓ヲ費用シタル以上ハ此ノ處分ヲ受クヘキモノトス而シテ其費用シタル金圓ノ出所如何ハ之ヲ問フノ要ナシ 三七・一五七八

刑 衆議院議員選舉人カ數名共同シテ選舉ニ關シ金錢ヲ收受シタルトキハ各犯人ニ對シ其費用金額ヲ平等ニ分割シテ之ヲ追徴スヘキモノトス從テ被告等各自ニ對シ消費金額全部ノ追徴ヲ命ジタル判決ハ不法ナリ 四三・二八七

刑 法第八十七條第二項ノ沒收又ハ追徴ハ一ノ處罰ナルヲ以テ共犯者ノ一人ニ科シタル沒收又ハ追徴ノ金額ハ他ノ共犯者ニ科スヘキ追徴若クハ沒收金ヨリ之ヲ控除スヘキモノニ非ス 同上

刑 選舉ニ關シ數名ノ選舉運動者カ共謀シテ一團トナリ金員物品ノ供與ヲ受ケタル場合ニ於テハ該團體中ノ共犯者ハ各自カ分配ニ因リテ實際ニ受ケタル金品ノ多寡如何ヲ問ハス團體ノ收受シタル金品ノ全部ニ付キ各平等ノ割合ヲ以テ共同シテ其追徴ニ應スル責任ヲ負フヘキモノトス 四三・五三三

刑 法第八十七條第一項第二號ニ該當スル響應ヲ受ケタル者ハ即チ同條第二項ニ所謂物件ヲ收受シ之ヲ費用シタルモノト認メ得ヘキヲ以テ該酒食ノ價ハ之ヲ追徴スヘキモノトス 四・九七五

刑 響應ノ物品ノ數量又ハ價格ヲ算定スルニ付テハ響應者ノ提供シタル飲食物ノ數量又ハ價格ニ依ルヘキモノニシテ被響應者カ現實ニ飲食シタル數量又ハ價格ニ依ルヘキモノニ非ス 四・一〇〇七

刑 法ニ於ケル沒收及ヒ追徴ハ犯人ヲシテ不法ノ利益ヲ享受セシメサルコトヲ以テ目的ト爲スモノナレハ犯人カ包括的ニ給付ヲ受ケタル金員中不法ノ性質ヲ有セサル部分アルトキハ之ヲ控除シタル殘額ノミヲ沒收スヘキモノトス 四・二二六

刑 法第八十七條第一項ノ犯罪ニ關シ沒收ノ言渡ヲ爲スニハ同條第二項ノ規定ニ依ルヘキモノニシテ刑法第十九條ニ依ルヘキモノニ非ス 四・一五八一

刑 法第八十七條第二項ノ沒收ノ言渡ハ物件ノ收受者ニ對シテノミ之ヲ爲スヘク物件ノ供與ヲ爲シ若クハ供與センコトヲ申込ミ又ハ其申込ヲ承諾シタル者ニ對シテ爲スヘキモノニ非ス 同上

刑 法第八十七條第二項ニ沒收ニ關スル特別規定ニシテ金錢供與者、周旋勸誘者及ヒ其供與收受



者ハ性質上共犯關係ヲ有スレトモ其供與收受ノ目的タル金錢ハ收受者ヨリ之ヲ沒收スヘキコトヲ定メタルモノトス 二〇六六

刑 法第八十七條第二項ノ沒收ハ同條第一項揭示ノ物件ヲ收受シタル者ニ對シテノミ科スヘキモノトス 四〇四二

刑 沒收又ハ追徴ハ不法ニ收受シタル物ニ付テノミ之ヲ爲スヘキモノナレハ或物ノ中ニ斯ノ如キ性質ヲ有スル部分ト然ラサル部分トヲ包含スルコト明カニシテ而モ二者ヲ分別スルコト能ハサル場合ニ於テハ全然沒收又ハ追徴ヲ爲シ得ヘカラサルモノトス 四〇六五

刑 選舉ニ關シ選舉人又ハ選舉運動者カ債務ノ免除ヲ受ケタル場合ノ如キハ收受セル物件ナキカ故ニ其價ヲ追徴スルコトヲ得サルモノトス 四〇八六

刑 金錢ハ之ヲ兩替スルモ其性質ヲ變更スヘキモノニ非サレハ供與ニ係ル十圓札二枚ヲ兩替シタル一圓札二十枚ヲ沒收スルハ不法ニ非ス 七二四

刑 沒收又ハ追徴ヲ爲スヘキ不法利益ノ存否ハ各犯人ニ付キ觀察スヘキモノナレハ選舉運動ノ請負カ重複シテ累行セラレタル場合ニ於テ第一次ノ請負者ノ收受シタル報酬金ノ一部カ第二次ノ請負者ノ報酬トシテ供與セラレタルトキハ右一部ノ金圓ハ第一次請負者ノ利益ニ於テ費用セラレタルモノニ係ルヲ以テ他ノ收受金圓ノ沒收ト共ニ追徴スヘキモノトス 七〇七三

刑 衆議院議員選舉ニ關シ一席ニ於テ數名ヲ響應シタル所爲ハ響應ヲ受ケタル方面ヨリ觀察スレハ各自ニ一罪ヲ構成スヘキモ響應ヲ爲シタル者ハ單ニ一罪ヲ構成スルニ止マリ數罪ヲ構成スヘ

キモノニ非ス 三三・二ノ三三

刑 同一ノ金錢ニ關シ被告人カ名ヲ選舉運動費用ニ藉リ議員候補者ヲ欺罔シ之ヲ騙取シタリトスル詐欺罪ノ公訴ト被告人カ之ヲ騙取シタルニ非スシテ議員候補者ノ爲ニ投票ヲ得ル目的ヲ以テ之ヲ他ノ選舉運動者ニ供與シタリトスル衆議院議員選舉法違反ノ公訴トハ同一被告事件ニ非ス 二〇八三

刑 法第八十七條第一項各號ハ何レモ選舉ノ公正ヲ害スル同一性質ノ犯罪行爲ニシテ單ニ其ノ態様ヲ異ニスルニ過キササルヲ以テ連續シテ其ノ二個以上ノ號ニ該當スル行爲ヲ爲シタルトキハ刑法第五十五條ニ依リ一個ノ同條項ノ罪トシテ處斷スヘキモノトス 一三五九

刑 投票ヲ得ル目的ヲ以テ議員候補者又ハ選舉運動者カ多數ノ選舉人又ハ選舉運動者カ同一時及場所ニ於テ酒食其ノ他ノ方法ヲ以テ響應接待シタル行爲ハ包括的一罪ヲ以テ論スヘク刑法第五十四條ニ所謂一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸ルル場合ニ該當セス 一四二七

刑 選舉ニ關シ委託ヲ受ケテ運動ヲ爲ス者ハ勿論自發ノ意思ヲ以テ運動ヲ爲ス者モ亦運動者ナリ 二〇二〇

刑 法第八十七條ノ選舉運動者トハ現ニ選舉運動ニ從事スル者ニ限ラス選舉運動者タルコトヲ承諾シタル者ヲモ包含スルモノトス 一三三〇

刑 選舉ニ際シ特定ノ議員候補者ノ爲ニスルモノハ論無ク將來特定セラルヘキ候補者ノ爲ニ投票セシムル目的ヲ以テ運動ニ從事スル者ハ皆選舉運動者ト認ムヘキモノトス 一三三九



刑 選舉ニ際シテ立候補ノ意思ヲ有シ且他人ヨリ議員候補者トシテ推薦セラレタル者ノ如キハ法ニ所謂議員候補者中ニ包含スルモノトス 一〇・五九七

刑 議員候補者タルニハ立候補ノ意思ヲ外部ニ發表スルヲ以テ足り必シモ選舉人ニ對シ言論文章等ヲ以テ之ヲ公表スルコトヲ要セス又他人ヨリ候補者トシテ推薦セラレタル者ニ限ラス有權者ノ訪問ヲ爲シ自己ニ投票センコトヲ求ムル者モ亦候補者ト謂ハサルヘカラス 一三・三〇

刑 議員候補者タルニハ選舉ニ因リ議員タラント欲スル者カ其ノ意思ヲ外部ニ發表スルヲ以テ足り必シモ不定多數人ニ對シ其ノ意思ヲ發表スルノ要ナキモノトス 一四・五二

刑 法第八十七條第一項第一號ニ所謂金錢ノ供與トハ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ選舉ニ關スル報酬トシテ金錢ヲ給付スルノ謂ニシテ此等ノ者カ同法違反ノ罪ニ問ハレ判決確定ノ後罰金ヲ納付スルニ際シ又ハ之ヲ納付シタル後選舉ニ些ノ關係ナク親戚故舊等ヨリ金錢ヲ給付シ又ハ不幸災難等ニ遭遇シタル場合ニ於テ慰藉料ヲ與フルカ如キヲ包含セサルモノトス 八・二六〇

刑 法第八十七條第一項第一號ニ規定セル財産上ノ利益供與ノ中ニハ選舉運動者カ議員候補者ノ爲ニ投票ヲ爲サシムル目的ヲ以テ選舉人ニ對シ金錢ヲ貸與スル行爲ヲ包含ス 一三・四八七

刑 議員候補者ノ投票取得ヲ妨害スヘキ行爲ヲ排除スル爲夜警ヲ爲スカ如キハ一種ノ選舉運動ナリトス 一三・九一八

刑 法ノ罰則ニ所謂金錢ノ供與トハ出金者ノ何人タルヲ問ハス事實上 錢ヲ給付スル總テノ行爲ヲ包含スルモノニシテ他ヨリ特定ノ選舉運動者ニ金錢ヲ給付スルコトヲ委託セラレ之ヲ受領シ

テ其ノ者ニ給付スルハ金錢ノ供與ニ外ナラス 一四・二六

刑 議員候補者 ハ選舉運動者カ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シテ爲シタル響應カ投票其ノ他選舉ニ關スル運動ノ報酬タルトキハ法第八十七條第二號又ハ第七號ノ罪ヲ構成ス 二・二八七

刑 響應カ單ニ社交上ノ好意ヲ表スルニ過キサルトキハ同法條ノ罪ヲ構成セス 二・二八七

刑 響應カ其ノ何レニ屬スルヤハ響應ノ性質及候補者又ハ運動者ノ意思如何ニ依リ定ルモノトス 二・二八七

刑 選舉運動者ニ對シテ報酬又ハ謝禮ノ意味ヲ有セス單ニ常食時ニ於テ一般社交上ノ儀禮ニ超越セサル程度ノ飲食物ヲ供スルハ法第八十七條第一項第二號ニ所謂響應接待ニ該當セス 一四・三五

刑 選舉運動者カ特ニ議員候補者ノ爲投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ選舉人ヲ招請シ之ニ飲食物ヲ供スル場合ハ其ノ供與シタル飲食物ノ價格ノ多少又其ノ時刻ノ常食時タルト否トヲ問ハス法第八十七條第一項第二號ニ所謂響應接待ニ該當ス 一四・三五

刑 第八十七條第一項第四號ハ被誘導者ノ關係アル團體ノ種類ヲ限定シタルモノニ非スシテ單ニ之ヲ例示シタルニ過キササルヲ以テ必スシモ其團體カ財産ノ主體タルヘキ公法人タルヲ要スルモノト解スヘカラサルモノトス 九・七九

刑 河川沿岸ノ町村住民ハ河川改修水害防止ニ付キ直接ノ利害關係ヲ有スルヲ以テ衆議院議員選舉ニ關シ選舉運動者カ特定ノ河川ニ付キ沿岸町村ノ選舉人ニ對シテ其河川ノ改修事業ノ完成ニ便ナル旨ヲ以テ特定ノ議員候補者ヲ推薦スルカ如キハ一地方ニ特殊ナル利害關係ヲ利用シテ該



地方ノ選舉人ヲ誘導スルモノニ外ナラサルヲ以テ該行爲ハ法第八十七條第四號第五號ニ該當スルモノト謂フヘク河川ノ改修カ其ノ性質國家ノ利害ニ關スルモ如上犯罪ノ成否ニ影響ナキモノトス 一〇・四三

刑 選舉ニ關シ利害關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導スル罪ノ成立ニハ利害關係カ現在ノモノタルト將來ノモノタルトヲ問ハス又利害關係ノ發生カ未然ノモノタルト確定ノモノタルトヲ區別スルコトナシ 二〇・二六〇

刑 議員候補者又ハ選舉運動員カ一般の利害問題ニ關シ公然其ノ政見ヲ發表シ之ニ贊同スル選舉人ノ投票ヲ求ムルカ如キハ固ヨリ適法ナルモ自己ノ爲ニ投票ヲ得ル目的ヲ以テ是等ノ者カ該問題ニ付選舉人若ハ選舉運動者ノ有スル特殊ノ利害關係ヲ利用シ之ヲ誘導スヘキ言論ヲ爲スカ如キハ之ヲ以テ適法ナル政見發表ト謂フヘカラス 二〇・六九二

刑 法第八十七條第一項第四號ニ所謂利害ノ關係トハ選舉人若ハ選舉運動者又ハ此等ノ者ノ關係アル社會學校市町村等ニ對シ特殊ノ影響ヲ及ホスヘキ利害關係ノ謂ニシテ其ノ關係カ私法的ノモノタルト公法的ノモノタルトヲ問ハス又社會學校市町村等ニ對スルノミナラス延テ一般のニ影響ヲ及ホスト否トヲ論スルヲ要セス 一三・四一

刑 衆議院議員候補者カ投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ主義政見ヲ發表スル場合ニ其ノ事項カ之ヲ客觀的ニ觀察シ主トシテ國家ノ政策ニ關スルモノナルトキハ假令延テ地方ノ利害ニ影響ヲ及ホスコトアリトスルモ選舉法違反ヲ以テ問擬スヘキモノニ非ス之ニ反シテ其ノ事項カ主トシテ地方的

利害ニ關スルモノナルトキハ假令延テ國家全般ノ利害ニ多少ノ影響ヲ及ホスコトアリトスルモ選舉法違反ヲ以テ處罰スヘキモノトス 一三・八二二

刑 法第八十七條第一項第四號ニ所謂利害關係ハ其ノ利害カ私的性質ヲ有スルト公的性質ヲ有スルトヲ問ハス又其ノ關係事項カ現在ノモノナルコトヲ要セス將來ノモノト雖其ノ發生ノ可能性ヲ有スレハ足ルモノトス 一四・六五

刑 或鐵道ノ敷設カ國家交通政策ノ一端ニ屬シ其ノ速成ニ依リテ多少一般交通上ニ利スル所アルモ之カ爲ニ主トシテ利害ヲ感スルモノハ特定ノ一地方ナル場合ニ於テ衆議院議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ其ノ地方ノ選舉人及選舉運動者ニ對シ當選ノ上ハ右鐵道ノ速成ニ努力スヘキ旨ヲ告ケテ投票ヲ求メ選舉運動ヲ依頼シタルトキハ法第八十七條第一項第四號ニ所謂利害關係ヲ利用シテ誘導シタルモノニ該當ス 一四・二〇四

刑 衆議院議員候補者カ一場ノ演說ニ依リ同時ニ多數ノ選舉人及選舉運動者ニ對シ法第八十七條第一項第四號ノ誘導ヲ爲シタルトキハ之ヲ包括シ一罪トシテ處斷スヘク一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸ルルモノトシテ處斷スヘキモノニ非ス 一四・二〇四

刑 法第八十七條第一項第四號ノ議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ誘導ノ爲利用スル利害ノ關係タルニハ議員候補者ニ於テ其ノ利害ニ付直接ニ當事者トシテ關係ヲ有スルコトヲ要セス又議員候補者自身カ其ノ關係事項ノ内容ヲ實現シ得ルコトヲ要セサル

モノトス 一四・四三三



刑 法第八十七條第五號ト其前ノ各號トハ措辭ノ方法ヲ異ニスルモ其旨趣ニ於テハ同一ニシテ獨  
リ選舉有權者ニ對スルノミナラス廣ク選舉人ヲシテ議員候補者ニ投票ヲ爲サシムルニ至ルヘキ  
行爲ヲ爲ス者ニ對スル場合ヲモ包含セシメタルモノト認ムルヲ相當トス 九・七七

刑 法第八十七條第一項第五號ノ誘導罪ハ新聞紙ノ記事ニ依リテ之ヲ行フ場合ニ於テハ當該新聞  
紙ヲ選舉人ニ到達セシムルニ因リテ成立シ選舉人カ現ニ之ヲ讀ミ且諒解シタルコトヲ要スルモ  
ノニ非ス 一三・九二

刑 選舉運動者カ選舉ニ際シ選舉人ニ對シ其ノ特殊ノ利害關係ヲ有スル或事業ヲ完成スルニハ某  
政黨ニ入黨シ其ノ政黨所屬議員候補者ヲ選出スルヲ得策トスル旨ヲ告ケテ之ヲ誘導シテ後ニ某  
政黨所屬議員候補者ノ定マリタルトキハ選舉運動者ノ行爲ハ法第八十七條第一項第五號ニ該當  
スルモノトス 一三・三九二

刑 選舉運動者カ候補者ノ爲投票ヲ得セシムル目的ニテ仲介者ヲ經テ一有權者ニ付拾圓宛ヲ供與  
スヘキ旨ヲ約束シタルトキハ法第八十七條第一項第五號第一號ノ犯罪ハ成立スヘク其ノ後ニ至  
リ該約束ヲ取消スモ之カ爲ニ犯罪ノ成立ヲ阻却セス 一三・六〇六

刑 選舉運動者カ選舉人ニ對シ議員候補者ノ爲投票ヲ爲サシムル目的ヲ以テ立候補宣言演說會ニ  
來聽セル選舉人ノ爲ニ宿泊料ヲ代辨シタル行爲ハ法第八十七條第五號ノ利益ノ供與ニ該當ス  
一三・六四二

刑 法第八十七條第一項第五號ニ規定スル選舉運動者ノ誘導ノ罪ハ投票ヲ得ル目的ヲ以テ其ノ誘

導ヲ爲スニ因リ成立シ苟モ投票ヲ得ル目的ニ出ツル以上ハ選舉有效者ヲシテ先ツ或政黨ニ加入  
セシメ然ル後政黨所屬ノ議員候補者ニ投票セシムルト若ハ之ヲシテ直ニ其ノ議員候補者ニ投票  
セシムルトハ犯罪ノ成否ニ消長ナキモノトス 一三・七五五

刑 選舉運動者カ議員候補者ノ爲ニ投票ヲ得ル目的ヲ以テ他ノ選舉運動者ニ對シ實費ト報酬トヲ  
分別スルコトヲ包括シテ金錢ヲ供與シタル場合ニ於テ裁判所カ其ノ罪ヲ斷スルニ當リ實費ト  
シテ現ニ支出シタル額ヲ確定セサルモ不法ニ非ス 一四・二四〇

刑 選舉運動者カ議員候補者ノ爲ニ投票ヲ爲サシムル目的ヲ以テ他人ニ對シ選舉人ニ米ヲ供與ス  
ヘキ申込ヲ爲スコトヲ依頼シタル場合ニ其ノ者カ辨當代ヲ供與スヘキ申込ヲ爲シタリトスルモ  
法第八十七條第一項第五號ノ適用上選舉運動者ハ選舉人ニ財産上利益供與ノ申込ヲ爲シタルモ  
ノニ外ナラス 一四・五五五

刑 法第八十七條第七號ト第五號トハ何レモ同一法條ニ於テ全然罪質及刑罰ヲ同シクスル犯罪ヲ  
認ムルモノニシテ何レヲ適用スルモ法律上ノ關係ヲ異ニスルモノニ非ス 九・四八五

刑 法第八十七條第一項第五號ト第七號トハ等シク同一條項ノ下ニ於テ同一刑罰ヲ以テ處斷スヘ  
キ行爲ニ關スル規定ナレハ第五號ヲ適用スヘキ場合ニ誤リテ第七號ヲ適用シタルトスルモ其ノ  
結果ハ同一ノ處斷ニ歸スルヲ以テ擬律錯誤ノ違法アリト謂フヲ得サルモノトス 九・八三〇

刑 法第八十七條第一項第七號ハ過去ニ於ケル行爲又ハ不行爲ノ報酬ト爲ス目的ヲ以テシタル場  
合ニ關スル規定ナリ 一三・六三五



刑 議員候補者又ハ選舉運動者カ議員候補者ニ候補者タルコトヲ止メタル者ニ對シ其ノ報酬トシテ金圓ヲ供與シタル行爲ハ法第八十七條第一項第七號ニ該當スルモノトス同上議員候補者カ選舉運動ニ要シタル費用ノ補填トシテ金圓ノ供與ヲ受タルハ同條項第一號ノ利益ヲ受ケタルモノニ該當ス 一三〇九

刑 選舉人カ議員候補者ノ推薦詮衡ニ要シタル實費ト雖選舉運動者カ議員候補者ノ爲ニ投票ヲ爲サシムル目的ヲ以テ選舉人ノ爲其ノ實費ヲ支辨シ選舉人ニ於テ其ノ情ヲ知リナカラ支辨ニ因リテ利益ヲ受ケタルトキハ法第八十七條第一項第八號ノ犯罪ヲ構成ス 一四〇九

刑 第八十七條第二項ニ所謂費用トハ其收受シタル物件カ給付其他ノ行爲ニ依リ犯人ノ手裡ニ現存セサルコトヲ指稱スルモノニシテ犯人カ自己ノ利益ノ爲メ之ヲ處分シタルト否トヲ問ハサルモノトス 八二六〇

刑 選舉ニ關シ選舉人又ハ選舉運動者ニ財物ヲ供與スヘキ旨ノ負擔附ニテ財物ノ供與ヲ受ケタル者カ其ノ負擔ノ趣旨ニ從テ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シタル場合ニ於テ後ノ供與ヲ受ケタル者ヨリ沒收又ハ追徴ヲ爲スヘキトキハ其ノ部分ニ付テハ前ノ供與ヲ受ケタル者ヨリ追徴スヘキモノニ非ス 一三六六

刑 數人ノ選舉運動者カ共謀シテ選舉ニ關シ他ノ選舉運動者ニ金錢ノ供與ヲ爲シ其ノ後之ヲ受ケタル者カ供與者ノ一人ニ之ヲ返還シタル場合ニ於テハ返還ヲ受ケタル供與者ヨリ之ヲ沒收シ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ者ヨリ之カ價額ヲ追徴スヘキモノトス 一三六八

刑 選舉運動者カ選舉ニ關シ其ノ運動實費及報酬トシテ包括的ニ一定ノ金額ノ供與ヲ受ケタル場合ニ於テ兩者ノ割合ノ定ナカリシトキハ受領金額全部ヲ沒收又ハ追徴スヘキモノトス 一三七七  
刑 議員候補者ヲシテ其ノ議員候補ヲ止メシムル目的ヲ以テ公ノ職務ヲ供與スルコトヲ申込ミタル場合ニ於テハ申込者ニ授與ノ權限アルト否トヲ問ハス全然不能ニ非サル限ハ法第八十七條第一項ノ職務供與申込罪ヲ構成ス 一五三三

第一百十二條

第一百十三條

第一百十四條

第一百五條 舊第八十八條

刑 法第八十八條第一項ノ拐引罪ハ選舉ニ際シ選舉人ヲ誑惑シテ其現在地ヨリ他所ニ誘引スルニ因リテ成立スルモノニシテ其自由意思ヲ羈束シテ同行ヲ強要シ又ハ選舉權ノ行使ヲ妨害スルコトハ同罪ノ構成要件ニ非ス 四五〇四

刑 衆議院議員選舉法ニ所謂脅迫トハ人ヲ畏怖セシメテ其自由ヲ抑壓スル目的ヲ以テ之ニ對シ害惡ヲ到來セシムヘキ旨ノ通告ヲ爲ス行爲ヲ指スモノトス 四〇五三

刑 一箇ノ行爲ヲ以テ數人ノ選舉人ニ對シ衆議院議員選舉法第八十八條第三項所定ノ威逼ヲ加ヘタル所爲ニ對シテハ刑法第五十四條第一項ヲ適用スヘキモノトス 四〇四四

刑 法第八十七條第三號及第八十八條第三號ニ所謂利害關係トハ一般的ニ非スシテ特殊ナル利害



關係ヲ指稱セルモノトス而シテ其關係カ特殊的ナル以上ハ現ニ存在スルモノニ限ラス確實ニ其發生ヲ豫見シ得ヘキ將來ノ利害關係ヲモ包含セルモノト解スルヲ相當トス 五・八八

刑 虚偽ノ事實ニ依リテ債權關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼シテ投票ヲ爲サシメタル場合ニハ法第八十八條第三號ヲ適用スルヲ相當トス 七・三三

刑 地方ノ住民團體間ニ於テ行ハル個人ノ日常生活ニ苦痛ヲ與フヘキ絶交(村外シノ類)ノ如キハ法第八十八條第一項第三號ニ所謂選舉人ヲ威逼スヘキ利害關係ノ一種ナリトス 六・八三

刑 選舉ニ際シテ立候補ノ意思ヲ有シ且他人ヨリ議員候補者トシテ推薦セラレタル者ノ如キハ衆議院議員選舉法ニ所謂議員候補者中ニ包含ス 一〇・二五七

刑 衆議院議員ノ選舉ニ際シ運動者カ劇場ヲ借受ケ候補者ノ政見發表及其應援ノ演說會ヲ開催セントスルニ當リ之ヲ妨害センカ爲メ右運動者ヲ欺キ其者ヨリ劇場ノ開放ニ要スル鍵ヲ受取り之ヲ適當ノ時期ニ返還セスシテ遂ニ豫定ノ開催ヲ不能ナラシムルカ如キハ法第八十八條第二號ニ所謂選舉運動ヲ妨害シタルモノニシテ又其手段ハ詐欺ヲ用ヒタルモノナリトス 九・七六

刑 法第八十八條第三號ハ社寺、學校、會社、組合、市町村ト同視スヘキ事情ノ存スル公私ノ營造物又ハ團體等ヲ包含スル趣旨ナリトス 九・一

刑 衆議院議員選舉法第九十二條第一項第八十八條第一號ノ犯罪ノ成立要素タル暴行脅迫ハ他ノ罪名ニ觸レサル程度ノモノタルヲ以テ足り其ノ暴行脅迫ニシテ他ノ罪名ニ觸ルル場合ニ於テハ其ノ行爲ハ一面右犯罪ヲ成立セシムルト同時ニ他ノ罪名ニ觸ルルモノトス 一三・四六三

刑 法第八十八條第一號ハ選舉ニ際シ投票又ハ選舉運動ニ基因シテ選舉人選舉運動者又ハ議員候補者ニ對シ暴行ヲ加フルニ於テハ投票ヲ得ルノ目的ノ有無及選舉運動ヲ阻止妨害シタルト否トニ拘ラス之ヲ處罰スル趣旨ナリトス 一三・八六〇

刑 村ノ區長タル者カ區民タル選舉人ニ對シ其ノ推薦スル議員候補者ニ投票セサルニ於テハ村刻ノ扱ヲ受クルニ至ラシムヘシト通告スルハ衆議院議員選舉法第八十八條ニ所謂利害關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼スルモノニ該當ス 一三・三三九

刑 衆議院議員選舉法第八十八條第三號ノ選舉人ヲ威逼シトアルハ選舉人ニ不安ノ念ヲ懷カシムヘキ行爲ヲ爲スノ謂ニシテ現ニ不安ノ念ヲ懷カシメタルコトヲ必要トスルモノニ非ス 一三・三三三

三九

第一百十六條 舊第八十九條

刑 法第八十九條ハ選舉事務ニ關係ヲ有スル者カ開票以前ニ投票セラレタル被選舉人ノ氏名ヲ表示スル所爲ヲ禁止スル趣旨ナリトス 六・一四六

第一百十八條 舊第九十條

刑 法第九十條第一項後段ハ投票ノ前後ヲ問ハス投票所又ハ開票所ニ於テ適法ナル開披アルニ至ル迄ノ間ニ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ總テ之ヲ處罰スルノ法意ナリトス 四・一九七

刑 他人ニ依頼シ選舉人ヲシテ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記シ之ヲ折り疊マス立會人ノ前ニ持



行キ認知セシメタル者及依頼ノ趣旨ヲ選舉人ニ傳ヘ選舉人ヲシテ右ノ行爲ニ出テシメタル者ハ皆、法第九十條ノ投票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ニ該當ス 七・九三四

刑 法第九十條第一項ニハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者トアリ之ニ依リ開票前ニ被選舉人ノ氏名ヲ認知シタル事實アルヲ必要トスル趣意ノ見ルヘキモノナキヲ以テ選舉長タル被告カ或投票紙ノ一端ニ朱肉又ハ墨肉ヲ以テ指紋ヲ附シ被選舉人ノ氏名ヲ認知シタル以上ハ其認知ノ時期及ヒ場所カ右方法施行ノ時期及場所ト全然同一ナルト否トヲ問ハス總テ選舉ニ關スル犯罪行爲トシテ之ヲ處罰スヘキモノトス 九・六六七

刑 投票所ニ於テ選舉人ノ爲ニ代筆シテ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載スル行爲ハ法第九十條第一項ノ投票不正關涉ノ罪名ニ觸ルルモノトス 二・六六六

第一百十九條 舊第九十一條

刑 改正前ノ法第九十一條第一項ニ規定スル選舉會場投票所若クハ開票所ヲ騷擾スル罪ハ一人若クハ數人カ所定ノ場所ニ於ケル靜謐狀態ヲ攪亂シ選舉會又ハ投票若クハ開票ノ平穩ニ施行セラシムルコトヲ妨礙スルニ因リ成立シ多衆ノ參加ヲ必要トセス而シテ多衆集合シ前掲ノ罪ヲ犯シタルトキハ同條第二項ノ罪ヲ構成スルモノトス 九・二七七

第一百二十條 舊第九十二條

刑 法第九十二條ノ罰則ハ選舉ノ執行ニ影響ヲ及ホスヘキコトヲ目的トシタル騷擾行爲ニ限り適用スヘキ制裁法規ニシテ選舉終了後ノ騷擾行爲ニ適用スヘキモノニ非スト解スルヲ相當トス

用スヘキ制裁法規ニシテ選舉終了後ノ騷擾行爲ニ適用スヘキモノニ非スト解スルヲ相當トス  
Tokon

刑 法第九十二條第一項第八八條第一號ノ犯罪ノ成立要素タル暴行脅迫ハ他ノ罪名ニ觸レサル程度ノモノタルヲ以テ足り其ノ暴行脅迫ニシテ他ノ罪名ニ觸ル、場合ニ於テハ其ノ行爲ハ一面右犯罪ヲ成立セシムルト同時ニ他ノ罪名ニ觸ルルモノトス 一三・四六三

刑 衆議院議員選舉法罰則第九十二條ニ規定セル多衆集合シテ同第八八條第一號所定ノ行爲ヲ爲シタル罪ハ投票ノ終了セル以前ニ於ケル犯罪ニ付適用アルモ其ノ以後ニ於ケル犯罪ニハ適用ナキモノトス 一四・七一九

第一百二十一條 舊第九十三條

刑 法第九十三條第一項ニ所謂人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件トハ同條項ニ例示スル銃砲槍戟刀劍竹槍棍棒等ト同視スヘキ程度ニ在ル用法上ノ兇器ニシテ社會ノ通念ニ照ラシ人ヲシテ直ニ危險ノ感ヲ抱カシムルニ足ルモノヲ指稱シ總テ人ヲ殺傷スル可能性ヲ有スル物件ヲ悉ク包含スルモノニ非ス 一四・三三五

第一百二十六條 舊第九十七條

刑 新聞發行兼編輯人ニシテ其新聞ヲ利用シ衆議院議員候補者ノ當選ヲ妨クル目的ヲ以テ虛偽ノ事項ヲ掲載シテ世ニ公ニシタル所爲ハ法第九十七條前段ニ該當ス 三六・五六七

刑 法第九十七條ノ罪ノ成立スルニハ當選妨害ノ目的ヲ有シ且議員候補者ニ關シ公ニシタル事項



カ虚偽ナルコトノ認識アルヲ必要トス 四・九四〇

刑 新聞紙ニ依リテ議員候補者ニ關シ虚偽ノ事項ヲ公ニシタル場合ニ於テ新聞紙ニ署名シタル編輯人ハ當該記事ノ虚偽ナルコトヲ認識シタルト否ト又當選妨害ノ目的ヲ有シタルト否トヲ問ハス其ノ記事ヲ掲載シタル新聞紙ノ署名編輯人タルノ理由ヲ以テ法第九十七條ノ實行正犯ト同シク處斷セラルヘキモノトス 同上

刑 法第九十七條ニ所謂虚偽ノ事項中ニハ直接議員候補者ニ關スル事項ノミナラス間接事項ト雖苟モ其事項カ候補者ニ關連シ之ヲ公表スルコトカ候補者ノ議員當選ヲ妨クルニ至ルヘキ性質ノモノナル以上ハ總テ之ヲ包含スルモノトス 四・三二〇

刑 議員候補者ノ推薦ヲ取消スカ如キハ候補者其人ニ多少ノ短所アルコトヲ暗示スルト同時ニ其信用ヲ薄弱ナラシムル因ト爲ルヘキモノニシテ當選ノ妨害タルヘキ事項ナリトス 同上

刑 法第九十七條ニ所謂「公ニシ」トハ議員候補者ニ關シ虚偽ノ事項ヲ不定若クハ多數ノ人ニ告白スルノ義ナリトス 五・九三

刑 法第九十七條ノ罪ハ當選ヲ妨害スル目的ヲ以テ口頭又ハ文書其他ノ方法ニ依リ議員候補者ニ關シテ虚偽ノ事項ヲ公示スルニ因リテ成立スルモノナレハ其公示シタル虚偽ノ事項カ性質上當選妨害ノ虞アルモノナルコトヲ要ス 六・五六

刑 同一ノ新聞紙面ニ議員候補者タル甲及ヒ乙ノ當選ヲ妨クル目的ヲ以テ各別ニ同人等ニ關スル虚偽ノ事項ヲ掲載シ之ヲ公示シタルハ一箇ノ所爲ニシテ二箇ノ罪名ニ觸ルルモノナルヲ以テ刑

法第五十四條第一項前段ニ依リ一罪トシテ處斷スヘキモノトス 同上

刑 當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ議員候補者ニ關シ多數ノ有権者ニ虚偽ノ事項ヲ言觸ラシタル以上ハ其方法ノ如何ヲ問ハス法第九十七條ノ犯罪ヲ構成スルモノトス 六・二四七

刑 法第九十七條本文ノ罪ノ成立スルニハ當選妨害ノ目的ヲ有シ且議員候補者ニ對シ公ニシタル事項カ虚偽ナルコトノ認識アルヲ必要トスルモ同條但書ノ場合ニ於テハ本文虚偽事項ノ掲載セラレタル新聞紙雜誌ノ編輯人及ヒ實際編輯擔當者ハ如上ノ目的及認識ノ有無ニ關セス單ニ編輯人トシテ署名シ若クハ現實編輯事務ヲ擔當シタルノ故ヲ以テ本文ノ實行正犯者ト同シク處斷セラルヘキモノトス 九・九三一

刑 法第九十七條ニ所謂虚偽ノ事項中ニハ直接議員候補者自身ニ關スル事項ノミナラス間接事項ト雖モ苟モ其事項カ候補者ニ關連シテ之ヲ公表スルコトカ候補者ノ議員當選ヲ妨クルニ至ルヘキ性質ノモノナル以上ハ總テ之ニ包含スルモノト解スヘキモノトス 九・九三一

第二百二十七條 舊第九十八條

刑 法第九十八條ニ於テ選舉無資格者ノ投票ヲ禁スルハ被選舉人ヲシテ不正ノ投票ヲ得セシムルコトヲ防止スルニ在リ從テ現ニ投票ヲ爲シタル選舉無資格者ノ外其投票ニ加工シタル者モ亦同條ノ罪ノ共犯ヲ以テ論セサルヘカラス 四・一〇三一

刑 衆議院議員ノ選舉有権者ニシテ選舉人名簿ニ登録セラレタル以上ハ縱シヤ法第三十八條第二項ノ規定ニ違反セル行爲アリトスルモ法第九十八條ノ罪ヲ構成スヘキモノニ非ス 四三・一〇九五



刑 法第九十八條ノ罪ノ如キハ數人ノ共謀者カ其中一部ノ者ヲシテ之カ實行ノ任ニ當ラシメタルトキハ其一部ノ者ハ自己ノ犯意ノミナラス共謀者全體ノ犯意ヲ遂行シ又其以外ノ者ハ右一部ノ者ニ依リテ各自己ノ犯意ヲ遂行シタルモノト觀ルヘキヲ以テ爾餘ノ共謀者モ亦共同正犯ヲ以テ論スヘク教唆又ハ從犯ヲ以テ論スヘキモノニ非ス 四〇三

刑 法第九十八條後段ノ規定ハ犯罪ノ主體カ選舉權ヲ有スル者ナルト否トヲ問ハス氏名ヲ詐リ正當選舉權者ノ如ク裝ヒテ投票ヲ爲ス場合ニ適用スヘキモノトス 五〇八二四

刑 法第九十八條第二項ニ所謂詐僞ノ方法トハ其上文ニ氏名ヲ詐稱シ其他トアルヲ直ニ承ケタル文詞ナレハ氏名詐稱以外ニ於テ投票管理者ヲ欺罔シ正當ニ投票ヲ爲シタル如ク信セシムヘキ諸般ノ不正手段ヲ汎稱スト解スヘキモノトス 九〇七一

刑 法第九十八條第一項ニ規定セル詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル罪ハ選舉人タル身分若クハ其他ノ資格ニ因リ構成スル罪ニ非サルモノトス 九〇七一

刑 法第九十八條第二項ノ投票數増減ノ罪ハ獨リ有形的ニ票數ノ不正計算ヲ爲ス場合ノミ成立スルモノニ非ス 二〇六

刑 投票ノ有效ナルコト明瞭ニシテ全然反對ノ見解ヲ容ルル餘地ナキモノニ付罔ヒテ之ヲ無効ト決シ投票ノ數ヲ減スル選舉長ノ行爲ハ法第九十八條第二項、第三項ノ罪ヲ構成ス 二〇六

刑 投票ノ有效無効ニ關シ疑義アリ解釋ノ餘地ヲ存スルモノニ付之ヲ決スルハ選舉長ノ職權裁量ノ範圍ニ屬シ何レニ決スルモ適法ナル職權行使ニ外ナラサルヲ以テ投票數増減ノ罪ヲ構成スル

コトナシ 二〇六

第三百三十六條 舊第一百條

行 法第一百條ハ選舉當時ニ遡リテ當選ヲ無効トスルノ趣旨ナリ 三〇二七

第三百三十七條 舊第二百條

刑 衆議院議員選舉法違反ニ因リ罰金ノ刑ニ處セラレタル者ニ對スル公權停止ノ期間ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算スヘキモノトス 三五八〇四

刑 選舉ニ關スル犯罪ニ因リ刑ニ處セラレタル者ハ其刑ノ禁錮タルト罰金タルトヲ問ハス法第一百二條ニ依リ一定ノ期間選舉人被選舉人タルコトヲ禁スヘキモノトス而シテ犯人カ現ニ選舉權若ハ被選舉權ヲ有スルト否トハ之ヲ問フノ要ナシ 三六〇九二

刑 衆議院議員選舉ニ關スル犯罪ニ因リ刑ニ處セラレタル者ハ其禁錮ノ刑タルト罰金ノ刑タルトヲ問ハス法第一百二條ノ制限(選舉權被選舉權ノ停止)ヲ受クヘキモノトス 三五八〇四

刑 法第一百二條ニ依リ選舉權及ヒ被選舉權ノ行使ヲ禁止ヲ宣言スルニハ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ノ言渡ヲ爲シタル判決ノ確定ヲ條件トシテ豫メ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス 四〇三二七

刑 選舉法違反罪ト刑法犯ニ對スル刑ヲ重シトシテ併合罪ノ刑ヲ定ムル場合ニハ之ヲ以テ選舉法違反罪ヲモ處斷スルモノニ外ナラサレハ其言渡ヲ受クル者ハ法第一百二條ノ所謂選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者ニ該當ス 五〇八〇

刑 法第一百二條ハ現行法制上判決ニ依リ禁止セラレタル年度内ニ選舉資格ヲ享有スル可能性ヲ有



セル成年以上ノ男子ナル以上處分ノ當時現ニ選舉權被選舉權ヲ享有セサル者ト雖モ選舉有權者ト等シク將來ニ對シ該資格享有ノ場合ニ於テ其行使ヲ禁止スル趣旨ナリトス 六・一五〇八

刑 衆議院議員選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者ニ對シ法第二百二條ヲ適用スルニハ犯人カ現ニ選舉權又ハ被選舉權ヲ有スルヤ否ヤヲ區別スルノ要ナシ 三〇・二五八

第四百十一條 舊第八條

民 法第八條ハ選舉訴訟ニ付テハ民事訴訟法中其性質上準用ヲ許ササル規定ヲ除キ他ノ規定ハ總テ之ヲ準用スルノ法意ナリ故ニ從參加ヲ爲スノ權能ヲ與ヘタル民事訴訟法第五十三條ノ如キモ亦該訴訟ニ準用スヘキモノトス 三五・一〇、一二

民 選舉長ニ屬スルノ權利ノ如キハ固ヨリ選舉長タル資格ニ專屬スルモノニシテ其資格ヲ有スル者ニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得サルヤ勿論ナレハ民事訴訟法第五十八條ノ規定ノ如キハ之ヲ選舉訴訟ニ準用スヘキモノニ非ス 三五・一〇、一二

民 選舉訴訟ニ於テ選舉無効ナリト確定スルトキハ當選者ハ其議員タルノ權利ヲ喪失スルヲ以テ即チ其訴訟ニ關シ權利上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナリトス 三五・一〇、七三

民 衆議院議員ノ選舉訴訟ニ於テ選舉長タル知事カ被告ト爲リタル場合ニ其指定セル官吏ハ自ら知事代理トシテ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得ルモ知事代理カ更ニ他ノ代理人ヲ任命シテ訴訟行爲ヲ爲サシムルコトヲ得ヘキ明文ナケレハ法第八條民事訴訟法第六十三條ニ依リ辯護士ヲ以テ訴訟代理人トシ之ヲ爲サシムルノ外法律ノ許ササル所ナリトス 三六・一二七

民 原告甲ハ市部乙ハ郡部ノ選舉ノ效力ニ關シ選舉長ヲ被告トシ同一性質ノ事實上及ヒ法律上ノ原因ニ法第八十條ニ於ケル選舉訴訟ニ依ル投票無効ノ宣言ノ請求ヲ爲ストキハ右原告ハ總テ法

第八八條ニ依リ民事訴訟法第四十八條第三號ノ共同訴訟人ニ該當スルモノトス 五・三三三

民 法第八八條ハ選舉訴訟及ヒ當選訴訟ニ付テハ純然タル訴訟手續ニ屬スルモノナルト否トヲ問ハス選舉法ニ特別規定アルモノノ外悉ク民事訴訟法ヲ適用スヘキ法意ナリトス從テ里程猶豫ノ爲メニスル出訴期間ノ伸長ニ關シ別段ノ規定ナキ衆議院議員選舉法ニ在リテハ此點ニ付キ民事

訴訟法第六十七條ノ規定ヲ適用スル趣旨ト認ムルヲ相當トス 六・一七三

民 選舉法其ノ他法規ニ於テ民事訴訟法第五十四條第二項ノ適用ヲ除外スヘキ何等ノ規定ナケレハ衆議院議員選舉無効訴訟ヲ判斷スルニ當リ右法條ヲ適用シタル判決ハ相當ナリ 七・一七五九

明治三十三年法律第七十三號第一百十一條

刑 法第一百一十條ニ「本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス」トアルハ法例第一條ノ例外ニシテ次ノ總選舉ニ關スル行爲ニ付テハ直ニ施行セラルル律意ナリトス從テ該法ノ頒布以後ニ係ルモ總選舉ニ關セサル補關選舉等ノ如キ場合ニ在テハ尙ホ舊選舉法ニ支配セラルヘキモノトス 三五・一〇、一三六

刑 法第一百一十條ニ「本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス」トアルハ次ノ總選舉ニ關スル行爲ニシテ同法ノ規定ニ該當スルモノニ對シテハ法例第一條第一項前段ノ規定ニ拘ラス直ニ施行スルノ趣旨ナリトス 三五・八、四

刑 衆議院議員選舉法ハ次ノ總選舉並ニ其後ノ選舉ノ爲メニ制定シタルモノナルコト明白ナルニ



依リ苟モ次ノ總選舉ニ關スル行爲ニシテ同法ノ規定ニ該當スルモノニ對シテハ其總選舉期日ノ前後ヲ問ハス直ニ之ヲ適用スヘキハ當然ナリトス 三六・二九

刑 新選舉法ハ公布ノ日ヨリ直ニ效力ヲ生スルモ舊選舉法ハ之カ爲メ全ク效力ヲ失フモノニ非ス 同上

大正八年法律第六十號附則

刑 大正八年法律第六十號ノ衆議院議員選舉法改正規定ハ同規定附則ニ因リ一般的ニ次ノ總選舉ノ期日ヨリ施行スルモ總選舉ノ準備タルヘキ諸般ノ命令規定其他選舉運動ニ關スル禁止規定ハ右期日前ニ於テ施行力ヲ生スルモノト爲ヌヲ以テ法ノ精神ニ適合スルモノト爲ヌヘク從テ同改正規定ハ同法公布後ノ直近ノ總選舉期日タル大正九年五月十日ニ至ラサレハ府縣制第四十條ニ依リ衆議院議員選舉法罰則ヲ準用スヘキ事犯ニ對シテハ施行力ヲ有セサルモノトス 九・三三三  
刑 改正衆議院議員選舉法ハ大正九年五月十日ヨリ一般的ニ施行セラレタルモノナルヲ以テ其以前ニ於テ判決ヲ爲ヌニ當リ改正前ノ法律ト改正法律トヲ比較シテ擬律スルハ不法ナリトス 九・四九五

舊選舉法施行令

民 施行令ハ衆議院議員選舉法ヲ施行スルカ爲メニ規定セラレタル勅令ニシテ法律ト等シク一般遵守ノ效力ヲ有シ單ニ選舉事務ニ從事スル當該吏員ニ對スル訓令ヲ以テ目スヘキモノニ非ス 六・一八九

●衆議院議員選舉法施行令

(大正十五年一月三十日勅令第三號) 改(大正十五年六月三十日勅令第二百三十八號) 正(勅令第二百三十八號)

施行令第十三條 舊第十一條

民 施行令第十一條ニ於テ投票記載ノ場所ニ所定ノ設備ヲ要求スルハ選舉ノ自由公正ヲ確保スルカ爲メニ選舉法カ採用シタル秘密投票ノ主義ヲ貫徹セシムル爲メニ外ナラサルモノトス 六・一八九

民 秘密投票主義ハ選舉人ヲシテ自由公正ヲ維持スルヲ目的トスルモノナレハ聊カナリトモ選舉人ヲシテ自己ノ意思ヲ任ケテ投票ヲ爲サシムル虞アル場所ニ於テ行ハシムルハ選舉ノ自由公正ヲ維持スルノ途ニ非サルヲ以テ衆議院議員選舉法施行令ハ之ヲ禁シタルモノトス 六・三三五

民 施行令第十一條ハ客觀的ニ選舉人カ自己ノ意思ヲ任ケテ投票ヲ爲スノ虞ナキ設備アル場所ニ於テ投票ヲ爲サシムル旨趣ニシテ他ヨリ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ノ交換其他ノ不正手段ヲ行フノ餘地アル場所ニ於テ投票ヲ爲サシムルハ選舉人ヲシテ任意ニ自己ノ推舉セント欲スルヲ投票スルコトヲ得セシムル方法ニ非スシテ選舉ノ自由公正ヲ害スルヲ以テ此等不正手段ヲ行フコトヲ得サラシムル設備ヲ要求スル法意ナリト解スルヲ相當トス 六・三三五

民 如上ノ設備ニシテ不完全ナルトキハ縱令投票者ノ簡單ナル注意ヲ以テ容易ニ投票ノ窺視ヲ防クコトヲ得ル場合ニ於テモ尙ホ同條ニ所謂相當ナル設備ヲ爲シタルモノト云フヲ得サルモノトス 六・三三五



民 投票記載場所ノ設備カ選挙場外ヨリ容易ニ投票記載所ニ於ケル選挙人ノ投票ヲ視ヒ得ル如ク不完全ナルトキハ之ヲ以テ衆議院議員選挙法並ニ同法施行令ノ規定ニ從ヒタル設備ヲ爲シタルモノト謂フヲ得ス 六・一八九

民 投票記載場所ノ設備極メテ不完全ニシテ殆ト公開ノ場所ト擇フ所ナキ程度ニ非スシテ其設備縱令不完全ナルモ投票者ノ簡單ナル注意ト相竣テ他人ノ窺視又ハ投票交換等ノ不正手段ヲ防クコトヲ得ル程度ニ在ル場合ニハ反證ナキ限投票者ハ隱蔽手段ヲ行フ等相當ノ注意ヲ用キテ投票ヲ爲セリト推測スヘク從テ選挙人ノ自由意思ハ妨害サレサリシモノト推測スヘキモノトス 六・二三五

民 投票所ノ設備カ施行令第十一條ニ違背シテ多少其設備ニ缺クル所アルモ選挙人各自カ隱蔽手段ヲ行フ等相當ノ注意ヲ用キ其自由意思ニ基キ其投票ヲ爲シタル以上ハ毫モ選挙ノ公正ヲ害セサルヲ以テ該投票ハ無効ナリト謂フヲ得サルモノトス 一〇・三五〇

民 投票管理者又ハ投票立會人カ自ら投票記載所内ニ於ケル選挙人ノ行動ヲ直接ニ監視スルコトナクトモ監視官席並ニ取締係員席ヲ適當ニ配置シ此等ノ者ト相呼應シテ選挙ノ適法ニ行ハルルヤ否ヲ監視シタル以上ハ投票所ニ投票管理者又ハ投票立會人ノ立會ヲ缺キタルモノト爲スニ足ラス 二・三三

施行令第十六條 舊第十四條

民 施行令第十四條ノ法意タルヤ專ラ選挙人ニ人違ナカラシメンカ爲メニ投票管理者及投票立會

人ヲシテ名簿對照並ニ投票用紙ノ交付手續ヲ監視セシムル趣旨ニ出タテルモノト解スルヲ相當トス 九・二五〇

民 施行令第十四條ノ法意タルヤ專ラ選挙人ニ人違ナカラシメンカ爲メニ選挙人ヲシテ其氏名住所ヲ自稱セシメ選挙人名簿ニ對照シタル後投票用紙ヲ交付スヘキコトヲ命シタルモノナレハ投票管理者及投票立會人ノ各自ニ於テ選挙人ヲ熟知シ人違ナキコト明白ナル場合ニ於テハ其者ヲシテ住所氏名ヲ自稱セシムル手續ヲ省略シ投票用紙ヲ交付スルモ同條ノ規定ニ違背シタルモノト謂フヲ得サルモノトス 一〇・三五〇

民 如上ノ場合ニ於テ裁判所ハ手續ヲ省略シテ投票用紙ヲ交付シタル者ト然ラサル者トノ氏名ヲ一一明示セサルヘカラサルモノニ非ス 一〇・三五〇

施行令第十七條 舊第十五條

民 施行令第十五條ニハ選挙人誤テ投票用紙ヲ汚損シタルトキハ其引換ヲ請求スルコトヲ得ト規定シアルモ其引換ヲ請求セサル場合ノ制裁ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ其汚損シタル投票用紙ヲ用キテ投票ヲ爲スモ投票手續ニ違法アリト謂フヲ得サルモノトス 九・一九五

施行令第十八條 舊第十六條

民 投票管理者又ハ投票立會人ノ立會ヲ缺キタルノ件(第十三條下參照)

明治三十四年内務省令第二十九號

民 明治三十四年十月七日内務省令第二十九號カ選挙人名簿ノ様式ヲ示シ大字若クハ小字毎ニ區



別シテ之ヲ調製スヘク爲シタルハ專ラ選舉人名簿ノ取扱閱覽又ハ對照ニ便スル爲メノ訓示的規定ニ外ナラサルヲ以テ選舉人名簿カ選舉人氏名ノ「イロハ」順ニテ調製セラレ字毎ニ調製セラレサルモ之カ爲メニ同省令ニ違反セル無効ノ選舉人名簿ナリト謂フヲ得サルモノトス 一〇・二四二

## 第五 選舉ニ關スル注意事項並選舉臨監者心得

### 選舉ニ關スル注意事項

#### 第一 選舉人名簿ニ關スル件

- 一 名簿登載者ニ付テハ選舉前其ノ資格ノ有無ヲ調査シ資格ナシト認ムル者ニハ適宜付箋ヲ貼付スル等相當措置ヲ爲シ投票ノ際ニ於ケル處理ノ敏捷ト確定トヲ期スルコト
- 二 名簿ヲ縱覽ニ供スル場合ハ勿論市町村吏員其ノ他ノ者ニ對シ名簿ヲ閱覽セシムル場合ニ在リテモ相當責任アル吏員監視ノ下ニ之ヲ爲サシムル等十分注意スルコト
- 三 選舉人名簿ノ調製終リタルトキハ縱覽確定ヲ俟タズ不取敢其ノ登載人員數ヲ報告スルコト尙名簿確定後ノ報告例ニ依ル登載人員ノ報告ハ確定ノ即日報告スルコト

#### 第二 投票用紙ニ關スル件

- 一 投票用紙ヲ市區役所町村役場ニ於テ授受スル場合ニ於テハ其ノ取扱ヲ慎重ニシ中途紛失スル



カ如キコトナカラシムルハ勿論其ノ計算ヲ嚴ニシ受拂ヲ明ニスルコト尙投票用紙及假投票ノ封筒ニ要スル印章ノ有無並其ノ鮮明ナルヤ否ヤ汚損等ニ付テハ府ニ於テモ十分査閲ノ上送付スルハ勿論ナルモ萬一遺漏ナキヲ期シ難キヲ以テ送付ヲ受ケタルトキハ豫メ精査シ置クコト  
投票用紙ノ紙質ニ付テモ右同様慎重檢閲シ紙質粗惡ニシテ透視シ得ルカ如キモノ、混入セル場合ハ之ヲ除去シ置クコト尙府會其ノ他ノ投票用紙ヲ使用スルカ如キコトナキ様注意スルコト  
二 投票用紙ノ交付ニ際シ誤ツテ二枚以上交付スルカ如キコトナキ様注意シ書損用紙ノ如キハ之ヲ返還セシムル等取扱上萬遺漏ナキヲ期スルコト  
三 投票用紙ノ雜形及其ノ折方等ハ選舉人控所其ノ他觀易キ適當ノ場所ニ掲記シ置キ注意スルコト  
投票用紙ハ豫メ之ヲ式ノ如ク折疊置キテ選舉人ニ交付スルヲ便宜ト認ム

### 第三 投票函ニ關スル件

一 投票函ハ錠前ノ異常、繼目ノ離脱其ノ他支障ナキヤ否ヤヲ投票前豫メ檢査シ置クコト尙府會議員選舉投票函等ヲ用フルカ如キコトナキ様注意スルコト  
二 投票函ハ投票終了後選舉會場ニ送致スル迄ノ間投票所内ニ保管スヘキ義ニ付他ニ之ヲ移スカ如キコトナキ様注意スルコト尙其ノ他投票函ノ保管ニ付テハ周到ナル注意ヲ拂ヒ警察官ノ宿泊警護ヲ乞フ等遺漏ナキヲ期スルコト

三 投票函ハ開票所ニ送致スヘキコト、ナレルヲ以テ其ノ送致先ヲ誤ラサル様注意スルコト尙投票函ヲ開票所ニ送致スルニ當テハ投票管理者並投票立會人カ投票函ノ管理ヲ苟クモセサルハ勿論狀況ニ依リテハ警察官ノ同行警護ヲ求ムル等相當措置スルコト

### 第四 投票所ニ關スル件

一 投票所ノ標札ハ<sup>東京府</sup>何郡何町村(何市區)衆議院議員投票所ト爲シ尙之カ掲出ニ付キテハ風雨等ノ爲剝落スルカ如キコトナキ様相當設備ヲナスコト  
二 投票所ノ告示ハ法第二十二條ノ期限ニ遅ル、カ如キコトナキ様注意スルコト  
三 投票所ハ豫メ混雜ヲ來サ、ル様設備シ投票時間中ハ靜肅ヲ保ツ様注意シ苟モ係員ニ於テ雜談ヲ爲シ又ハ擔任ノ部署ヲ離ル、等ノコトナカラシムルコト  
四 投票所ノ受付及選舉人名簿對照所僅少ニ過クル時ハ爲ニ投票所ノ混雜ヲ來スノ虞アルヲ以テ選舉人ノ數ヲ顧慮シ相當設備スルコト  
五 投票記載所ノ設備ニ就テハ特ニ留意シ選舉人ヲシテ他ノ選舉人ノ投票記載ヲ視ヒ得サラシムルハ勿論投票所ノ事務ニ從事スル者投票所ヲ監視スル者及警察官ト雖モ之ヲ視ヒ得ルカ如キコトナキ様嚴重ニ設備シ尙投票所ヲ外部ヨリ透見シ得サル様注意シ硝子窓ニハ窓掛又ハ紙ヲ貼附スル等適當ノ設備ヲ講スルコト  
六 投票所ノ時計ハ豫メ正時ニ合セ置キ投票時間中ニ是正スルガ如キコト無カラシムルコト



- 七 投票所ニハ選舉人ノ數ニ應シ投票記載ノ机硯筆墨等豫メ準備シ置クコト
- 八 名簿調製期日後ニ於ケル住居ノ異動ハ選舉資格ニ影響ナキ義ニ付投票ヲ拒絕スルカ如キコトナキ様注意スルコト但シ名簿調製期日後ニ法第六條第七條及第三百三十七條ニ該當スルニ至リタル者ハ勿論確定選舉人名簿ニ登録セラレタル者ト雖モ選舉權ヲ有セサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得サル義ニ付注意スルコト
- 九 投票管理者同立會人等ト外部運動者トノ間ニ交通合圖ヲ爲スカ如キコトハ最モ警戒ヲ嚴ニスヘキコト
- 一〇 受付所ニ選舉運動者徘徊シ選舉係員ト雜談ヲ交換セル等ノ爲問題ヲ惹起セルコト尠カラサルニ付注意スルコト
- 一一 投票記載所ノ卓子目隠板等ニ候補者ノ氏名ヲ記載シ又ハ卓上ニ候補者ノ名刺ヲ散布セルヲ發見シ物議ヲ生セル例往々アリ選舉人ノ投票ヲ視フカ如キコトナキ程度ニ於テ時々記載所ヲ巡視シ慎重注意スルコト
- 一二 選舉人他ノ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ヲ交換シ其ノ他不正ノ手段ヲ講スルヲ防止スル爲選舉事務ニ關係スル官吏々員等ニ於テ十分之ヲ監視スルノ要アリト雖モ猥リニ投票ヲ視フカ如キコトナキ様留意スルコト
- 一三 選舉人名簿ニ記載ナキ者ハ確定判決書ヲ所持セサル限り投票所ニ入ラシムヘカラサル義ニシテ法第三十一條ニ依ルヲ要セサルモノニ付注意スルコト(新聞記者等カ投票所内撮影ノ爲入

場ノ問題ヲ惹起セル例往々アリ)

- 一四 投票所ノ開閉ニ付テハ時間ヲ嚴守シ殊ニ閉鎖ノ時刻前控所ニ在ル選舉人ヲモ總テ投票所ニ入ラシメテ投票所ヲ閉鎖スルコト
- 一五 投票所閉鎖後ト雖モ投票所内ニ在ル選舉人ハ投票ヲ行フコトヲ得ル義ニ付注意スルコト
- 一六 選舉人名簿ニ記載セラレタル者盡ク投票ヲ終リタル場合ト雖法定ノ時間内(午後六時)ハ投票所ヲ閉ツルコトヲ得サル義ニ付注意スルコト
- 一七 投票函ノ閉鎖後其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管スヘキ義ニ付遺失ノ虞ナキ様保管上十分注意スルコト
- 一八 投票函内ノ投票整理ノ爲鉛筆ヲ以テ之ヲ攪拌シ爲ニ問題ヲ惹起セルコトアリ注意ヲ要ス萬一攪拌ヲ必要トスル時ハ之ニ因リ汚線等ヲ生シ爲ニ他事記載ノ疑惑ヲ起ササルカ如キ物ヲ用フルコト
- 一九 假投票ノ封筒ニハ其ノ投票所印ヲ押捺スヘキニ依リ遺漏ナキヲ期スルコト

### 第五 開票所ニ關スル件

- 一 開票管理者ハ開票所ノ場所及同時ノ告示ヲ要スルニ付注意スルコト
- 二 開票所ノ設備ニ付テハ特ニ様式ノ定メナキモ選舉事務執行ノ公正ヲ確保スルニ遺憾ナキヲ期スルコト



- 三 開票管理者ハ投票ノ效力決定ニ關スル方針ニ付テハ豫メ立會人ト打合テ遂ケ決定ノ際ニ於ケル事務ノ進捗ヲ圖ルコト
- 四 投票ノ點檢ハ從來各投票所ノ投票ヲ混同シテ行ヒタルモ改正法ハ投票區毎ニ點檢スヘキコト、ナリタルヲ以テ注意スルコト(法第四十九條)
- 五 現行法ハ投票ヲ點檢スルトキハ選舉事務ニ從事スル者ニ於テ每票記載ノ氏名ヲ朗讀シ選舉事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一被選舉人ノ得票ヲ點數簿ニ記入セシメタルモ改正法ハ開票事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムルコトニ改正セラレタルヲ以テ注意スルコト(施行令第三十九條)
- 六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セサルモノハ無効投票中ニ加フヘキニ依リ型ニ依リ議員候補者ノ氏名ヲ描出シタルモノ、如キハ凡テ無効投票トシテ取扱フモノナルヲ以テ注意スルコト
- 七 開票管理者ハ投票區毎ニ投票ノ有效無効ヲ區別シ保存スヘキモノナルヲ以テ之ヲ混同スルコトナキ様注意スルコト
- 八 投票ノ效力ノ決定ハ開票管理者ノ權限ニ屬スルヲ以テ開票立會人ノ意見適當ナラスト認ムルトキハ開票管理者ハ自己ノ意見ニ依リ之カ決定ヲ爲スヘキコト

### 第六 選舉會ニ關スル件

- 一 選舉長ハ選舉會場ノ場所及日時ノ告示ヲ要スルニ付注意スルコト(法第六十條)數郡市又ハ數

區ヲ合セテ一選舉區タル場合ノ告示ノ方法ハ法律中別段ノ規定ナキヲ以テ便宜ノ方法ニ依リ一般選舉人ノ周知ヲ期スル様取計ハルヘキコト

- 二 當選人定マリタルトキハ不取敢當選人ノ氏名及得票數ヲ電話又ハ電報ニテ報告シ然ル後選舉ノ結果ノ報告様式ニ依リ急速報告スルコト
- 三 府縣會議員ニシテ衆議院議員ニ當選シタル者其ノ當選ニ應セントスルトキハ承諾前府縣會議員ノ職ヲ辭スヘキ義ニ付其ノ辭任ニ先チ當選承諾ヲ爲スカ如キコトナカラシムル様注意スルコト尙當選ノ期間ハ當選ノ告知後二十日ノ餘裕アル義ナルモ可成速ニ其ノ承諾書ヲ徵スルコト

### 第七 選舉事務ニ從事スル官吏々員ニ對スル注意ノ件

選舉事務ニ關係アル官吏々員立會人及監視者ニシテ選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル者ハ其ノ表示シタル事實虛偽ナルト否トヲ問ハス法第一百七條ニ依リ處罰セラル、ヲ以テ注意スルコト

尙選舉事務ニ關係アル官吏又ハ吏員故意ニ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シ若ハ選舉人ニ對シ投票セントシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ノ表示ヲ求メタルトキハ處罰セラルヘキヲ以テ十分注意スルコト  
以上ノ外周到ノ用意ヲ竭クシ以テ選舉訴訟當選訴訟等ノ因ヲ胎スカ如キコトナカラシムル様充分注意スルコト



### 投票所監督者心得

衆議院議員選舉投票所ニ臨監ノ命令ヲ受ケタル者ハ左ノ事項心得ヘシ

- 一 投票所ニ到ルトキハ必ス臨監命令書ヲ携帯スヘシ
- 二 監督ハ専ラ公正ヲ旨トシ苟モ偏倚ノ言行アルヘカラス
- 三 違法違式其ノ他穩當ナラスト認ムル事項ニ付テハ管理者ニ注意ヲ與フヘシ但シ指揮命令ノ行爲アルヘカラス
- 四 前項ノ場合ニ於テ管理者其ノ注意ヲ肯セサルトキハ其ノ旨申報スヘシ但シ其ノ事項重大ナリト思量スルトキハ直ニ之ヲ申報スヘシ
- 五 異常ノ事件アリト認ムルトキハ直ニ之ヲ申報スヘシ
- 六 投票所設備ニ關シ注意スヘキ事項左ノ如シ
  - (イ) 投票所ハ法第二十一條ニ依リ設置スヘク而シテ其ノ門戸ニハ標札ヲ掲クルコトヲ要ス
  - (ロ) 投票所ハ成ルヘク大正十五年二月十九日地發第七號地方局長依命通牒第三號ニ定メタル様式ニ適合セシムルヲ要ス
  - (ハ) 投票記載所ノ數並其ノ位置設備等ニ注意シ施行令第十一條ノ規定ニ則リ選舉人ヲシテ他ノ選舉人ノ投票ヲ視フコト能ハサラシムルハ勿論投票所ノ事務ニ從事スル者、臨監者及警察官吏ヨリモ同様視知スルコト能ハサル様設備スルヲ要ス

(ニ) 投票所ノ受付及選舉人名簿對照僅少ニ過クル時ハ爲ニ投票所混雜スルノ虞アルヲ以テ其事ナキ様注意スルコト

### 七 投票立會人ニ關シ注意スヘキ事項

投票立會人所定ノ時間ニ參集セサルトキ等ニ於テハ法第二十四條第二項ニ依リ投票管理者ハ臨時ニ之ヲ選任スヘキモ投票執行中缺員ヲ生シ事實之ヲ補充スルニ由ナク其ノ立會人カ法定ノ最小數ヲ下リタル場合ト雖投票ハ其ノ儘之ヲ遂行スルノ外ナク決シテ中止スルヲ得サルモノトス

### 八 投票所ノ閉鎖ニ關シ注意スヘキ事項

(イ) 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツヘキヲ以テ(法第二十三條)選舉人名簿ニ登錄セラレタル者悉ク投票ヲ終リタル場合ト雖法定ノ時間内ハ投票所ヲ閉ツルコトヲ得サルモノトス

(ロ) 投票ニ關シテハ時間ニ制限ナキヲ以テ投票所閉鎖前投票所ニ入りタル者ニ對シテハ閉鎖時刻後ト雖總テ投票ヲ爲サシムヘキモノトス

### 九 投票ニ關シ注意スヘキ事項

(イ) 名簿調製期日後ニ於ケル住所ノ異動ハ選舉資格ニ影響ナキ義ニ付投票ヲ拒絕スルカ如キコトナキ様注意ヲ要ス

(ロ) 投票所ニハ順次(到着番號順)入所セシメ混雜ヲ惹起セシメサル様注意ヲ要ス



(ハ) 投票ハ投票記載ノ爲設ケタル卓上ニ於テ之ヲ記載セシメ記載終リタルトキハ直ニ投票函ニ投函セシムヘシ

卓上ニハ硯筆墨ヲ備ヘ置キ投票ニ支障ナカラシムルヲ要ス

(ニ) 投票記載ノ墨色ハ成ルヘク一定セシムルヲ要スルニ付朱墨又ハ西洋インキ等他ト識別シ易キモノヲ用キシメサル様準備上注意ヲ要ス

(ホ) 投票記載ノ場合ニ於テ不正行爲アリト認ムルトキハ之ヲ防止スル爲選挙事務ニ關係アル官吏々員等ニ於テ之ヲ監視スルヲ妨ケスト雖猥リニ之ヲ覗フトキハ秘密投票ノ趣旨ニ背キ選挙人ノ意思ヲ曲ケシムルノ嫌アルニ付最モ慎重ノ注意ヲ加フルコトヲ要ス

(ヘ) 被選挙人ノ氏名ヲ投票用紙ノ下ニ入レ透キ寫シヲ爲シ又ハ型ナトニ依リ被選挙人ノ氏名ヲ寫シ出スカ如キハ自ラ被選挙人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ト認メ投票ヲ爲サシムルコトヲ得ス尤モ單ニ記憶ヲ喚記スル爲被選挙人ノ名刺ヲ傍ニ置キ投票ヲ記載スル者ノ如キハ自ラ被選挙人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ト認ムルコトヲ得ス

(ト) 選挙人名簿ニ記載ナキ者又ハ確定判決書ヲ所持セサル者ハ投票所内ニ入ラシムヘカラサル義ニシテ勿論法第三十一條ニ依ルヲ要セサルモノトス誤解ナキ様注意ヲ要ス

(チ) 投票執行中規定ニ違背セル事實ヲ發見スルモ之ヲ中止スヘカラサル義ニ付注意ヲ要ス  
一〇 投票管理者(町村長故障アルトキハ助役)故障アリテ投票ヲ管理スル能ハサル場合ニ於テハ其ノ町村吏員中(町村収入役ノ如キハ成ルヘク之ヲ避クルヲ要ス)最モ適任ト認ムル者ヲ

選ヒ携帯セル辭令用紙ニ其ノ職氏名ヲ記入シテ交付スヘシ  
辭令書記載様式左ノ如シ

事務管掌命令書

何 郡

何 町 村 (書記) 氏 名

東京第何區何郡何町村衆議院議員選舉投票管理者事務管掌ヲ命ス

年 月 日

東 京 府

- 一一 投票所ノ取締ニ付テハ法第四章ノ規定ニ依ルヘク從テ秩序保持上夫々處分ノ必要アリト認ムルトキハ管理者ニ注意スヘシ
- 一二 前項ノ場合ニ在リテハ直ニ知事ニ申報スヘシ
- 前項ノ外臨監者ニ於テ特ニ必要ト認メタル事項亦同シ
- 一三 前各項ノ外臨監者ハ衆議院議員選舉法令ヲ研究シ置クヘシ
- 一四 歸應ノ上ハ直ニ復命書ヲ提出スヘシ
- 一五 出張ノ臨監者ハ投票ノ前日一應投票所ノ設備ヲ視察シ尙投票用紙及投票函ヲ點檢シ遺漏ノ點ハ投票管理者ニ注意シ支障ナキヲ期スヘシ